



XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース (LTSR)

Contents

新機能	3
累積更新プログラム 7 (CU7)	4
解決された問題	9
累積更新プログラム 6 (CU6)	12
解決された問題	16
累積更新プログラム 5 (CU5)	23
解決された問題	27
累積更新プログラム 4 (CU4)	35
解決された問題	39
累積更新プログラム 3 (CU3)	51
解決された問題	55
累積更新プログラム 2 (CU2)	65
解決された問題	70
累積更新プログラム 1 (CU1)	87
XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR 以降の解決された問題	92
XenApp および XenDesktop 7.6 以降の解決された問題	124
長期サービスリリース (LTSR)	170
このリリースに含まれていない機能	182
既知の問題	185
システム要件	188
スタンドアロンパッケージによる VDA のインストール	202
環境のアップグレード	205
SSL	215

新機能

April 16, 2019

XenApp および XenDesktop 7.6 の長期サービスリリース (LTSR) プログラムは、XenApp/XenDesktop 7.6 リリースに安定性と長期サポートを提供します。

LTSR の最新のアップデートは[累積更新プログラム 7 \(CU7\)](#) です。展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU7 に更新することをお勧めします。

初めて LTSR プログラムに参加し、元の XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR リリースを展開していない場合、今すぐインストールする必要はありません。その代わりに、7.6 LTSR リリースを無視し、CU7 から始めることをお勧めします。7.6 LTSR リリース全体のドキュメントは、[こちらから](#)ご確認ください

また、Citrix Receiver およびその他のコンポーネントは、指定のバージョンを使用することをお勧めします。LTSR に適合する上では必須ではありませんが、こうしたコンポーネントを最新バージョンにアップグレードすることで、展開環境のメンテナンスが容易になり、最新の修正を利用できるようになります。

ダウンロード

[7.6 LTSR CU7 \(XenApp\)](#)

[7.6 LTSR CU7 \(XenDesktop\)](#)

ドキュメント

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 7 \(CU7\)](#)

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 6 \(CU6\)](#)

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 5 \(CU5\)](#)

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 4 \(CU4\)](#)

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 3 \(CU3\)](#)

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 2 \(CU2\)](#)

[7.6 LTSR 累積更新プログラム 1 \(CU1\)](#)

[7.6 LTSR](#)

便利なリンク

- [Citrix Supportability Pack](#)

Supportability Pack は、XenDesktop/XenApp 製品の診断とトラブルシューティングを支援するために

Citrix エンジニアが作成した、一般的なツールのコレクションです。ツールは、簡単に見つけて使用できるように、機能およびコンポーネントごとにカタログ化されています。このパックの以前のバージョンは...

- [Citrix LTSR Assistant](#)

LTSR Assistant は、XenApp および XenDesktop 7.6 のコンポーネントをスキャンし、長期サービスリリース (LTSR) に準拠しているかを判定します。スキャン対象のコンポーネントには...

- [LTSR についてよく寄せられる質問 \(FAQ\)](#)

Citrix Windows アプリ配信チームは、速いテンポで (2015 年は四半期ベースで新しい製品リリースを提供) XenApp および XenDesktop 製品ラインのためのイノベーションと拡張機能をリリースしてきました。このように速いペースでイノベーションをリリースすることで...

- [XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション](#)

柔軟なサービスオプションにより、受けられるサポート内容が明確です。Citrix は XenApp および XenDesktop に新しい機能を短い間隔で提供することで、ビジネスの競争力を維持し、IT の運用を合理化し、データセキュリティを強化するとともに、従業員がどこからでもビジネスリソースにアクセスできるようにしています。...

- [製品のライフサイクル日程](#)

製品のライフサイクル日程は、次の表を参照してください。以下の製品マトリクス表には、製品ライフサイクルが [ライフサイクルフェーズ](#) により規定される Citrix 製品の情報が記載されています。製品の [ライフサイクルマイルストーン](#) には、ステータス変更のお知らせ (*Notice of Status Change: NSC*)、販売終了 (*End of Sales: EOS*)、メンテナンス終了 (*End of Maintenance: EOM*)、および製品終了 (*End of Life: EOL*) が含まれます。...

- [Receiver for Windows 向け LTSR プログラム](#)

Citrix Receiver for Windows、*Mac*、*Linux*、*HTML5*、*Java* または *WinCE* の各メジャーバージョン (v3.0 など) で、ユーザーが利用できる最短ライフサイクルは 4 年間です。ライフサイクルは、最初に最低 3 年間のメインストリームメンテナンスフェーズがあり、その後、残りのメンテナンス期間で、延長メンテナンスフェーズへ移行...

累積更新プログラム 7 (CU7)

April 16, 2019

リリース日: 2019 年 2 月

Cumulative Update 7 (CU7) は、XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース (LTSR) 向けの最新の累積更新プログラムです。元となる 7.6 LTSR の 5 個の [ベースラインコンポーネント](#) に対して更新プログラムを提供します。

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU6 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

ダウンロード

[LTSR CU7 \(XenApp\) のダウンロード](#)

[LTSR CU7 \(XenDesktop\) のダウンロード](#)

新しい展開環境

新しく **CU7** を展開するには

CU7 メタインストーラーを使用して、CU7 に基づく新しい XenApp または XenDesktop 環境を設定できます。* この設定を実行する前に、製品に慣れ親しんでおくことをお勧めします。

『[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)』ドキュメントを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの [システム要件](#) を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

注:

Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーで利用できます。

既存の展開環境

更新対象について

CU7 では、7.6 LTSR の 5 個の [ベースラインコンポーネント](#) に対して更新プログラムを提供します。注意: 展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU7 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR 展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU7 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェースで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU7 リリースに固有のもので、[LTSR のベースリリース](#)、[CU1](#)、[CU2](#)、[CU3](#)、[CU4](#)、[CU5](#)、[CU6](#) 向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.7000	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU7 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
VDA for Server OS	7.6.7000	
Delivery Controller	7.6.7000	
Citrix Studio	7.6.7000	
Citrix Director	7.6.7000	
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.7000	
Session Recording	7.6.7000	Platinum Edition のみ
StoreFront	3.0.7000.1	
StoreFront サービス	7.6.7000	
Provisioning Services	7.6.8	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU7 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.7000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート

LTSR CU7 互換性のあるコンポーネント

以下のコンポーネントは、記載されたバージョンで LTSR 環境と互換性があります。これらは、LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 については、以下のことに注意してください：

Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、最新の 7.15 LTSR バージョンの Virtual Delivery Agent for Windows Desktop OS および Provisioning Services を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU7 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームフォーム	バージョン
Profile Management	7.15.3000
AppDNA	7.14
ライセンスサーバー	11.15.0.0 ビルド 26000
HDX RealTime Optimization Pack	2.4.2000
Windows 10	VDA および Provisioning Services: 最新の 7.15 LTSR CU

LTSR では Citrix Workspace アプリの以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます:

Citrix Workspace アプリの LTSR 互換バージョン	バージョン
Android 向け Citrix Workspace アプリ	1902
Chrome 向け Citrix Workspace アプリ	1901
HTML5 向け Citrix Workspace アプリ	1901
iOS 向け Citrix Workspace アプリ	1901
Mac 向け Citrix Workspace アプリ	1901
Linux 向け Citrix Workspace アプリ	1810
Windows 向け Citrix Workspace アプリ	1812
Windows (ストア) 向け Citrix Workspace アプリ	1812

LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンもサポートされます:

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Chrome	2.6.9
Citrix Receiver for HTML5	2.6.9
Citrix Receiver for Mac	12.9.1
Citrix Receiver for Linux	13.10
Citrix Receiver for Windows	4.9.5000

LTSR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LTSR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能

ローカルアプリアクセス

Framehawk

除外対象のコンポーネント

Linux VDA

Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム *

Windows 2008 32 ビット (ユニバーサルプリントサーバー用)

*シトリックスは、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

インストールとアップグレード分析

全製品インストーラーを使用して XenApp または XenDesktop コンポーネントを展開またはアップグレードする場合、インストールプロセスに関する匿名の情報が、コンポーネントをインストール/アップグレードするマシンで収集および保存されます。このデータは、インストールに関するカスタマーエクスペリエンス向上のために使用されます。詳しくは、<http://more.citrix.com/XD-INSTALLER>を参照してください。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。

- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます (一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど)。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 7 には、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR、[累積更新プログラム 1](#)、[累積更新プログラム 2](#)、[累積更新プログラム 3](#)、[累積更新プログラム 4](#)、[累積更新プログラム 5](#)、[累積更新プログラム 6](#)に含まれていたすべての修正に加えて、以下の新しい修正が含まれています：

Controller 7.6.7000

- [傾向] ビューグラフの期間に月を選択しても、7 日間の履歴データのみが表示されます。[LC9908]

Provisioning Services 7.6.8

コンソールの問題

- VMware ESXi 用 Provisioning Services XIP ライブラリは、TLS v1.2 をサポートしていません。[LC9629]

サーバーの問題

- 追加の仮想ハードディスク (VHD) フッターがマージされた VHD に割り当てられると、マージされたベースのファイルサイズが増加することがあります。[LC9837]

StoreFront 3.0.7000.1

- Safari 12 以降のブラウザを使用すると、Citrix Receiver for Web でクライアント検出が失敗することがあります。これは、Netscape Plugin Application Programming Interface (NPAPI) のサポートが廃止されたためです。詳しくは、Knowledge Center の[CTX238286](#)を参照してください。[LD0863]

VDA for Desktop OS 7.6.7000

キーボード

- ユーザーセッションで中国語のキーボードレイアウトを使用すると、Input Method Editor (IME) が自動的に五筆字型入力方法 (Wubi) に変更されます。この問題は、デフォルトの IME が **Wubi** に設定されていない場合に発生します。[LD0429]

セッション/接続

- ユーザーデバイスからクレジットカードのトランザクションを処理すると、アプリケーションとユーザーデバイスが応答しなくなったり、データのサブセットのみが受信されることがあります。[LD0152]
- ランダムにサーバーからアプリケーションを起動しようとすると失敗することがあります。次のエラーメッセージが表示されます:

アプリケーションを起動できません。Citrix XenApp サーバーに接続できません。選択した Citrix SSL サーバーは、接続を受け入れていません。

サーバーが SSL を有効にした VDA で接続の受け入れを停止すると、この問題が発生します。[LD0239]

- 匿名ユーザーが Citrix デリバリーグループのメンバーにアクセスすると、Common Gateway Protocol (CGP) がタイムアウトした後、「接続が復元されました」というメッセージと共に不正なログオンインターフェイスが表示されます。正しいメッセージは「再接続できませんでした」です。[LD0363]
- この修正プログラムは、「クライアントドライブに自動接続する」ポリシーが無効になっている場合に起きるメモリリークの問題を解決します。[LD0370]

システムの例外

- VDA で wdica.sys の重大な例外が発生し、バグチェックコード 0x3b (SYSTEM_SERVICE_EXCEPTION) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LD0089]
- VDA で picadm.sys の重大な例外が発生し、バグチェックコード 0x22 によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LD0119]

ユーザーインターフェイス

- Internet Explorer で公開されたインスタンスにおいて、HTML 形式のコンテンツとセッションの間でコピーして貼り付けを実行しようとすると、失敗することがあります。[LD0395]

VDA for Server OS 7.6.7000

キーボード

- ユーザーセッションで中国語のキーボードレイアウトを使用すると、Input Method Editor (IME) が自動的に五筆字型入力方法 (Wubi) に変更されます。この問題は、デフォルトの IME が **Wubi** に設定されていない場合に発生します。[LD0429]

セッション/接続

- ユーザーデバイスからクレジットカードのトランザクションを処理すると、アプリケーションとユーザーデバイスが応答しなくなったり、データのサブセットのみが受信されることがあります。[LD0152]
- ランダムにサーバーからアプリケーションを起動しようとすると失敗することがあります。次のエラーメッセージが表示されます:

アプリケーションを起動できません。Citrix XenApp サーバーに接続できません。選択した Citrix SSL サーバーは、接続を受け入れていません。

サーバーが SSL を有効にした VDA で接続の受け入れを停止すると、この問題が発生します。[LD0239]

- 匿名ユーザーが Citrix デリバリーグループのメンバーにアクセスすると、Common Gateway Protocol (CGP) がタイムアウトした後、「接続が復元されました」というメッセージと共に不正なログオンインターフェイスが表示されます。正しいメッセージは「再接続できませんでした」です。[LD0363]
- この修正プログラムは、「クライアントドライブに自動接続する」ポリシーが無効になっている場合に起きるメモリリークの問題を解決します。[LD0370]

システムの例外

- VDA で wdica.sys の重大な例外が発生し、バグチェックコード 0x3b (SYSTEM_SERVICE_EXCEPTION) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LD0089]
- VDA で picadm.sys の重大な例外が発生し、バグチェックコード 0x22 によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LD0119]

ユーザーインターフェイス

- Internet Explorer で公開されたインスタンスにおいて、HTML 形式のコンテンツとセッションの間でコピーして貼り付けを実行しようとすると、失敗することがあります。[LD0395]

累積更新プログラム 6 (CU6)

April 16, 2019

リリース日: 2018 年 8 月

Cumulative Update 6 (CU6) は、XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース (LTSR) 向けの最新の累積更新プログラムです。元となる 7.6 LTSR の 7 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU5 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

ダウンロード

[LTSR CU6 のダウンロード \(XenApp\)](#)

[LTSR CU6 のダウンロード \(XenDesktop\)](#)

新しい展開環境

新しく **CU6** を展開するには

CU6 メタインストーラーを使用して、CU6 に基づく新しい XenApp または XenDesktop 環境を設定できます。* この設定を実行する前に、製品に慣れ親しんでおくことをお勧めします。

『[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)』ドキュメントを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの**システム要件**を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

注:

Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーで利用できます。

既存の展開環境

更新対象について

CU6 では、7.6 LTSR の 7 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。注意: 展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU6 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR

展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU6 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェースで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU6 リリースに固有のもので、[LTSR のベースリリース](#)、[CU1](#)、[CU2](#)、[CU3](#)、[CU4](#)、[CU5](#) 向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネント		
コンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.6000	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU6 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
VDA for Server OS	7.6.6000	
Delivery Controller	7.6.6000	
Citrix Studio	7.6.6000	
Citrix Director	7.6.6000	
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.6000	
StoreFront	3.0.6000.1	
Provisioning Services	7.6.7	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU6 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.6000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.6000	Platinum Edition のみ

LTSR CU6 互換性のあるコンポーネント

7.6 LTSR CU6 環境では、以下のコンポーネント（記載されたバージョン）の使用が推奨されます。これらは、LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれる

これらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 については、以下のことに注意してください：

Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、最新の 7.15 LTSR バージョンの Virtual Delivery Agent for Windows Desktop OS および Provisioning Services を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU6 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームフォーム	
コンポーネント	バージョン
Profile Management	7.15.2001
AppDNA	7.14
ライセンスサーバー	11.15.0.0 ビルド 24100
HDX RealTime Optimization Pack	2.4.1000
Windows 10	VDA および Provisioning Services: 最新の 7.15 LTSR CU

LTSR では Citrix Workspace アプリの以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます：

Citrix Workspace アプリの LTSR 互換バージョン	バージョン
Android 向け Citrix Workspace アプリ	1808
Chrome 向け Citrix Workspace アプリ	1808
HTML5 向け Citrix Workspace アプリ	1808
iOS 向け Citrix Workspace アプリ	1808
Mac 向け Citrix Workspace アプリ	1808
Linux 向け Citrix Workspace アプリ	1808
Windows 向け Citrix Workspace アプリ	1808

LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンもサポートされます：

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Android	3.13.2
Citrix Receiver for Chrome	2.6.9

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for HTML5	2.6.9
Citrix Receiver for iOS	7.5.6
Citrix Receiver for Mac	12.9.1
Citrix Receiver for Linux	13.10
Citrix Receiver for UWP (ユニバーサル Windows プラットフォーム)	1.0.5
Citrix Receiver for Windows	4.9.3000

LSTR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LSTR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能

ローカルアプリアクセス	Framehawk
-------------	-----------

除外対象のコンポーネント

Linux VDA	Personal vDisk
-----------	----------------

除外対象の Windows プラットフォーム*

Windows 2008 32 ビット (ユニバーサルプリントサーバー用)

*シトリックスは、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

インストールとアップグレード分析

全製品インストーラーを使用して XenApp または XenDesktop コンポーネントを展開またはアップグレードする場合、インストールプロセスに関する匿名の情報が、コンポーネントをインストール/アップグレードするマシンで収集

および保存されます。このデータは、インストールに関するカスタマーエクスペリエンス向上のために使用されます。詳しくは、<http://more.citrix.com/XD-INSTALLER>を参照してください。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。
- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます（一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど）。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 6 には、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR、[累積更新プログラム 1](#)、[累積更新プログラム 2](#)、[累積更新プログラム 3](#)、[累積更新プログラム 4](#)、[累積更新プログラム 5](#)に含まれていたすべての修正に加えて、以下の新しい修正が含まれています：

Citrix Director 7.6.6000

- ユーザーをマシンに割り当てる時にユーザーを検索しようとする時、失敗することがあります。選択したユーザーは null として表示されます。[LC8395]

Citrix Studio 7.6.6000

- XenApp ライセンスエディションでサイトをアップグレードした時に、ライセンスエディションが XenApp から XenDesktop に予期せず変更される場合があります。[LC6981]

Controller 7.6.6000

- XenApp ライセンスエディションでサイトをアップグレードした時に、ライセンスエディションが XenApp から XenDesktop に予期せず変更される場合があります。[LC6981]
- **Always On** 可用性のために構成されている SQL Server を再起動すると、ライセンス機能が失われる可能性があります。[LC8449]
- XenDesktop 7.6 でイメージの展開が失敗することがあります。この問題は、Delivery Controller から Hyper-V に送信された更新コマンドによってオーバーロードが発生し、タイムアウトになった場合に発生します。[LC8639]
- マシンカタログを作成またはアップデートする時に、アップグレード、またはインポートされた分散ポートグループを使用する仮想マシンが含まれている場合、以下のエラーメッセージが表示されることがあります: 「**Exception...Current node not found...type = 'network'** [LC8657]」
- 複数の Delivery Controller 環境で単一の Delivery Controller をアップグレードすると、サイトのテストレポートにデータベースバージョンの不一致が含まれることがあります。[LD0073]

Provisioning Services 7.6.7

コンソールの問題

- 別のドメインアカウントを使用して Provisioning Services コンソールにログオンすると、ファームにアクセスできないことがあります。次のエラーメッセージが表示されます:

「The domain/user does not have access to the Farm.」 [LC8150]

- 複雑な Active Directory 環境で実行すると、Provisioning Services コンソールと構成ウィザードの動作が遅くなる場合があります。その結果、Provisioning Services コンソールがタイムアウトになります。この拡張機能を使用すると、すべてのドメインのすべてのグループを検索する代わりに、優先ドメインを検索できます。その後、正しいグループが検出されると検索を停止できます。以下のレジストリは異なる検索オプションを使用するように設定できます:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices

名前: DomainSelectOption

種類: DWORD

値: 異なる検索アプローチのために次の値を設定 (十進数)

0 = アプローチ-0 (デフォルト) ユーザードメインおよび PVS 管理者グループのドメイン (および構成されて

いる場合ホワイトリストに登録されているその他のドメイン) の検索。

1 = アプローチ-1。アプローチ-0 で検索し、続いてユーザーのドメインの他の信頼済みドメインを検索します。

2 = 廃止

3 = アプローチ-0 で検索すると、見つかったグループは親ドメイン上でさらに列挙されます。特殊な Active Directory 環境で使用されます。

4 = アプローチ-1 で検索すると、見つかったグループは親ドメイン上でさらに列挙されます。特殊な Active Directory 環境で使用されます。

5 = アプローチ-2。ユーザードメインおよび PVS 管理者グループのドメイン (および構成されている場合ホワイトリストに登録されているその他のドメイン) で「User」属性を使用した「ワンステップ」検索。特殊な Active Directory 環境で使用されます。

6 = アプローチ-2 で検索し、続いてユーザーのドメインの他の信頼済みドメインを検索します。[LC9065]

- デフォルトの Active Directory 検索オプションでは、特定の Active Directory 環境内の特定のユーザーに対して Provisioning Services 管理者のメンバーシップを検索できない場合があります。この問題は、グループメンバーシップが、親ドメインと子ドメイン上のグループを介してどのように関連付けられているかに関係しています。[LC9800]

サーバーの問題

- 別のドメインアカウントを使用して Provisioning Services コンソールにログオンすると、ファームにアクセスできないことがあります。次のエラーメッセージが表示されます:

「The domain/user does not have access to the Farm.」 [LC8150]

- 複雑な Active Directory 環境で実行すると、Provisioning Services コンソールと構成ウィザードの動作が遅くなることがあります。その結果、Provisioning Services コンソールがタイムアウトになります。この拡張機能を使用すると、すべてのドメインのすべてのグループを検索する代わりに、優先ドメインを検索できます。その後、正しいグループが検出されると検索を停止できます。さまざまな検索オプションを使用するように、次のレジストリを設定できます:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices

名前: DomainSelectOption

種類: DWORD

値: 異なる検索アプローチのために次の値を設定 (十進数)

0 = アプローチ-0 (デフォルト) ユーザードメインおよび PVS 管理者グループのドメイン (および構成されている場合ホワイトリストに登録されているその他のドメイン) の検索。

1 = アプローチ-1。アプローチ-0 で検索し、続いてユーザーのドメインの他の信頼済みドメインを検索します。

2 = 廃止

3 = アプローチ-0 で検索すると、見つかったグループは親ドメイン上でさらに列挙されます。特殊な Active Directory 環境で使用されます。

4 = アプローチ-1 で検索すると、見つかったグループは親ドメイン上でさらに列挙されます。特殊な Active Directory 環境で使用されます。

5 = アプローチ-2。ユーザードメインおよび PVS 管理者グループのドメイン（および構成されている場合ホワイトリストに登録されているその他のドメイン）で「User」属性を使用した「ワンステップ」検索。特殊な Active Directory 環境で使用されます。

6 = アプローチ-2 で検索し、続いてユーザーのドメインの他の信頼済みドメインを検索します。[LC9065]

- 複数の vDisk を同時にマージすると、MgmtDaemon.exe プロセスが予期せず終了することがあります。[LC9123]
- デフォルトの Active Directory 検索オプションでは、特定の Active Directory 環境内の特定のユーザーに対して Provisioning Services 管理者のメンバーシップを検索できない場合があります。この問題は、グループメンバーシップが、親ドメインと子ドメイン上のグループを介してどのように関連付けられているかに関係しています。[LC9800]

ターゲットデバイスの問題

- ターゲットデバイスが応答しなくなることがあります。[LC8897]

StoreFront 3.0.6000.1

- StoreFront サーバーで認証エラーが発生することがあります。この問題は、TCP 動的ポートを使い果たすことによって発生します。[LC8795]
- Microsoft Windows オペレーティングシステムの英語以外のバージョンでは、StoreFront Web ページのボタンに **DetectReceiver** 文字列が表示されないことがあります。[LC9713]

VDA for Desktop OS 7.6.6000

キーボード

- Android デバイスでアプリケーションを起動してテキストフィールドに入力しようとする時、キーボードが自動的に表示されないことがあります。また、開始や終了は常にキーボードボタンで行う必要があります。[LC8936]

セッション/接続

- レジストリキー **HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\CtxHook** の **ExcludedImageNames** に複数の実行可能ファイルが追加されている場合、Citrix Hook を無効にできないことがあります。[LC8614]
- H 構成を使用するマルチモニター環境では、マウスの動作が一貫しないことがあります。Microsoft Skype for Business セッションを開始し、他のユーザーと画面の共有を開始します。Citrix グラフィックドライバは、オペレーティングシステムから誤ったマウスの位置情報を受け取ります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定します：

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA

名前: DisableAppendMouse

値: DWORD

種類: 00000001

ただし、レジストリキーを設定した後で HDX セッションを使用すると、プログラムによってマウスポインターの位置を設定する特定の機能が意図したとおりに機能しない場合があります。以下は対象の機能です。

- マウススナップ機能。
 - ユーザー間のマウスの位置を GotoMeeting の画面共有と同期させる機能。
 - ユーザー間のマウスの位置を Skype for Business の画面共有と同期させる機能。[LC8976]
- あるセッションでマップされたクライアントドライブにアクセスしようとしている時に、Citrix Workspace の [セキュリティの警告] ダイアログボックスに回答しない場合、他のユーザーのセッションが応答しなくなることがあります。[LC9070]
 - Citrix Audio Service が予期せず終了し、再度再起動することがあります。2 番目のエンドポイント（シンクライアント）から同じセッションに再接続すると、新しいデバイスはセッションに正しくマッピングされません。[LC9381]

システムの例外

- サーバーにおいて、バグチェックコード 0x22 の重大な例外が picadm.sys で発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。[LC6177]
- この修正により、サーバーの予期しない終了を引き起こす、wdica.sys ファイルのメモリの問題が対処されません。[LC7666]
- サーバーで picadm.sys の致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x22 (FILE_SYSTEM) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7726]
- サーバーで vdtw30.dll の致命的な例外が発生し、停止コード SYSTEM_SERVICE_EXCEPTION (3b) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8087]
- VDA で picadm.sys の致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x22 によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8749]
- VDA for Server OS で picadm.sys での致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x00000050 によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8753]
- サーバーで picadm.sys の致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x000000D1(DRIVER_IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8830]
- VDA for Server OS で wdica.sys の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンエラーが発生することがあります。[LC9695]

VDA for Server OS 7.6.6000

キーボード

- Android デバイスでアプリケーションを起動しテキストフィールドに入力しようとする、キーボードが自動的に表示されないことがあります。また、開始や終了は常にキーボードボタンで行う必要があります。[LC8936]

サーバー/サイトの管理

- アプリケーションを Web Interface または StoreFront で起動する間に、子ドメインユーザーに対して次のエラーメッセージが表示されることがあります。
「この公開アプリケーションへのアクセス権がありません。」 [LC7566]

セッション/接続

- レジストリキー **HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\CtxHook** の **ExcludedImageNames** に複数の実行可能ファイルが追加されている場合、Citrix Hook を無効にできないことがあります。[LC8614]
- リモートデスクトップセッションが切断されて再接続すると、VDA for Server OS に偽の XenApp セッションが作成されることがあります。[LC8706]
- XenApp 7.6 LTSR (長期サービスリリース) の累積更新プログラム 4 にアップグレードした後公開アプリケーションにログオンすると、5 秒間の遅延が発生することがあります。[LC8894]
- H 構成を使用するマルチモニター環境では、マウスの動作が一貫しないことがあります。Microsoft Skype for Business セッションを開始し、他のユーザーと画面の共有を開始します。Citrix グラフィックドライバは、オペレーティングシステムから誤ったマウスの位置情報を受け取ります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定します：

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA

名前: DisableAppendMouse

値: DWORD

種類: 00000001

ただし、レジストリキーを設定した後で HDX セッションを使用すると、プログラムによってマウスポインターの位置を設定する特定の機能が意図したとおりに機能しない場合があります。以下は対象の機能です。

- マウススナップ機能。
- ユーザー間のマウスの位置を GotoMeeting の画面共有と同期させる機能。
- ユーザー間のマウスの位置を Skype for Business の画面共有と同期させる機能。[LC8976]

- あるセッションでマップされたクライアントドライブにアクセスしようとしている時に、Citrix Workspace の [セキュリティの警告] ダイアログボックスに応答しない場合、他のユーザーのセッションが応答しなくなることがあります。[LC9070]
- Citrix Audio Service が予期せず終了し、再度再起動することがあります。2 番目のエンドポイント（シンククライアント）から同じセッションに再接続すると、新しいデバイスはセッションに正しくマッピングされません。[LC9381]

システムの例外

- サーバーにおいて、バグチェックコード 0x22 の重大な例外が picadm.sys で発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。[LC6177]
- この修正により、サーバーの予期しない終了を引き起こす、wdica.sys ファイルのメモリの問題が対処されません。[LC7666]
- サービスホスト (svchost.exe) プロセスで、アクセス違反が発生して、予期せずに終了する場合があります。この問題は、icaendpoint.dll モジュールに障害がある場合に発生します。[LC7694]
- サーバーで picadm.sys の致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x22 (FILE_SYSTEM) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7726]
- サーバーで vdtw30.dll の致命的な例外が発生し、停止コード SYSTEM_SERVICE_EXCEPTION (3b) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8087]
- VDA で picadm.sys の致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x22 によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8749]
- VDA for Server OS で picadm.sys での致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x00000050 によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8753]
- サーバーで picadm.sys の致命的な例外が発生し、バグチェックコード 0x000000D1(DRIVER_IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8830]
- VDA for Server OS で wdica.sys の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンエラーが発生することがあります。[LC9695]

ユーザーエクスペリエンス

- VDA for Server OS では、マウスカーソルがセッションから消えることがあります。この問題は、カーソルがテキスト選択カーソルに変更され、背景色がテキスト選択カーソルの色と同じである場合に発生します。Microsoft Windows の編集可能領域のデフォルトの背景色は白で、デフォルトのテキスト選択カーソルの色も常に白です。その結果、カーソルが表示されなくなる可能性があります。[LC8807]

- 画面解像度の表示を [中] または [大] に調整すると、2つのマウスポインターが表示され、ポインターがぼやけて表示されることがあります。この問題は、Citrix Workspace 側ではなく、VDA 側でカーソルをレンダリングする時に発生します。[LC9373]

累積更新プログラム 5 (CU5)

April 16, 2019

リリース日: 2018 年 2 月

累積更新プログラム 5 (CU5) は、XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース (LTSR) 向けの最新の累積更新プログラムです。CU5 では、元となる 7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU4 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

ダウンロード

[LTSR CU5 のダウンロード \(XenApp\)](#)

[LTSR CU5 のダウンロード \(XenDesktop\)](#)

新しい展開環境

新しく **CU5** を展開するには

CU5 をベースにして (CU5 メタインストーラーを使用) 新しい XenApp または XenDesktop 環境を設定できます。

* 設定前に、製品の使用に習熟してください。

『[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)』ドキュメントを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの**システム要件**を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

* 注: Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーとして利用可能

既存の展開環境

更新対象について

CU5 では、7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。注意：展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU5 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR 展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU5 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェースで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU5 リリースに固有のもので、[LTSR のベースリリース](#)、[CU1](#)、[CU2](#)、[CU3](#)、[CU4](#)向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネ

コンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.5000	Windows 10 で適用される特別規則。 CU5 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム を参照してください。
VDA for Server OS	7.6.5000	
Delivery Controller	7.6.5000	
Citrix Studio	7.6.5000	
Citrix Director	7.6.5000	
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.5000	
StoreFront	3.0.5000.1	
Provisioning Services	7.6.6	Windows 10 で適用される特別規則。 CU5 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム を参照してください。
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.5000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.5000	Platinum Edition のみ

LTSR CU5 互換性のあるコンポーネント

7.6 LTSR CU5 環境では、以下のコンポーネントの使用が推奨されます。これらのコンポーネントは、LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 に関する注意事項: Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、最新の 7.15 LTSR バージョンの Virtual Delivery Agent for Windows Desktop OS および Provisioning Services を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU5 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームフォーム	バージョン
Profile Management	7.15.1000
AppDNA	7.14
ライセンスサーバー	11.14.0.1 ビルド 22103
HDX RealTime Optimization Pack	2.4
Windows 10	VDA および Provisioning Services: 最新の 7.15 LTSR CU

Citrix Receiver の互換バージョン

メンテナンスの容易化とパフォーマンスの最適化のために、Citrix Receiver は、最新バージョンが利用可能になり次第そのバージョンにアップグレードすることをお勧めします。最新のバージョンは、<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html>からダウンロードできます。Citrix Receiver の新バージョンが利用可能になったときに通知を受けることができるように、[Citrix Receiver の RSS フィード](#)に登録することをお勧めします。

Citrix Receiver は、XenApp および XenDesktop の LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはならないことに注意してください。7.6 LTSR 環境に含まれる Citrix Receiver を、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。Citrix Receiver for Windows については、専用の LTSR プログラムが公開されました。このプログラムについて詳しくは、「[Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」ページ（英語）を参照してください。

具体的には、LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます。

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Android	3.13.2

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Chrome	2.6.2
Citrix Receiver for HTML5	2.6.2
Citrix Receiver for iOS	7.5
Citrix Receiver for Mac	12.8.1
Citrix Receiver for Linux	13.8
Citrix Receiver for UWP (ユニバーサル Windows プラットフォーム)	1.0.5
Citrix Receiver for Windows	4.9

LSTR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LSTR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能： ローカルアプリアクセス、Framehawk

除外対象のコンポーネント： Linux VDA、Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム *： Windows 2008 32 ビット (ユニバーサルプリントサーバー用)

* Citrix は、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

インストールとアップグレード分析

全製品インストーラーを使用して XenApp または XenDesktop コンポーネントを展開またはアップグレードする場合、インストールプロセスに関する匿名の情報が、コンポーネントをインストール/アップグレードするマシンで収集および保存されます。このデータは、インストールに関するカスタマーエクスペリエンス向上のために使用されます。詳しくは、<http://more.citrix.com/XD-INSTALLER>を参照してください。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。
- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます（一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど）。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 5 には、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR、[累積更新プログラム 1](#)、[累積更新プログラム 2](#)、[累積更新プログラム 3](#)、[累積更新プログラム 4](#)に含まれていたすべての修正に加えて、以下の新しい修正が含まれています：

Citrix Director

- カスタム管理者として、マシンカタログからリモート PC 設定を取得できない場合、例外が発生することがあります。この問題は、マシンカタログを管理する権限があるにもかかわらず、スコープに特定のカタログが含まれていない場合に発生します。[LC8170]

Citrix ポリシー

- Citrix と Microsoft の両方の設定を含むグループポリシーオブジェクトが適用されない場合があります。この問題は、一覧内の拡張ユニットが 2 つ以上のグローバル一意識別子を含む場合に発生します。[LC7533]
- グループポリシーエディター (gpedit.msc) の 2 番目のインスタンスを開くと、Citrix ポリシーノードが開かず、次のエラーメッセージが表示されることがあります。
「Managed Code スナップインでの未処理の例外。」 [LC7600]
- ローカルポリシーキャッシュフォルダー (%ProgramData%/CitrixCseCache) のファイルが「読み取り専用」に設定されていると、ポリシー設定が正常に適用されないことがあります。[LC8750]

Citrix Studio

- ユーザーの関連付けに「NETBIOS」名を使って、デリバリーグループにマシンを追加しようとすると、失敗する場合があります。代わりに、ドメイン名が表示されることがあります。この問題は NETBIOS 名が間違った URL を使った場合に発生します。[LC7830]

コントローラー

- ユーザーの関連付けに「NETBIOS」名を使って、デリバリーグループにマシンを追加しようとすると、失敗する場合があります。代わりに、ドメイン名が表示されることがあります。この問題は NETBIOS 名が間違った URL を使った場合に発生します。[LC7830]
- この問題の症状はさまざまで、次のような状況が発生する可能性があります。
 - PowerShell のクエリが、大規模な (5000 以上の VDA) サイトでタイムアウトすることがあります。
 - Citrix Studio の検索要求が、サイトのサイズのために遅くなったり、タイムアウトしたりすることがあります。
 - クエリが長時間実行されると、イベント ID 1201 「データベースへの接続が失われました - Exception Timeout expired」が Delivery Controller に記録されることがあります。[LC7833]
- サーバー OS でセッションの **AllowRestart** ポリシーによって、ユーザーが切断されたセッションからログオフできません。切断されたセッションを再起動すると、新しいセッションが開始されず、前回のセッションに再接続されます。[LC8090]
- SQL データベースのデッドロックによって、Delivery Controller と SQL Server 間の接続が断続的に失われる可能性があります。[LC8477]
- 大規模な XenApp および XenDesktop 環境では、Monitor データベースのサイズが大きい場合、Monitor データベースのグルーミングのストアプロセスが正しく動作しません。[LC8770]

インストーラー

- インストールメディアを含むフォルダーの親フォルダーで読み取り/書き込み権限 (全探索許可のみ) が制限されていると、共有フォルダーからの VDA ソフトウェアのインストールが失敗することがあります。次のエラーメッセージが表示されます:
「データベース参照中に回復不能なエラーが発生しました。」 [LC6520]

Provisioning Services

コンソールの問題

- テンプレート仮想マシンを作成した後、XenDesktop セットアップウィザードが失敗することがあります。[LC8018]

サーバーの問題

- 起動デバイスマネージャ (BDM) が DHCP Discover、Offer、Request and Acknowledge (DORA) プロセス用に構成されていると、プロセスが完了しないことがあります。この問題は、DHCP リレーが「OFFER」パケットをユニキャストパケットとして送信するときに発生します。[LC8130]
- 既存の vDisk を「MCLI Add DiskLocator」コマンドを使用して追加した場合、同じディスク識別子が異なるストアにある vDisk に誤って割り当てられます。[LC8281]

ターゲットの問題

- ターゲットデバイスが応答しなくなることがあります。[LC7911]

Session Recording (エージェント)

- user1 が VDA1 によって配信された録画中のセッションを起動し、session1 の通知メッセージを閉じない場合、通知メッセージは VDA1 によって配信される session2 に表示されません。user2 によってセッションが起動された時、user1 が session1 の通知メッセージを手動で閉じるまで表示されることはありません。[LC8132]

StoreFront

- StoreFront をアップグレードした後、サーバーにログオンしようとする、そのサーバーはユーザーのアプリケーションサブスクリプションデータを表示しません。この問題は、Microsoft ピアメッシュの制限によるもので、最初のメッシュ操作が試行されるまでピアが自身をオンラインで検出できない可能性があるためです。[LC1454]
- [デスクトップを自動的に起動する] 設定を有効にすると、[複数起動を防止する] オプションが機能しないことがあります。その結果、それ以降のデスクトップの同じインスタンスを起動する要求が失敗します。[LC7430]
- デフォルト以外のドライブにインストールされている StoreFront 2.6 をアップグレードすると、ユーザーのアプリケーションサブスクリプションデータが保持されないことがあります。[LC8046]
- デスクトップの詳細を表示しようすると、既に表示済みのデスクトップの詳細が表示されることがあります。[LC8062]
- ソケットプールを有効にした状態で、サイトデータベースの接続が一貫していない場合、継続的にログオンしてログオフすると、StoreFront のソケットが過度に消費されることがあります。[LC8514]

VDA for Desktop OS

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX シームレスアプリが有効なセッションで実行されている Microsoft Office ファイル (Microsoft Excel スプレッドシートなど) を保存しようとする、ファイルが予期せず終了する場合があります。[LC8572]

印刷

- アプリケーションが Citrix Print Manager サービス (cpsvc.exe) のミューテックスオブジェクトを待機しているときに、公開アプリケーションを起動しようとする、失敗することがあります。[LC6829]
- 公開アプリケーションで [基本設定] を選択してプリンターのプロパティを保存した後、ログオフしてセッションに再度ログオンすると、設定が復元されないことがあります。この問題は、ユーザーデバイスからリダイレクトされるネットワークプリンターで発生します。[LC7770]

サーバー/サイトの管理

- [視覚効果] の [システムの詳細設定] の変更が、現在の VDA for Desktop OS セッションには適用されても、それ以降のセッションには保持されないことがあります。この変更を永続的にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix

名前: EnableVisualEffect

種類: DWORD

値: 1[LC8049]

セッション/接続

- ビデオ会議に使用される、解像度が柔軟な特定のサードパーティ製アプリケーションを起動すると、アプリケーションが予期せず終了することがあります。[LC6994]
- Skype for Business のビデオ通話を確立すると、サードパーティアプリケーションのウィンドウと交差した後、青色のウィンドウ枠が表示されることがあります。[LC7773]
- 従来のグラフィックモードを使用している場合、VDA for Desktop OS で実行されているセッションが応答しなくなることがあります。問題が発生すると、Desktop Viewer で更新操作ができなくなる場合がありますが、Desktop Viewer は応答します。また、30 ~ 60 分後には応答していなかったセッションも回復します。[LC7777]
- ローカルアプリアクセスが有効な場合、インタラクティブなログオン時の免責事項ポリシーを使用すると、黒または灰色の画面が表示されることがあります。[LC7798]

- VDA バージョン 7.9 上で実行される、2 つの Microsoft Excel 2010 ワークシート間で挿入処理を実行する場合、Excel のウィンドウが応答しなくなることがあります。[LC7912]
- 特定のシナリオでは、シームレスモードでシームレスアプリケーションが表示されない、または一部の機能が動作しないことがあります。[LC8030]
- 複数回公開アプリケーションを最大化して復元すると、マウスカーソルが正しく表示されず、アプリケーションを縦方向および横方向に拡大できなくなることがあります。また、アプリケーションが画面全体をカバーしておらず、黒い境界線が表示されます。[LC8988]

スマートカード

- スマートカードを使用してセッションにログオンすると、セッションを切断して再接続するまで、セッションが応答しなくなることがあります。[LC8036]
- VDA で Citrix Smart Card Service が予期せず終了することがあります。[LC8386]

システムの例外

- wfshell.exe プロセスが予期せず終了し、タスクバーのグループ化モジュールを指すことがあります。[LC6968]
- Hotfix Rollup Pack 7 がインストールされているシステムでサーバーの致命的な例外が発生し、picadm.sys のバグチェックコード 0x00000050 (PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC6985]
- サーバーにおいて、バグチェックコード 0x22 の重大な例外が picadm.sys で発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7574]
- サーバーにおいて、停止コード 0xc0000006 の重大な例外が vdtw30.dll で発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7608]
- tdica.sys でバグチェックコードによる重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7632]
- バグチェックコード 0x7E による重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。この問題は、しばらくの間 VDA セッションをアイドル状態のままにした場合に発生します。[LC8045]

ユーザーエクスペリエンス

- Windows Media Player で、Microsoft AVI (.avi) ファイル形式が垂直方向に反転されて表示されることがあります。[LC8308]

- 以前ロックされたセッションにログオンしようとする、ログオン画面が表示されないことがあります。 [LC8774]

VDA for Server OS

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX シームレスアプリが有効なセッションで実行されている Microsoft Office ファイル (Microsoft Excel スプレッドシートなど) を保存しようとする、ファイルが予期せず終了する場合があります。 [LC8572]

印刷

- アプリケーションが Citrix Print Manager サービス (cpsvc.exe) のミュートックスオブジェクトを待機しているときに、公開アプリケーションを起動しようとする、失敗することがあります。 [LC6829]
- 公開アプリケーションで [基本設定] を選択してプリンターのプロパティを保存した後、ログオフしてセッションに再度ログオンすると、設定が復元されないことがあります。この問題は、ユーザーデバイスからリダイレクトされるネットワークプリンターで発生します。 [LC7770]

サーバー/サイトの管理

- [視覚効果] の [システムの詳細設定] の変更が、現在の VDA for Desktop OS セッションには適用されても、それ以降のセッションには保持されないことがあります。この変更を永続的にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix

名前: EnableVisualEffect

種類: DWORD

値: 1 [LC8049]

セッション/接続

- セッションに再接続しようとする、断続的に失敗し、VDA for Server OS が「初期化中」状態に移行します。この問題は VDA が Delivery Controller に再度登録されると発生します。 [LC6647]
- セッション開始の進行状況バーで [キャンセル] をクリックしたときに、間違ったセッション情報が Delivery Controller に残る可能性があります。その結果、実際のセッションが VDA で作成されず、新しいセッションを開始できないことがあります。 [LC6779]
- ラップトップを切り離れた後に、セッション共有が失敗することがあります。この問題は、自動クライアント再接続中に障害通知がトリガーされているときに、VDA が Delivery Controller に再登録すると発生します。 [LC7450]

- [クライアントマイクダイレクト] ポリシーの値を [禁止] に設定した後も、ユーザーセッションでマイクが断続的にリダイレクトされることがあります。

この修正によりこの問題が解決されます。ただし、問題が解決されない場合は、マイク搭載デバイスに次のレジストリキーを適用してください。

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Terminal Server\WinStations\ica-tcp\AudioConfig
名前: MaxPolicyAge
種類: DWORD
値: 最後のポリシー評価とエンドポイントでのライセンス認証の間で許容される最長時間 (秒単位)。デフォルトは 30 秒です。
 - HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Terminal Server\WinStations\ica-tcp\AudioConfig
名前: PolicyTimeout
種類: DWORD
値: ポリシーが最新ではないと判断した後、システムがポリシーを待機する最長時間 (ミリ秒単位)。デフォルトは 4,000 ミリ秒です。タイムアウトが発生すると、システムはポリシーを読み取り、初期化を続行します。この値を (0) に設定すると、Active Directory ポリシーチェックは行われず、ポリシーがすぐに処理されます。[LC7495]
- Skype for Business のビデオ通話を確立すると、サードパーティアプリケーションのウィンドウと交差した後、青色のウィンドウ枠が表示されることがあります。[LC7773]
 - 従来のグラフィックモードを使用している場合、VDA for Desktop OS で実行されているセッションが応答しなくなることがあります。問題が発生すると、Desktop Viewer で更新操作ができなくなる場合がありますが、Desktop Viewer は応答します。また、30 ~ 60 分後には応答していなかったセッションも回復します。[LC7777]
 - リモートデスクトップセッションが VDA for Server OS のコンソールセッションを引き継ぐ時に、Citrix Studio で不正な XenApp セッションが表示される場合があります。[LC7826]
 - VDA バージョン 7.9 上で実行される、2 つの Microsoft Excel 2010 ワークシート間で挿入処理を実行する場合、Excel のウィンドウが応答しなくなることがあります。[LC7912]
 - 特定のシナリオでは、シームレスモードでシームレスアプリケーションが表示されない、または一部の機能が動作しないことがあります。[LC8030]
 - RPM.dll でサーバーが応答なくなり、次のエラーメッセージが表示されることがあります。
「イベント ID 1009、picadm: クライアントからの応答メッセージを待機中のタイムアウト」 [LC8339]
 - 複数回公開アプリケーションを最大化して復元すると、マウスカーソルが正しく表示されず、アプリケーションを縦方向および横方向に拡大できなくなることがあります。また、アプリケーションが画面全体をカバーしておらず、黒い境界線が表示されます。[LC8988]

スマートカード

- スマートカードを使用してセッションにログオンすると、セッションを切断して再接続するまで、セッションが応答しなくなることがあります。[LC8036]
- VDA で Citrix Smart Card Service が予期せず終了することがあります。[LC8386]

システムの例外

- wfshell.exe プロセスが予期せず終了し、タスクバーのグループ化モジュールを指すことがあります。[LC6968]
- Hotfix Rollup Pack 7 がインストールされているシステムでサーバーの致命的な例外が発生し、picadm.sys のバグチェックコード 0x00000050 (PAGE_FAULT_IN_NONPAGED_AREA) によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC6985]
- サーバーにおいて、バグチェックコード 0x22 の重大な例外が picadm.sys で発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7574]
- サーバーにおいて、停止コード 0xc0000006 の重大な例外が vdtw30.dll で発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7608]
- tdica.sys でバグチェックコードによる重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。[LC7632]
- サービスホスト (svchost.exe) プロセスで、アクセス違反が発生して、予期せずに終了する場合があります。この問題は、icaendpoint.dll モジュールに障害がある場合に発生します。[LC7900]
- サーバーで重大な例外が発生し、icardd.dll のバグチェックコード 0x0000003B によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8492]
- サーバーで重大な例外が発生し、icardd.dll のバグチェックコード 0x0000003B によるブルースクリーンが表示されることがあります。[LC8732]

ユーザーエクスペリエンス

- Windows Media Player で、Microsoft AVI (.avi) ファイル形式が垂直方向に反転されて表示されることがあります。[LC8308]

ユーザーインターフェイス

- Microsoft Windows Server 2008 R2 デスクトップセッションからログオフしようとする時、ログオフ画面が表示されないことがあります。セッションからログオフできたとしても、セッションが予期せずに切断されたように見えます。[LC8016]

仮想デスクトップコンポーネント - その他

- 接続グループを使用すると、仮想ファイルシステム (VFS) サーバーまたはネットワークドライブの外部にある App-V アプリケーションが正しく動作しないことがあります。[LC6837]

累積更新プログラム 4 (CU4)

April 16, 2019

リリース日: 2017 年 6 月

Cumulative Update 4 (CU4) は、XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース (LTSR) 向けの最新の Cumulative Update です。CU4 では、元となる 7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU3 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

ダウンロード

[LTSR CU4 のダウンロード \(XenApp\)](#)

[LTSR CU4 のダウンロード \(XenDesktop\)](#)

新しい展開環境

新しく CU4 を展開するには

CU4 をベースにして (CU4 メタインストーラーを使用) 新しい XenApp または XenDesktop 環境を設定できます。

* 設定前に、製品の使用に習熟してください。

『[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)』ドキュメントを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの**システム要件**を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

* 注: Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーとして利用可能

既存の展開環境

更新対象について

CU4 では、7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。注意：展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU4 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR 展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU4 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェースで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU4 リリースに固有のもので、[LTSR のベースリリース](#)、[CU1](#)、[CU2](#)、[CU3](#)向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネ

コンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.4000	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU4 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
VDA for Server OS	7.6.4000	
Delivery Controller	7.6.4000	
Citrix Studio	7.6.4000	
Citrix Director	7.6.4000	
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.4000	
StoreFront	3.0.4000	
Provisioning Services	7.6.5	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU4 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.4000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.4000	Platinum Edition のみ

LTSR CU4 互換性のあるコンポーネント

7.6 LTSR CU4 環境では、以下のコンポーネントの使用が推奨されます。これらのコンポーネントは、LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 に関する注意: Windows 10 の通常サポートは、最新リリースパスから利用できます。Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、最新リリースであるバージョン 7.9 以降の **VDA for Desktop OS** および **Provisioning Services** を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU4 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームフォーム	バージョン
Profile Management	5.8
AppDNA	7.14
ライセンスサーバー	11.14.0 ビルド 20101
HDX RealTime Optimization Pack	2.2.100
Windows 10	VDA: バージョン 7.9 以降、Provisioning Services: バージョン 7.9 以降

Citrix Receiver の互換バージョン

メンテナンスの容易化とパフォーマンスの最適化のために、Citrix Receiver は、最新バージョンが利用可能になり次第そのバージョンにアップグレードすることをお勧めします。最新のバージョンは、<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html> からダウンロードできます。Citrix Receiver の新バージョンが利用可能になったときに通知を受けることができるように、[Citrix Receiver の RSS フィード](#) に登録することをお勧めします。

Citrix Receiver は、XenApp および XenDesktop の LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはならないことに注意してください。7.6 LTSR 環境に含まれる Citrix Receiver を、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。Citrix Receiver for Windows については、専用の LTSR プログラムが公開されました。このプログラムについて詳しくは、「[Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」ページ（英語）を参照してください。

具体的には、LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます。

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Windows	4.4 以降

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Linux	13.5 以降
Citrix Receiver for Mac	12.5 以降
Citrix Receiver for Chrome	2.4 以降
Citrix Receiver for HTML5	2.4 以降
Citrix Receiver for iOS	7.2 以降
Citrix Receiver for Android	3.11.1 以降

LSTR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LSTR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能：ローカルアプリアクセス、Framehawk

除外対象のコンポーネント：Linux VDA、Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム *：Windows 2008 32 ビット（ユニバーサルプリントサーバー用）

* Citrix は、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

インストールとアップグレード分析

全製品インストーラーを使用して XenApp または XenDesktop コンポーネントを展開またはアップグレードする場合、インストールプロセスに関する匿名の情報が、コンポーネントをインストール/アップグレードするマシンで収集および保存されます。このデータは、インストールに関するカスタマーエクスペリエンス向上のために使用されます。詳しくは、<http://more.citrix.com/XD-INSTALLER>を参照してください。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。

- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます (一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど)。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 4 には、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR、[累積更新プログラム 1](#)、[累積更新プログラム 2](#)、[累積更新プログラム 3](#)に含まれていたすべての修正に加えて、以下の新しい修正が含まれています:

Citrix Director

- Citrix Director を使用して Citrix ユーザープロファイルのリセットしようとする時、失敗して次のエラーメッセージが表示される場合があります。

「リセット処理を開始できませんでした。」

この問題は、Citrix Director がユーザー名とドメイン名を一緒に送信せず、ユーザー名のみを送信すると発生します。これによって、Citrix Broker Service が、Desktop Delivery Controller ドメインでユーザーを検出できなくなるためです。

[LC6681]

Citrix Studio

- カタログにマシンを追加したときに Microsoft 管理コンソールが応答しなくなることがありました。

[LC5334]

- 複数のファイルタイプに関連付けられた特定のサードパーティ製アプリケーションを含む App-V パッケージの公開に失敗し、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「パラメーター'ExtensionName'の引数を検証できません。引数の文字数 28 文字は長すぎます。引数の文字数を短くして 16 文字以下にし、もう一度コマンドを実行してください。」

この問題は、App-V パッケージを Citrix Studio に追加しようとするときに発生します。

[LC6507]

- アクセスポリシー「IncludedClientIPFilterEnabled」が有効に設定されている場合、Citrix Studio で [デリバリーグループの編集] をクリックすると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「ユーザー構成が手動で変更されたため、Studio では変更できません。」

[LC6620]

- 仮想マシンを Citrix Studio の Citrix Provisioning Services カタログに追加しようとするとき、次のエラーメッセージが表示されることがあります

「マシン」仮想マシン名 “はマシンカタログに追加済みです。”

[LC6944]

コントローラー

- Configuration Logging Service のメモリ消費量が増大して、Delivery Controller が応答しなくなる場合があります。

[LC6480]

- Machine Creation Service によって作成された仮想マシンを削除しようとするとき、Citrix Studio が応答しなくなる場合があります。

[LC6581]

- アクセスポリシー「IncludedClientIPFilterEnabled」が有効に設定されている場合、Citrix Studio で [デリバリーグループの編集] をクリックすると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「ユーザー構成が手動で変更されたため、Studio では変更できません。」

[LC6620]

- MCS カタログからマシンを正常に削除した後で、次の失敗したタスクに関する通知が Citrix Studio の [ログ] タブに表示されます。

「Locking pool catalog_name」

[LC6653]

- Citrix Studio のマシンカタログノードで、コンテンツの選択後の表示に数分かかることがあります。

[LC6756]

- 仮想マシンを Citrix Studio の Citrix Provisioning Services カタログに追加しようとするとき、次のエラーメッセージが表示されることがあります

「マシン」仮想マシン名 “はマシンカタログに追加済みです。”

[LC6944]

- マシンを既存の Machine Creation Services カタログに追加しようとする、複数のストレージで新しいマシンを受け入れるためのラウンドロビン方式を使用しないことがあります。

[LC7456]

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- 互換性リストポリシーの構成後、クライアントで Flash コンテンツが正しくリダイレクトされないことがあります。

[LC6892]

- Qumu.com の Flash コンテンツがロードできず Web サイトが動的にブラックリストに追加され、次のエラーメッセージが表示されます。「クライアントの Flash Player でクライアントデバイスから直接 Flash コンテンツをフェッチできませんでした。Web ブラウザーページが更新され、可能な場合は、サーバー側の Flash レンダリングが使用されます。」

[LC6934]

- Microsoft Internet Explorer で互換表示がオンになっていると、Flash コンテンツがある特定のサードパーティ Web サイトが機能しないことがあります。

[LC7513]

Provisioning Services

サーバー

- Provisioning Services 構成ウィザードで [既存のファームに参加する] をクリックして Provisioning Services サーバーを構成しようとする、SQL Server のデフォルトのインスタンスを使用するときに失敗することがあります。

[LC6579]

ターゲットデバイス

- Provisioning Services ターゲットデバイスで重大な例外が発生しブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC6604]

- Provisioning Services コンソールでターゲットデバイスを再起動またはシャットダウンしようとする、失敗することがあります。

[LC6814]

- Provisioning Services ターゲットデバイスで重大な例外が発生し、停止コード 0x000000f とともにブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC6990]

- この修正は、Provisioning Services ターゲットデバイスのメモリーリークの問題に対応します。

[LC7409]

Session Recording

管理

- 次の 2 つの場合、「Installation failed」というエラーが表示される場合があります。このメッセージは無視できますが、表示されないようにするには、Session Recording コンポーネントを再インストールする前にマシンを再起動します。[544579]
 - Session Recording コンポーネントをアンインストールしてから、マシンを再起動せずに再インストールしました。
 - インストールが失敗してロールバックが発生したため、マシンを再起動せず Session Recording コンポーネントを再インストールしようとしてしました。

[LC6979]

StoreFront

- セッションの起動に失敗して、次のエラーメッセージが表示されることがありました。

「ICA ファイルに無効な署名のないパラメーターが含まれています。」

新しい ADMX ファイルをアップグレードするか、置き換える前に、ICA ファイルの署名関連ポリシー [ICA ファイルの署名を有効にします] を [構成されていません] に設定します。

注: 参照番号 LC5338 は、StoreFront 3.0.4000、StoreFront 3.9 以降のバージョンで機能します。

[LC5338]

- キャッシュされたドメインコントローラーがオフの場合、別のドメインコントローラーが使用可能であってもユーザーは StoreFront にログオンできません。

[LC6358]

- StoreFront テーマの変更後、Citrix Receiver for Windows のアイコンの色が変更されません。

[LC6435]

- 正しく機能していない XML Broker が 1 つでもある場合、ログオン後にアプリとデスクトップがユーザーに表示されません。次のエラーメッセージが表示されます。

「現在、使用可能なアプリケーションやデスクトップはありません。」

[LC6928]

- StoreFront コンソールで [変更の伝達] を選択して変更をサーバーグループ全体に適用しようとする、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「伝達処理に成功しました。」

[LC7428]

- この修正は、Firefox の問題に対応します。詳しくは、Knowledge Center の [CTX221551](#) を参照してください。

[LC7473]

ユニバーサルプリントサーバー

クライアント

- 印刷スプーラーサービスが応答なくなり、ユニバーサル印刷が機能しなくなることがあります。この問題は、スプーラーサービスからの応答を待機中に、トランザクションがタイムアウトになった場合に発生します。

[LC5209]

VDA for Desktop OS

HDX 3D Pro

- VDA で HDX 3D Pro エージェントを使用する場合、新しいデスクトップセッションを開始すると、ピクセルが 2 行欠落することがあります。

[LC6409]

印刷

- プリンターリダイレクトで断続的にエラーが発生することがあります。

[LC5320]

セキュリティの問題

- この修正は、VDA 内部コンポーネントをアップデートします。

[LC6904]

セッション/接続

- ユーザープロファイルが存在しない VDA にログオンすると、ログオンが完了するまでの間に表示される Windows のようこそ画面のあとに黒い画面が表示される場合があります。

[LC2397]

- Citrix Receiver for Mac で Web カメラを使用して Cisco WebEx 会議内のビデオを送信しようとする、予期せず Cisco WebEx 会議が終了する場合があります。

[LC5518]

- マップされたクライアントドライブからファイルを読み取るとき、ファイルの長さがクライアントセッションの外部で変更されていると、古いキャッシュ済みのファイルの長さが返されることがあります。また、削除された文字の代わりに Null 文字が挿入されます。

この修正を有効にするには、以下のレジストリ値を「0」に設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\picadm\Parameters

名前: CacheTimeout

種類: REG_DWORD

値: デフォルト値は 60 秒です。CacheTimeOut が「0」に設定されている場合、ファイルの長さは直ちに再ロードされます。「0」に設定されていない場合は、定義されたタイムアウトが経過した後にロードされます。

[LC6314]

- ローカルアプリアクセスが有効な場合、インタラクティブなログオン時の免責事項ポリシーを使用すると、黒または灰色の画面が 45 秒間表示されることがあります。

[LC6518]

- iOS のマルチタッチ機能が有効な場合、サーバーのアイドルタイマーがリセットされません。

[LC6743]

- 仮想チャンネルの数が 32 を超えると、EUEM (エンドユーザー状況監視) はメトリックスの収集を停止します。

注: この修正では、仮想チャンネルに設定された制限を削除します。

[LC6768]

- デリバリーグループで「アプリケーションの残留」が構成されていると、セッションを再接続したときに公開アプリケーションの表示に失敗することがあります。

[LC7405]

- 複数のモニターを使用しているときに公開デスクトップセッションを再接続すると、ウィンドウの配置が維持されないことがあります。

[LC7644]

スマートカード

- スマートカードの取り出しによってユーザーセッションをロックするよう構成されている場合でも、スマートカードリーダーの取り出しでユーザーセッションがロックされないことがあります。

[LC7411]

システムの例外

- `tdica.sys` でバグチェックコード `0x7E` による重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC6553]

- `vd3dk.sys` でバグチェックコード `0X00000050` による重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC6833]

- VDA の `wdica.sys` でブルースクリーンエラーが発生することがあります。

[LC6883]

- セッションのシャットダウン中に `picadm.sys` でバグチェックコード `0x7F` による重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC7545]

- サービスホスト (`svchost.exe`) プロセスで、アクセス違反が発生して、予期せずに終了する場合があります。この問題は、`scardhook64.dll` モジュールに障害がある場合に発生します。

[LC7580]

ユーザーエクスペリエンス

- この修正により、高品質なオーディオを使用して短時間再生されるサウンドのサポートが強化されます。

注:

- この修正は Windows Server 2008 R2 が実行されているセッションには影響しません。
- この修正を有効にするには、Citrix Receiver 4.4 for Windows Long Term Service Release (LTSR) CU5 以降のバージョン、および XenApp および XenDesktop 7.6 LT SR CU4 以降の VDA バージョンを使う必要があります。

[LC5842]

- USB デバイスが VDA のバージョン 7.6.300 でリダイレクトされると、デバイスのインスタンスパス名の末尾に文字が追加されることがあります。この問題を解決するには、次のレジストリキーに製品 ID (PID) またはベンダー ID (VID) を追加します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\icausb\Parameters

名前: DeviceInstanceIDOption

種類: REG_DWORD

値: 0 (デフォルト値) 1、2。

- 「DeviceInstanceIDOption」が「0」(デフォルト値)に設定され、デバイスのVID/PID ペアが「UsingSerialNumberDevices」に設定されている場合、シリアル番号をインスタンス ID として使用します。その他のデバイスは、「serial_number+Bus_number+port_number」をインスタンス ID として使用します。
- 「DeviceInstanceIDOption」が「1」に設定され、デバイスのVID/PID ペアが「UsingSerialNumberDevices」に設定されている場合、「serial_number+Bus_number+port_number」をインスタンス ID として使用します。その他のデバイスは、シリアル番号をインスタンス ID として使用します。
- 「DeviceInstanceIDOption」が「2」に設定されている場合、すべてのデバイスがシリアル番号をインスタンス ID として使用します。
- その他すべての値は無効となり、「0」と見なされます。

[LC6212]

- Web ブラウザーでビデオを再生すると、セッションが応答しなくなることがあります。

[LC6259]

- マルチモニター環境では、外部モニターを Windows の「メインディスプレイ」として定義し、コントロールパネルのディスプレイ設定でこれをノートブックまたはタブレットのセカンダリモニターの右に配置します。外部モニターに表示される公開アプリケーションを起動し、このアプリケーションを外部モニターに接続されたタブレットモニターまたはノートブックモニターに移動すると、タブレットやノートブックの開閉時に公開アプリケーション画面が黒く表示されることがあります。

これを修正するには、VDA で次のレジストリキー値を設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\lca\Thinwire

名前: EnableDrvTw2NotifyMonitorOrigin

種類: REG_DWORD

値: 1 (有効化) および 0 (無効化。デフォルト値)。デフォルトでは、レジストリ値は設定されていません。

[LC7760]

ユーザーインターフェイス

- コネクションセンターを使用して、データを保存せずにシームレスなセッションからログオフすると、画面が黒くなり、以下のようなメッセージが表示されます。

「プログラムを閉じる必要があります」。2つのオプション [ログオフを強制する] または [キャンセル] から選択してください。このときに、[キャンセル] オプションが動作しません。

この修正をインストールすると、[キャンセル] オプションが正常に動作するようになります。

[LC6075]

- タッチパネルでの操作に最適化されたデスクトップを使用すると、URL ショートカットのアイコンが空白で表示されることがあります。

[LC6663]

その他

- 切断されたデスクトップセッションへの再接続試行が失敗することがあります。

[LC6677]

- SHAppBarMessage API が「ABM_GETSTATE」メッセージの場合、シームレスセッションで実行されると正しい値を返さないことがあります。

[LC7579]

VDA for Server OS

印刷

- プリンターリダイレクトで断続的にエラーが発生することがあります。

[LC5320]

セッション/接続

- ユーザープロファイルが存在しない VDA にログオンすると、ログオンが完了するまでの間に表示される Windows のようこそ画面のあとに黒い画面が表示される場合があります。

[LC2397]

- Citrix Receiver for Mac で Web カメラを使用して Cisco WebEx 会議内のビデオを送信しようとする、予期せず Cisco WebEx 会議が終了する場合があります。

[LC5518]

- VDA for Server OS のログオンプロセス中、「ようこそ」画面のまま約 2 分間が応答しなくなることがあります。この問題は、最新の対話型ログオン情報を Active Directory グループポリシーオブジェクト (GPO) で構成した場合に発生します。

[LC5709]

- セッションに再接続すると、別の公開アプリケーションウィンドウが開くことがあります。

[LC5786]

- VDA for Server OS が応答しなくなることがあります。その結果、ユーザーセッションがログオフに失敗する場合があります。

[LC6117]

- マップされたクライアントドライブからファイルを読み取るとき、ファイルの長さがクライアントセッションの外部で変更されていると、古いキャッシュ済みのファイルの長さが返されることがあります。また、削除された文字の代わりに Null 文字が挿入されます。

この修正を有効にするには、以下のレジストリ値を「0」に設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\picadm\Parameters

名前: CacheTimeout

種類: REG_DWORD

値: デフォルト値は 60 秒です。CacheTimeout が「0」に設定されている場合、ファイルの長さは直ちに再ロードされます。「0」に設定されていない場合は、定義されたタイムアウトが経過した後にロードされます。

[LC6314]

- Microsoft Internet Explorer 11 はセッションに割り当てられた仮想 IP ループバックアドレスを使用しないことがあります。

[LC6622]

- iOS のマルチタッチ機能が有効な場合、サーバーのアイドルタイマーがリセットされません。

[LC6743]

- 仮想チャネルの数が 32 を超えると、EUEM (エンドユーザー状況監視) はメトリックスの収集を停止します。

注: この修正では、仮想チャネルに設定された制限を削除します。

[LC6768]

- Delivery Controller の接続が切断されると、XenApp サーバーでアクティブなセッションが切断されることがあります。この問題は、VDA が「事前起動」から「アクティブ」へ正しく移行するセッションの状態を追跡できない時に発生します。そのため、Delivery Controller が再起動されると、VDA のリソースをクリアしようとし、アプリケーションがアクティブにもかかわらず、事前起動状態のセッションが切断されるかログオフされます。

[LC6819]

- 公開アプリケーションのウィンドウモードでセッションを起動し、それが 6 台以上のモニターでデスクトップに展開されると、タスクバーまたはスクリーンが灰色表示になることがあります。

[LC6862]

- Google Chrome をデフォルトのブラウザーに設定した後、アプリケーション内の URL をクリックすると、引き続き Microsoft Internet Explorer がデフォルトのブラウザーとみなされる場合があります。

[LC6948]

- Electrolysis (e10s) 機能を有効にすると、Mozilla Firefox の 64 ビット版が予期せず終了することがあります。詳しくは、Knowledge Center の [CTX224067](#) を参照してください。

[LC6982]

- デリバリーグループで「アプリケーションの残留」が構成されていると、セッションを再接続したときに公開アプリケーションの表示に失敗することがあります。

[LC7405]

システムの例外

- リモートデスクトッププロトコル (RDP) セッションで、特定のサードパーティ製アプリケーションが起動できないことがあります。

[LC4141]

- ターミナルサービスをホストするサービスホストプロセス (Svchost.exe) が予期せず終了することがあります。この問題は、RPM.dll モジュールに障害がある場合に発生します。

[LC6277]

- tdica.sys でバグチェックコード 0x7E による重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC6553]

- VDA の wdica.sys でブルースクリーンエラーが発生することがあります。

[LC6883]

- セッションのシャットダウン中に picadm.sys でバグチェックコード 0x7F による重大な例外エラーが発生し、VDA でブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC7545]

- サービスホスト (svchost.exe) プロセスで、アクセス違反が発生して、予期せずに終了する場合があります。この問題は、scardhook64.dll モジュールに障害がある場合に発生します。

[LC7580]

ユーザーエクスペリエンス

- この修正により、高品質なオーディオを使用して短時間再生されるサウンドのサポートが強化されます。

注:

- この修正は Windows Server 2008 R2 が実行されているセッションには影響しません。

- この修正を有効にするには、Citrix Receiver 4.4 for Windows Long Term Service Release (LTSR) CU5 以降のバージョン、および XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU4 以降の VDA バージョンを使う必要があります。

[LC5842]

- USB デバイスが VDA のバージョン 7.6.300 でリダイレクトされると、デバイスのインスタンスパス名の末尾に文字が追加されることがあります。この問題を解決するには、次のレジストリキーに製品 ID (PID) またはベンダー ID (VID) を追加します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\icausb\Parameters

名前: DeviceInstanceIDOption

種類: REG_DWORD

値: 0 (デフォルト値) 1、2。

- 「DeviceInstanceIDOption」が「0」(デフォルト値)に設定され、デバイスの VID/PID ペアが「UsingSerialNumberDevices」に設定されている場合、シリアル番号をインスタンス ID として使用します。その他のデバイスは、「serial_number+Bus_number+port_number」をインスタンス ID として使用します。
- 「DeviceInstanceIDOption」が「1」に設定され、デバイスの VID/PID ペアが「UsingSerialNumberDevices」に設定されている場合、「serial_number+Bus_number+port_number」をインスタンス ID として使用します。その他のデバイスは、シリアル番号をインスタンス ID として使用します。
- 「DeviceInstanceIDOption」が「2」に設定されている場合、すべてのデバイスがシリアル番号をインスタンス ID として使用します。
- その他すべての値は無効となり、「0」と見なされます。

[LC6212]

- Web ブラウザーでビデオを再生すると、セッションが応答しなくなることがあります。

[LC6259]

- マルチモニター環境では、外部モニターを Windows の「メインディスプレイ」として定義し、コントロールパネルのディスプレイ設定でこれをノートブックまたはタブレットのセカンダリモニターの右に配置します。外部モニターに表示される公開アプリケーションを起動し、このアプリケーションを外部モニターに接続されたタブレットモニターまたはノートブックモニターに移動すると、タブレットやノートブックの開閉時に公開アプリケーション画面が黒く表示されることがあります。

これを修正するには、VDA で次のレジストリキー値を設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Ica\Thinwire

名前: EnableDrvTw2NotifyMonitorOrigin

種類: REG_DWORD

値: 1 (有効化) および 0 (無効化、デフォルト値)。デフォルトでは、レジストリ値は設定されていません。

[LC7760]

ユーザーインターフェイス

- コネクションセンターを使用して、データを保存せずにシームレスなセッションからログオフすると、画面が黒くなり、以下のようなメッセージが表示されます。

「プログラムを閉じる必要があります」。2つのオプション [ログオフを強制する] または [キャンセル] から選択してください。このときに、[キャンセル] オプションが動作しません。

この修正をインストールすると、[キャンセル] オプションが正常に動作するようになります。

[LC6075]

- タッチパネルでの操作に最適化されたデスクトップを使用すると、URL ショートカットのアイコンが空白で表示されることがあります。

[LC6663]

その他

- SHAppBarMessage API が「ABM_GETSTATE」メッセージの場合、シームレスセッションで実行されると正しい値を返さないことがあります。

[LC7579]

累積更新プログラム 3 (CU3)

April 16, 2019

リリース日: 2017 年 1 月

累積更新プログラム 3 (CU3) では、元となる 7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU2 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

ダウンロード

[LTSR CU3 のダウンロード \(XenApp\)](#)

[LTSR CU3 のダウンロード \(XenDesktop\)](#)

新しい展開環境

新しく CU3 を展開するには

CU3 をベースにして (CU3 メタインストーラーを使用) 新しい XenApp または XenDesktop 環境を設定できます。

* 設定前に、製品の使用に習熟してください。

『[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)』ドキュメントを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの[システム要件](#)を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

* 注: Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーとして利用可能

既存の展開環境

更新対象について

CU3 では、7.6 LTSR の 10 個の[ベースラインコンポーネント](#)に対して更新プログラムを提供します。注意: 展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU3 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR 展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU3 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェースで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU3 リリースに固有のもので、[LTSR のベースリリース](#)、[CU1](#)、[CU2](#)向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネント

コンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.3000	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU3 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
VDA for Server OS	7.6.3000	
Delivery Controller	7.6.3000	
Citrix Studio	7.6.3000	
Citrix Director	7.6.3000	

LTSR のベースラインコンポーネント	バージョン	備考
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.3000	
StoreFront	3.0.3000	
Provisioning Services	7.6.4	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 CU3 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.3000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.3000	Platinum Edition のみ

LTSR CU3 互換性のあるコンポーネント

7.6 LTSR CU3 環境では、以下のコンポーネントの使用が推奨されます。これらのコンポーネントは、LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 に関する注意：Windows 10 の通常サポートは、最新リリースパスから利用できます。Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、最新リリースであるバージョン 7.9 以降の [VDA for Desktop OS](#) および [Provisioning Services](#) を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU3 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム	バージョン
Profile Management	5.6
AppDNA	7.12
ライセンスサーバー	11.14.0 ビルド 18001
HDX RealTime Optimization Pack	2.2

LTSR CU3 互換性のあるコンポー

ネントおよびプラットフォーム バージョン

Windows 10	VDA: バージョン 7.9 以降、 Provisioning Services: バージ ョン 7.9 以降
------------	---

Citrix Receiver の互換バージョン

メンテナンスの容易化とパフォーマンスの最適化のために、Citrix Receiver は、最新バージョンが利用可能になり次第そのバージョンにアップグレードすることをお勧めします。最新のバージョンは、<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html>からダウンロードできます。Citrix Receiver の新バージョンが利用可能になったときに通知を受けることができるように、[Citrix Receiver の RSS フィード](#)に登録することをお勧めします。

Citrix Receiver は、XenApp および XenDesktop の LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはならないことに注意してください。7.6 LTSR 環境に含まれる Citrix Receiver を、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。Citrix Receiver for Windows については、専用の LTSR プログラムが公開されました。このプログラムについて詳しくは、「[Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」ページ（英語）を参照してください。

具体的には、LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます。

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Windows	4.4 以降
Citrix Receiver for Linux	13.4 以降
Citrix Receiver for Mac	12.4 以降
Citrix Receiver for Chrome	2.2 以降
Citrix Receiver for HTML5	2.2 以降
Citrix Receiver for iOS	7.1.2 以降
Citrix Receiver for Android	3.9.3 以降

LSTR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LTSR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能：ローカルアプリアクセス、Framehawk

除外対象のコンポーネント: Linux VDA、Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム *: Windows 2008 32 ビット (ユニバーサルプリントサーバー用)

* Citrix は、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

インストールとアップグレード分析

全製品インストーラーを使用して XenApp または XenDesktop コンポーネントを展開またはアップグレードする場合、インストールプロセスに関する匿名の情報が、コンポーネントをインストール/アップグレードするマシンで収集および保存されます。このデータは、インストールに関するカスタマーエクスペリエンス向上のために使用されます。詳しくは、<http://more.citrix.com/XD-INSTALLER>を参照してください。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。
- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます (一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど)。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 3 には、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR、[累積更新プログラム 1](#)、[累積更新プログラム 2](#)に含まれていたすべての修正に加えて、以下の新しい修正が含まれています:

Citrix Director

- Citrix Director のユーザー名検索が、検索に無関係な Citrix Director にリストされたユーザーのリストを戻すことがあります。

[LC5415]

- Firefox 41 以降を使用すると、ユーザー名がパーセントエンコーディングで表示されます (例: User%20Name)。

[LC6240]

Citrix Studio

- 起動後 30 秒以内にユーザーが物理リモート PC コンソールにログオンすると、Citrix Studio で「現在のユーザー」がダッシュで表示され、ユーザーはリモート PC の ICA セッションに接続できません。

[LC5408]

- ユーザーを検索するとき、XenDesktop コンソールが大量の CPU を消費します。

[LC5691]

コントローラー

- パイプ記号 (”|“) を含むネットワークリソースを作成すると、ハイパーバイザーに接続できず、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「サーバーに接続できません」

[LC4933]

- Machine Creation Services 仮想マシンにコピーするときに何らかの障害がストレージリポジトリに発生した場合、コピーが成功したように表示されますが、実際には失敗しています。

[LC5430]

- Machine Creation Services がセットアップ中に [プロセッサバージョンが異なるバーチャルマシンホストへの移行を許可する] 設定を認識しません。

[LC5885]

- DDC の再起動後に、VDA が初期化中の状態で停止することがあります。

[LC6264]

- 監視データのグルーミングが常に 0:00 UTC で開始します。この修正によって、監視データのグルーミングはローカル時間の 0:00 から開始します。

[LC6275]

- 多数の匿名ユーザーがアプリや VDA を同時に起動しようとする、Broker Service のデータベースサーバーとの接続が失われます。

[LC6320]

- 公開アプリケーションの作業ディレクトリを設定すると、接続リースモードで起動された公開アプリケーションに設定が反映されないことがあります。

[LC6397]

- 負荷が高い場合、SQL データベースの接続が Controller でタイムアウトになることがあります。SQL Server で過剰にブロックが発生し、サイトにアクセスできなくなる可能性があります。

[LC6616]

Provisioning Services

Console

- 仮想マシンを使用して、SCVMM クラスタを使用したテンプレートから複数の仮想マシンをプロビジョニングすると、[完了] のクリック後ウィザードがそれらの仮想マシンを作成できなくなります。

[LC5871]

- XenDesktop セットアップウィザードが完全なアクセス許可のチェックを実行せず、権限のエラーが発生することがあります。

[LC6190]

サーバー

- PVS サーバーの [複製状態] 画面で、「サーバーに到達できません」という状態が表示されることがあります。

[LC5683]

- 仮想マシンを使用して、SCVMM クラスタを使用したテンプレートから複数の仮想マシンをプロビジョニングすると、[完了] のクリック後ウィザードがそれらの仮想マシンを作成できなくなります。

[LC5871]

- ターゲットデバイスの boot.iso コードがブロードキャストで送信された ARP 要求を受信すると、ターゲットデバイスの boot.iso コードが無効な ARP 応答を送信します。

[LC6099]

- XenDesktop セットアップウィザードが完全なアクセス許可のチェックを実行せず、権限のエラーが発生することがあります。

[LC6190]

- SOAP Server は、使用中 13GB を超える RAM を消費することがあります。

[LC6199]

ターゲットデバイス

- この修正により、セキュリティ上の脆弱性に関する問題が解決されます。詳しくは、Knowledge Center の[CTX219580](#)を参照してください。

[LC6200、LC6201、LC6202、LC6203、LC6204]

- PVS サーバーへの接続が失われると、bnistack エラー「[[MioWorkerThread]] I/O Stream Socket UNAVAILABLE - not counting retry」、イベント ID 85 がイベントビューアーでフラッシュします。

[LC6449]

Session Recording (Player)

- Session Recording のバージョンより新しいバージョンの Citrix Receiver の記録を再生しようとする、ファイルが再生できないというメッセージが表示されます。この修正によって、Citrix Receiver の新しいバージョンで記録されたイベントファイルを再生できるようになります。

[LC6503]

StoreFront

- プロキシサーバーが要求で「x-forwarded-for」ヘッダーを送信した場合でも、StoreFront で正しいクライアント IP アドレスが認識されません。

[LC5797]

- Microsoft のブラウザーを使用する場合、ブラウザーで検索語を入力すると遅延が発生することがあります。

[LC6324]

- StoreFront 3.0.1000 または 3.0.2000 のインストール後、管理コンソールを起動できず、次のエラーメッセージが表示されます。「ルート証明書がないため管理コンソールを使用できません。Verisign サイトで証明書 (Verisign class primary CA - G5) をダウンロードしてください」。詳しくは、Knowledge Center の[CTX218815](#)を参照してください。

[LC6471]

- StoreFront をバージョン 2.5 から 3.0.2000 にアップグレードしようとする、エラーコード 1603 で失敗します。詳しくは、Knowledge Center の[CTX220411](#)を参照してください。

[LC6816]

ユニバーサルプリントサーバー

- Citrix ユニバーサルプリンタードライバーを使用しているときに、Microsoft Internet Explorer から印刷しようとする、次のエラーメッセージが表示されて失敗することがあります。

「内部エラーが発生しました。Internet Explorer はこのドキュメントを印刷できません。」

[LC4472]

VDA for Desktop OS

印刷

- アクセス違反エラーにより、Citrix Printer Manager Service (Cpsvc.exe) が予期せず停止することがあります。

[LC4665]

- XenApp セッションプリンターが正しくマップされないことがあります。たとえば、プリントサーバー上で同じ名前の 2 つのプリンターを作成し、どちらかのプリンター名の最後にさらに文字を追加します。これら 2 つのプリンターでセッションプリンターポリシーを作成し、VDA にログオンすると、1 つのプリンターのみがマップされることがあります。

[LC6385]

シームレスウィンドウ

- Excelhook が有効な場合、Excel のワークブックを最小化してから元に戻すと、Excel のウィンドウからフォーカスが失われる可能性があります。

[LC6637]

サーバー/サイトの管理

- 32 ビットシステム用の VDA for Desktop OS 上で、\Device\MUP へのリンクが存在しないことがあります。このため、ミニドライバーとして機能するウイルス対策ソフトウェアが、マップされたドライブのファイルをスキャンしないことがあります。

[LC6041]

セッション/接続

- データをマップされたクライアントドライブのファイルに追加しようとする、ファイルが書き込みのみの権限を持つユーザーによって開かれている場合は追加できないことがあります。この問題は、PowerShell コマ

ンドの「get-process | out-file -filepath "\\client\c\$\temp\proclist.txt" -Append」を 2 度目に行ったときに発生します。

[LC3895]

- 別のプロセスによって picadm.sys と同じロックが保持されている場合、ユーザーはセッションからログオフできず、セッションは切断された状態のままとなります。

[LC4415]

- リモート PC 上でユーザーからコンソールセッションに移行すると、一部の接続プロパティが更新されないことがあります。

[LC5139]

- アプリケーションがファイルを取得しようとする、クライアントドライブマッピングは破損したファイルパス情報を返します。

[LC5163]

- Cisco WAAS Gateway を介して接続されているセッションが、VDA 側のバッファオーバーフローが原因で大きなサイズのファイルを転送すると、VDA が予期せず終了することがあります。

[LC5371]

- クライアント USB デバイスのリダイレクト規則ポリシーに 1,000 文字を超える規則を指定すると、禁止されているデバイスを含めすべての USB ドライブがリダイレクトされます。

[LC5457]

- オープンハンドルが上書きされていると、ファイルを開けないことがあります。その結果、ファイルはプロセスによってロックされます。

[LC5657]

- 公開されたシームレスアプリケーションで全画面モードとウィンドウモードとの間で切り替えると、アプリケーションのうち 1 つでも応答なしの状態であればその他のアプリケーションも応答なくなります。

[LC5774]

- ユーザーセッション中にリモート PC の電源を切るか強制再起動すると、再起動が完了したときに、すべてのオーディオドライバーが無効になることがあります。

[LC6009]

- Citrix ポリシー「クライアントの自動再接続」が「禁止」に設定されている場合、VM Hosted Apps の起動に失敗することがあります。

[LC6103]

- XenApp/XenDesktop 7.6 長期サービスリリース (LTSR) にアップグレード後、コピー/貼り付け機能が使用できないことがあります。

[LC6114]

- Citrix Receiver for HTML5 を使用してファイルをダウンロードしようとする、ダウンロードウィンドウが正しくフォーカスされないことがあります。その結果、ダウンロードするファイルを選択できません。この問題を回避するには、メインアプリケーションウィンドウを最小化し、Citrix Receiver for HTML5 のダウンロードウィンドウを表示させます。

[LC6167]

- この強化された機能によって、Citrix Device Redirector Service が、USB 規則およびアクティビティに関連したイベントログを書き込むことができるようになります。

[LC6243]

- ユーザーセッション中にリモート PC の電源を切るか強制再起動すると、再起動が完了したときに、すべてのオーディオドライバーが無効になることがあります。

[LC6322]

スマートカード

- リモート PC でデスクトップセッションを起動するために Citrix Receiver for iOS を使用する構成で、明示的なユーザー名とパスワードを使用して StoreFront にログオンし、スマートカードでローカルの物理リモート PC にログオンしようとする、以下の 2 つの方法のどちらかでログオンが失敗することがあります。
 - Microsoft Windows はスマートカードによるログオンオプションを認識しますが、スマートカードが適切に挿入されても、「スマートカードの挿入」メッセージが表示され続けます。
 - スマートカードリーダーが接続されスマートカードが適切に挿入されても、Microsoft Windows はスマートカードによるログオンオプションを表示しません。

[LC5997]

システムの例外

- XenApp サーバー致命的な例外が発生し、ブルースクリーンと STOP コード 0x0000000A が表示されます。

[LC5917]

- VDA の wdica.sys でブルースクリーンエラーが発生することがあります。

[LC5938]

- Citrix Audio Service (CtxAudioService.exe) が予期せず終了することがあります。

[LC6323]

ユーザーエクスペリエンス

- OneNote を使用してビデオを録画すると、Web カメラリダイレクトが失敗し、録画の失敗を引き起こします。

[LC5205]

ユーザーインターフェイス

- ユーザーセッションでサーバーの IME 言語バーから Microsoft PinYin Input Method Editor (IME) を削除してログオフしても、Pinyin IME はサーバーの IME 言語バーで表示され続けます。

[LC6517]

VDA for Server OS

印刷

- アクセス違反エラーにより、Citrix Printer Manager Service (Cpsvc.exe) が予期せず停止することがありました。

[LC4665]

- XenApp セッションプリンターが正しくマップされないことがあります。たとえば、プリントサーバー上で同じ名前の 2 つのプリンターを作成し、どちらかのプリンター名の最後にさらに文字を追加します。これら 2 つのプリンターでセッションプリンターポリシーを作成し、VDA にログオンすると、1 つのプリンターのみがマップされることがあります。

[LC6385]

シームレスウィンドウ

- Excelhook が有効な場合、Excel のワークブックを最小化してから元に戻すと、Excel のウィンドウからフォーカスが失われる可能性があります。

[LC6637]

セッション/接続

- この修正は、公開デスクトップ内からコマンドラインパラメーターの不正処理に対処します。次の例を参照してください。

”C:\Program Files (x86)\Citrix\system32\iexplore.exe”-noframemerging
http://www.google.comを実行すると、Internet Explorer がパラメーターを誤って解釈し、URL
をhttp://-noframemerging%20http://www.google.comとして解決します。

[LC3660]

- データをマップされたクライアントドライブのファイルに追加しようとする、ファイルが書き込みのみの権限を持つユーザーによって開かれている場合は追加できないことがあります。この問題は、PowerShell コマンドの「get-process | out-file -filepath “\\client\c\$\temp\proclist.txt” -Append」を 2 度目に行ったときに発生します。

[LC3895]

- XenApp 7.6.300 で、マルチフォレスト環境のアプリに対する可視性が限定されているユーザーが、アプリを起動できないことがあります。

[LC4374]

- 別のプロセスによって picadm.sys と同じロックが保持されている場合、ユーザーはセッションからログオフできず、セッションは切断された状態のままとなります。

[LC4415]

- アプリケーションがファイルを取得しようとする、クライアントドライブマッピングは破損したファイルパス情報を返します。

[LC5163]

- セッションに再接続しようとする、断続的に失敗し、VDA for Server OS が「初期化中」状態に移行します。

[LC5250]

- レジストリでグループポリシーの計算が無効になると、COM ポートマッピングが再接続時に断続的に失敗することがあります。

[LC5274]

- Cisco WAAS Gateway を介して接続されているセッションが、VDA 側のバッファオーバーフローが原因で大きなサイズのファイルを転送すると、VDA が予期せず終了することがあります。

[LC5371]

- クライアント USB デバイスのリダイレクト規則ポリシーに 1,000 文字を超える規則を指定すると、禁止されているデバイスを含めすべての USB ドライブがリダイレクトされます。

[LC5457]

- VDA for Server OS が VDA の状態を「登録済み」ではなく「初期化中」と表示することがあります。この間、新しいセッションは VDA に仲介されません。

[LC5621]

- オープンハンドルが上書きされていると、ファイルを開けないことがあります。その結果、ファイルはプロセスによってロックされます。

[LC5657]

- 公開されたシームレスアプリケーションで全画面モードとウィンドウモードとの間で切り替えると、アプリケーションのうち1つでも応答なしの状態であればその他のアプリケーションも応答しなくなります。

[LC5774]

- Hotfix Rollup Pack 7 に更新後、機能のコピーと貼り付けが機能しないことがあります。

[LC6114]

- Citrix Receiver for HTML5 を使用してファイルをダウンロードしようとする時、ダウンロードウィンドウが正しくフォーカスされないことがあります。その結果、ダウンロードするファイルを選択できません。この問題を回避するには、メインアプリケーションウィンドウを最小化し、Citrix Receiver for HTML5 のダウンロードウィンドウを表示させます。

[LC6167]

- この強化された機能によって、Citrix Device Redirector Service が、USB 規則およびアクティビティに関連したイベントログを書き込むことができるようになります。

[LC6243]

- XenApp 7.6 LTSR CU2 VDA for Server OS または以前のバージョンを起動すると、システムイベントログで次の警告メッセージが表示されることがあります。

「SemsService への接続に失敗しました。エラーコード 0x2。」

[LC6311]

- XenApp 7.6 長期サービスリリース Cumulative Update 1 または Cumulative Update 2 に更新すると、App-V アプリケーションの「/appvve」スイッチが機能しないことがあります。

[LC6398]

システムの例外

- 無効なアドレス場所にアクセスしていると、ターミナルサービスに登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが、RPM.dll 上で予期せず終了することがあります。

[LC5696]

- XenApp サーバー致命的な例外が発生し、ブルースクリーンと STOP コード 0x0000000A が表示されます。

[LC5917]

- VDA の wdica.sys でブルースクリーンエラーが発生することがあります。

[LC5938]

- ターミナルサービスに登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが RPM.dll 上で予期せず終了することがあります。

[LC6461]

ユーザーエクスペリエンス

- OneNote を使用してビデオを録画すると、Web カメラリダイレクトが失敗し、録画の失敗を引き起こします。

[LC5205]

ユーザーインターフェイス

- ユーザーセッションでサーバーの IME 言語バーから Microsoft PinYin Input Method Editor (IME) を削除してログオフしても、Pinyin IME はサーバーの IME 言語バーで表示され続けます。

[LC6517]

仮想デスクトップコンポーネント - その他

- プロビジョニングされたマシンが AD 信頼を失い、VDA の登録が失敗することがあります。この問題は、マスターイメージまたはカタログの作成に使用されたマシンとは違う仮想マシンを使用して、Machine Creation Service で作成された Microsoft Windows 8 以降のマシンのカタログを更新すると発生します。

[LC3874]

- Machine Creation Services (MCS) により作成されたマシンがマシンアカウントパスワード GPO を受け入れず、MCS マシン上のパスワードがリセットされない原因になります。

[LC4440]

- Director のアクティビティマネージャーで、一部のユーザーに対して実行されている特定のアプリケーションが表示されないことがあります。

[LC6235]

累積更新プログラム 2 (CU2)

April 16, 2019

リリース日: 2016 年 9 月 30 日

累積更新プログラム 2 (CU2) では、元となる 7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU1 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

ダウンロード

[LTSR CU2 のダウンロード \(XenApp\)](#)

[LTSR CU2 のダウンロード \(XenDesktop\)](#)

新しい展開環境

新しく CU2 を展開するには

CU2 をベースにして (CU2 メタインストーラーを使用) 新しい XenApp または XenDesktop 環境を設定できます。

* 設定前に、製品の使用に習熟してください。

『[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)』ドキュメントを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの**システム要件**を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

* 注: Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーとして利用可能

既存の展開環境

更新対象について

CU2 では、7.6 LTSR の 10 個の**ベースラインコンポーネント**に対して更新プログラムを提供します。注意: 展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU2 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR 展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU2 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェースで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU2 リリースに固有のものです。[LTSR のベースリリース](#)、[CU1](#)向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネント		
コンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.2000	Windows 10 で適用される特別規則。CU2 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームを参照してください。
VDA for Server OS	7.6.2000	
Delivery Controller	7.6.2000	
Citrix Studio	7.6.2000	
Citrix Director	7.6.2000	
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.2000	
StoreFront	3.0.2000	
Provisioning Services	7.6.3	Windows 10 で適用される特別規則。CU2 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームを参照してください。
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.2000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.1000	Platinum Edition のみ

CU2 互換性のあるコンポーネント

7.6 LTSR CU2 環境では、以下のコンポーネントの使用が推奨されます。これらのコンポーネントは、LTSR の特典 (ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム) の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 に関する注意: Windows 10 の通常サポートは、最新リリースパスから利用できます。Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、最新リリースであるバージョン 7.9 以降の **VDA for Desktop OS** および **Provisioning Services** を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU2 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームフォーム	バージョン
Profile Management	5.5
AppDNA	7.6.5
ライセンスサーバー	11.14.0 ビルド 17005
HDX RealTime Optimization Pack	2.1.1
Windows 10	VDA: バージョン 7.9 以降、Provisioning Services: バージョン 7.9 以降

Citrix Receiver の互換バージョン

メンテナンスの容易化とパフォーマンスの最適化のために、Citrix Receiver は、最新バージョンが利用可能になり次第そのバージョンにアップグレードすることをお勧めします。最新のバージョンは、<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html>からダウンロードできます。Citrix Receiver の新バージョンが利用可能になったときに通知を受けることができるように、[Citrix Receiver の RSS フィード](#)に登録することをお勧めします。

Citrix Receiver は、XenApp および XenDesktop の LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはならないことに注意してください。7.6 LTSR 環境に含まれる Citrix Receiver を、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。Citrix Receiver for Windows については、専用の LTSR プログラムが公開されました。このプログラムについて詳しくは、「[Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」ページ（英語）を参照してください。

具体的には、LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます。

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Windows	4.4 以降
Citrix Receiver for Linux	13.4 以降
Citrix Receiver for Mac	12.3 以降
Citrix Receiver for Chrome	2.1 以降
Receiver for HTML5	2.1 以降
Citrix Receiver for iOS	7.1.1 以降
Citrix Receiver for Android	3.9 以降

LSTR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LSTR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能：ローカルアプリアクセス、Framehawk

除外対象のコンポーネント：Linux VDA、Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム*：Windows 2008 32 ビット（ユニバーサルプリントサーバー用）

* Citrix は、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。
- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます（一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど）。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

Citrix Connector 7.5 のサポート

Citrix Connector 7.5 により、Microsoft System Center Configuration Manager (Configuration Manager) と、XenApp または XenDesktop が連携して動作するようになるため、Configuration Manager の使用を Citrix 環境にまで拡張することができます。Citrix Connector 7.5 では、XenApp 7.6 および XenDesktop 7.6 の Platinum Edition がサポートされています。

詳しくは、「[Citrix Connector 7.5 for System Center Configuration Manager 2012](#)」を参照してください。

解決された問題

April 16, 2019

警告:

レジストリエディターの使用を誤ると、深刻な問題が発生する可能性があり、Windows の再インストールが必要になる場合もあります。レジストリエディターの誤用による障害に対して、シトリックスでは一切責任を負いません。レジストリエディターは、お客様の責任と判断の範囲でご使用ください。また、レジストリファイルのバックアップを作成してから、レジストリを編集してください。

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 2 には、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR と [累積更新プログラム 1](#) に含まれていたすべての修正に加えて、以下の新しい修正が含まれています:

Citrix Director

- Citrix Director の [HDX] パネルでユーザーセッションを表示する場合、オーディオの仮想チャンネルに関する優先度警告が誤って表示されることがあります。

[LC5564]

Citrix ポリシー

- w3wp.exe プロセスにより CPU が 100% 使用されることがあります。

[LC4355]

- Citrix Studio で読み取り専用管理者がポリシーフィルターを編集できることがありました。

[LC4801]

- 次の GPO 更新時、または GPUUpdate /Force を実行したときに、Active Directory に保存されている Citrix グループポリシーがマシンから削除されます。この問題は、7.6.300 以降の VDA で発生しました。

[LC5204]

- Citrix Studio を開いて [ポリシー] ノードを選択すると、次のエラーメッセージが表示されます。

「PowerShell や以前のバージョンの管理ツールなど、このコンソール以外のツールでポリシーが変更されたため、ポリシー間に競合が生じています。ポリシーで割り当てたオブジェクトは一致している必要があります。オブジェクトデリバリーグループは”user” コンポーネントではが割り当てられており、”computer” コンポーネントではが割り当てられています。」 割り当て名 > 割り当て名 > ポリシー名 >

[LC5510]

Citrix Studio

- Citrix Studio で、大量のデータの取得時に [ログ] ノードにログエントリが表示されません。
[LC5292]
- FlexCast Management Architecture サービスを停止したとき、またはこのサービスが使用できないときに、Citrix Studio に正しくないメッセージが表示されたり、サイトのアップグレードを求めるメッセージが表示されたりすることがありました。
[LC5319]

コントローラー

- 短時間のうちに多数のセッションが開始されると、Director にセッションの情報が表示されるまでに時間がかかることがありました。
[LC1617]
- VMware ESXi 5.x または 6.0 を使用して MCS マシンを作成するときに、マシンの展開が集約化され、シックプロビジョニングディスクとして複製されることがあります。
[LC4655]
- VDA がメンテナンスモード中に、Get-BrokerSession コマンドレットが個々のマシンではなくデリバリーグループのメンテナンスモードの状態を返すことがありました。
[LC4840]
- Citrix Studio の起動時に、「ブローカーサービスに接続できませんでした。」というエラーメッセージが表示されることがあります。
[LC4854]
- この修正により、コントローラーが Web プロキシ経由で Amazon のパブリック API エンドポイントから孤立すると Machine Creation Services のプロビジョニングが Amazon Web Services で機能しなくなるという問題が解消されます。
[LC5109]
- FlexCast Management Architecture サービスを停止したとき、またはこのサービスが使用できないときに、Citrix Studio に正しくないメッセージが表示されたり、サイトのアップグレードを求めるメッセージが表示されたりすることがありました。
[LC5319]

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX MediaStream Flash リダイレクトを有効にすると、pseudoserverinproc2.dll の実行中に Microsoft Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを作成します。

- *Windows 32* ビットシステムの場合:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\HdxMediaStreamForFlash\Server\PseudoServer

値の名前: AllowCOMObjectTrack

種類: DWORD

値: 0

- *Windows 64* ビットシステムの場合:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Citrix\HdxMediaStreamForFlash\Server\PseudoS

値の名前: AllowCOMObjectTrack

種類: DWORD

値: 0

[LC1885]

- HDX MediaStream Windows Media リダイレクトが有効な状態で、Windows 10 で実行中の VDA でファイルをレンダリングすると、特定のサードパーティ製プレーヤーが異常終了するという問題がありました。

[LC5110]

ライセンス

- [既存のライセンスを使用する] を選択すると、Citrix Studio のサイトのセットアップを続行できないことがあります。回避策としては、ライセンスサーバーの「Citrix Web Services for Licensing」サービスを再起動して、構成を完了します。

[630814]

Provisioning Services

Console

- サイトを拡張すると、PVS コンソールがタイムアウトになることがあります。

[LC4737]

- XenDesktop セットアップウィザードで、ターゲットを作成するときにテンプレート起動プロパティが使用されません。この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを作成します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices

値の名前: UseTemplateBootOrder

種類: REG_DWORD

データ: 1

[LC5237]

サーバー

- データベース接続の中断後に回復すると、Provisioning Services コンソールに表示されるターゲットデバイス数が実際の数よりも少なくなることがあります。

[LC4275]

- IP アドレスを起動デバイスマネージャーのターゲットデバイスでは取得できないが、PXE のターゲットデバイスでは正常に取得できます。この原因は、起動デバイスマネージャーが送信する DHCP 検出要求で「Seconds Elapsed」の値が 0 に設定されていることでした。この要求はその後 IP ヘルパーによって却下されます。この問題を回避するために、「Seconds Elapsed」の値は 4 に設定されるようになりました。

[LC4369]

- MTU サイズを 1,500 バイト未満に変更すると、ブートストラップファイルのダウンロードが失敗し、ターゲットデバイスを起動デバイスマネージャー (BDM) で起動できないという問題がありました。この機能拡張により、次のレジストリキーを設定することによって、MTU サイズを 1,500 バイト未満にすることができます。この機能拡張はデフォルトで無効になっています。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\PVSTSB\Parameters

値の名前: AllowMTUAdjust

種類: DWORD

値: 1

[LC4531]

- サイトを拡張すると、PVS コンソールがタイムアウトになることがあります。

[LC4737]

- VHDX ファイルの新しい vDisk バージョンをインポートしようとする、インポートが失敗して、マニフェストファイルが無効であることを示すエラーメッセージが表示されるという問題がありました。

[LC4985]

- Provisioning Services サーバーのログで、ターゲットデバイスの IP アドレスが正しく表示されないことがあります。

[LC5323]

- Provisioning Services サーバーのイベントビューアで、データベースアクセスに関する次のエラーが表示されることがあります。

「DBAccess エラー: <-31749>。」レコードを追加できませんでした-->

この問題は、複数の Provisioning Services サーバーで特定のストアプロシージャが同時に呼び出され、ストアプロシージャの呼び出し間で競合が生じると発生します。結果として、同じキー値のレコードが 2 回挿入されていました。

[LC5364]

- プロビジョニングしたターゲットを再起動しようとする、データベースのタイムアウトエラーが原因で断続的に失敗することがあります。次のエラーメッセージが表示されます。

「タイムアウトの期限が切れました。操作が完了する前にタイムアウト期間が経過したか、またはサーバーが応答していません。」

[LC5511]

- ネットワークからのターゲットデバイスの起動を有効にする BNPXE サーバーが、IP アドレス「127.0.0.1」にバインドされています。このため、ターゲットデバイスを起動できません。この問題は、BNPXE でネットワークインターフェイスが列挙されているものの、オペレーティングシステムで一部のインターフェイスが検出されておらず「127.0.0.1」のみが返された場合に発生します。

[LC5916]

- HP Moonshot システムの使用時にターゲットデバイスを起動できないことがあります。

[LC6024]

ターゲットデバイス

- Personal vDisk の作成時にコンピューターを再起動すると「Personal vDisk を開始できません。」というエラーダイアログが表示され、「不明なフォーマット」エラーが原因でフォーマットしたディスクを使用できなくなります。

[LC5935]

StoreFront

- Windows Server 2008 R2 を使用しているときに [ストア] メニューで [デフォルトの統合エクスペリエンスの設定] を構成しようとする、Citrix StoreFront の MMC が突然終了することがあります。

[LC3614]

- この修正では、リモートグループからローカルグループへの変更されたサブスクリプション項目の同期に関する問題が解決されます。

[LC4690]

- Citrix Receiver for Web の [セッションのタイムアウト] を 24 日より長く設定すると、ログオンの直後にセッションタイムアウト警告が表示されます。

[LC4787]

- ストアガリソース集約を使用すると、デスクトップアプライアンスサイトは割り当て済みのデスクトップを起動しません。

[LC4838]

- 集約を使用すると、StoreFront 3.0.1 でワークスペースコントロールが機能しないことがあります。

[LC5042]

- PowerShell スクリプトコマンドを使用すると、AllFailedBypassDuration の設定が適用されないことがあります。

[LC5500]

- 「Set-BrokerAccessPolicyRule」コマンドで「IncludedClientIPFilter」オプションまたは「ExcludedClientIPFilter」オプションを有効にすると、StoreFront 上の共有リソース、公開デスクトップ、公開アプリケーションなどのリソースが表示されなくなることがあります。

[LC6058]

ユニバーサルプリントサーバー

クライアント

- ユニバーサルプリントサーバーに印刷しようとする、NextGen アプリケーションでエラーが発生することがありました。

[LC4246]

サーバー

- Citrix XTE Server サービス (XTE.exe) が予期せず終了することがあります。

[LC0759]

VDA for Desktop OS

Desktop Studio

- RDP セッションからログオフすると、Citrix Studio に「切断」と表示され、再接続できなくなることがありました。

[LC5427]

HDX 3D Pro

- ウィンドウを最大化すると、デスクトップ上でコンテキストメニューが正しく表示されなくなることがあります。

[LC5263]

HDX MediaStream Windows Media リダイレクト

- HDX MediaStream Windows Media リダイレクトが有効な状態で、Windows 10 で実行中の VDA でファイルをレンダリングすると、特定のサードパーティ製プレーヤーが異常終了するという問題がありました。

[LC5110]

インストール、アンインストール、アップグレード

- 解像度が異なるエンドポイントからセッションに再接続しようとする時、VDA が予期せず終了することがあり、ウィンドウが黒色または白色になることがありました。

[LC4606]

キーボード

- バージョン 5.4.400 からバージョン 7.6.300 にアップグレードした場合、ICA Service\System32 ディレクトリが存在せず、Mac クライアントでキーボード/マウス入力を登録できません。

[LC4681]

印刷

- デフォルトのプリンターが設定されていない場合、マップされたプリンターすべてでセッション中にエラーが発生します。

[LC4354]

- 従来のプリンター名が有効な状態で、同一ユーザーに対して1つのサーバーで複数のセッションが確立されると自動作成されたプリンターが公開アプリケーションで使用できないということがありました。

[LC4517]

- 公開アプリケーションで「自動作成クライアントプリンター」ポリシーがデフォルトのプリンターを正しく設定できず、Microsoft XPS ドキュメントライターがデフォルトのプリンターとして設定されるという問題がありました。

[LC4696]

- ユニバーサルプリンタードライバーの EMF ドライバーを使用し、リダイレクトされているプリンターでは、SAP により作成された Excel スプレッドシートを印刷できません。

[LC4853]

- ユーザーがログオフしてログオンし直した後に、セッションに接続されていたプリンターが使用できなくなることがありました。

[LC5188]

- Citrix ユニバーサルプリンタードライバーのクライアントオプションの印刷プレビューがローカルのエンドポイントに表示されます。

[LC5404]

セッション/接続

- セッション壁紙を禁止する Citrix のポリシーと、壁紙を指定する Microsoft のグループポリシーが適用されているセッションに再接続し、セッションのサイズを変更した場合、Citrix ポリシーが適用されません。

[LC0115]

- VDA がスクリーンセーバーまたはパワーセーブモードになった後、ブランク画面のセッションを更新する入力（マウスまたはキーボード）を実行するまでは、画面上に情報が表示されたままとなります。これは、DWORD 値の HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Graphics\SetDisplayRequiredMode = 0 でセッションのスクリーンセーバーおよびパワーセーブモードオプションが有効になっている場合に発生します。

[LC1650]

- Hotfix ICAWS760WX86022 をインストールしているシステムで、Citrix ICA サービス再起動時にユーザーセッションに再接続しようとするとう失敗することがありました。

[LC3714]

- この機能拡張では、セッションでの USB デバイスのリダイレクト時に Windows のイベントログにエントリが書き込まれるようになります。

[LC3996]

- UPN 資格情報を使用するシングルサインオン用に構成されている Web Interface にログオンしたときに、セッションウィンドウがしばらく表示され、その後に予期せず終了することがありました。

[LC4035]

- Microsoft Internet Explorer の公開インスタンスを使用して Web サイトからファイルをダウンロードしてそのファイルをマップされたクライアントドライブに保存 ([名前を付けて保存]) しようとする、失敗することがありました。

[LC4300]

- Citrix Receiver for Mac または Chromebook から接続したときに、VDA セッションでオーディオファイルを再生できないことがありました。

[LC4596]

- VDA と Citrix Receiver 間のネットワーク中断後、Windows Media Player で .avi ファイルを再生できなくなります。

[LC4670]

- 従来のグラフィックモードを有効にした状態でセッションのウィンドウモードと全画面モードを切り替えたときに、VDA で実行中のアプリケーションウィンドウが最大化された状態を保たないことがありました。

[LC4693]

- VDA を Version 5.6.300 からアップグレードした後、VDA が応答しなくなることがあります。

[LC4851]

- iOS デバイスで実行中のユーザーセッションでタイムゾーンリダイレクトが動作しないことがありました。

[LC4869]

- リモートデスクトッププロトコルを使用すると、VM への再接続時に ICA セッションで灰色の画面が表示されることがあります。この問題は、/NOCITRIXWDDM を使用してインストールした VDA でのみ発生します。

[LC4970]

- VDA のバージョン 7.6.300 に USB デバイスがリダイレクトされると、動作しなくなることがあります。この問題は、デバイスのインスタンス ID がシリアル番号と異なる場合に発生します。

この修正を有効にするには、次のレジストリキーに製品 ID またはベンダー ID のペアを追加します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\icausb\Parameters

値の名前: UsingSerialNumberDevices

種類: REG_MULTI_SZ

値: <注: コメント文字列の隣に「vid=xxxx」および「pid=xxxx」のペアを追加してください (値の構文は大文字と小文字が区別されない規則の順序指定リストであり、「#」は行コメントを表し、各ルールには vid と pid のペアを順番に指定します。たとえば、「vid=#-番号」および「pid=#-番号」とします。vid/pid の最大

16 進値は FFFF です。vid/pid の 16 進値が 4 未満の場合は、数値にゼロ (0) を加えてください。たとえば、vid が 12 で pid が 13 の場合、vid/pid ペアは「vid=0012, pid=0013」となります。各ルールの長さは 17 に固定されており、ルールの先頭と末尾にはスペースは入れません。例: #vid=FFFF, #pid=FFFF #vid=0012, #pid=0013)。>

[LC5035]

- svchost.exe プロセスにより CPU が 100% 使用されることがあります。

[LC5041]

- Excelhook を有効にした状態で Hotfix ICATS760WX64028 を適用すると、タスクバーの Excel アイコンをクリックしても Excel のウィンドウが最小化されなくなります。

[LC5060]

- ユーザーがログオンまたはログオフし、証明書の伝達がアクティブなときに、svchost.exe プロセスが SCardHook64.dll で断続的に失敗することがありました。

[LC5083]

- この修正により、DirectShow ベースのアプリケーションのクライアント側での取得が失敗し、ビデオをレンダリングできないという問題が解決されます。

[LC5098]

- サーバーの picadd.sys で、バグチェックコード 0xd5 によるブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC5134]

- 外部 USB DVD ドライブを、マップされたクライアントドライブとしてセッションにマップすると、セッションの速度が低下する可能性があります。

[LC5231]

- COM ポートマッピング機能が断続的に失敗します。

[LC5235]

- パフォーマンス 모니터の次のカウンターを表示に一貫性がないことがありました。

- \ICA セッション\セッション入力帯域幅

- \ICA セッション\セッション出力帯域幅

この問題は、カウント値が大きいときだけ発生します。

[LC5262]

- サーバーの picadd.sys で、バグチェックコード 0x3b によるブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC5299]

- picadm.sys でデッドロックが発生し、VDA が [ようこそ] 画面で応答しなくなることがあります。

[LC5326]

- 公開されている Microsoft Excel スプレッドシートを Chromebook デバイ스에保存できないことがあります。この問題の原因は、ファイル拡張子が存在しないことです。

[LC6001]

スマートカード

- Windows 10 Build 10586 以降で実行されているバージョン 7.6.300 以降の VDA でサインインオプションが表示されないという問題がありました。その結果、スマートカードログオンを実行できません。

[LC4778]

- ICA セッションをアイドルセッションタイマーで切断できるようにした後で、コンソールからリモート PC にログオンしたときに、スマートカードログオンが動作しなくなります。スマートカードのタイルを表示するオプションが表示されなくなったり、カードが検出されなかったりすることがあります。

[LC5187]

- XenDesktop スマートカードセッションがランダムに切断されることがあります。

[LC5265]

- 特定のスマートカードを使用してログオンしようとする、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「このスマートカードには有効な証明書がありません。

別のスマートカードを試してみるか、管理者に問い合わせてください。」

[LC5456]

システムの例外

- PVD にアタッチされているマシンカタログに Adobe Shockwave プラグインをインストールしていると、ユーザーセッションの Microsoft Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC4027]

- サーバーの picadm.sys で、バグチェックコード 0x50 によるブルースクリーンエラーが発生することがあります。

[LC4529]

- オペレーティングシステムで picadm.sys エラーが発生し、ブルースクリーンが表示されます。

[LC4567]

- 例外を処理せずに USB デバイスからコピーすると、オペレーティングシステムでエラーが発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4782]

- MobileDesktopHook64.dll で発生する例外「c000041d」により、公開アプリケーションプロセスが異常終了することがありました。

[LC4821]

- Windows Server 2008 R2 で実行されている VDA にリモートデスクトップ経由でログオンし、特定のサードパーティ製アプリケーションを起動すると、このアプリケーションが予期せず終了することがあります。

[LC5891]

ユーザーエクスペリエンス

- タッチパネルでの操作に最適化された公開デスクトップから通常の公開デスクトップに切り替えると、スタートボタンで次の問題が発生することがありました。
 - マウスを合わせても強調表示されない
 - 公開デスクトップではなくローカルデスクトップが表示される

[LC3466]

- 特定の.wmv ファイルが適切なアスペクト比で再生されないことがあります。

[LC4695]

- 3Dconnexion SpaceMouse のカスタマイズ機能が、VDA セッション内で動作しないことがありました。この修正を有効にするには、次のレジストリで REG_DWORD を設定します：

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\picakbf

値の名前: Enable3DConnexionMouse

種類: REG_DWORD

データ: 1

[LC4797]

- ICA セッション中に録音/音声入力ソフトウェアに接続すると、このソフトウェアが予期せず終了することがあります。

[LC5407]

ユーザーインターフェイス

- シームレスなアプリケーションを公開した後、タスクバーに公開アプリケーションのアイコンではなく一般的な Citrix Receiver アイコンが表示されるという問題がありました。

[LC4757]

VDA for Server OS

HDX MediaStream Windows Media リダイレクト

- HDX MediaStream Windows Media リダイレクトが有効な状態で、Windows 10 で実行中の VDA でファイルレンダリングすると、特定のサードパーティ製プレーヤーが異常終了するという問題がありました。

[LC5110]

キーボード

- バージョン 5.4.400 からバージョン 7.6.300 にアップグレードした場合、ICA Service\System32 ディレクトリが存在せず、Mac クライアントでキーボード/マウス入力を登録できません。

[LC4681]

- Bloomberg キーボードがポリシーで許可されている場合でも、VDA セッションでこのキーボードをマップできません。

[LC5360]

印刷

- デフォルトのプリンターが設定されていない場合、マップされたプリンターすべてでセッション中にエラーが発生します。

[LC4354]

- 従来のプリンター名が有効な状態で、同一ユーザーに対して1つのサーバーで複数のセッションが確立されると自動作成されたプリンターが公開アプリケーションで使用できないということがありました。

[LC4517]

- 公開アプリケーションで「自動作成クライアントプリンター」ポリシーがデフォルトのプリンターを正しく設定できず、Microsoft XPS ドキュメントライターがデフォルトのプリンターとして設定されるという問題がありました。

[LC4696]

- ユニバーサルプリンタードライバーの EMF ドライバーを使用し、リダイレクトされているプリンターでは、SAP により作成された Excel スプレッドシートを印刷できません。

[LC4853]

- ユーザーがログオフしてログオンし直した後に、セッションに接続されていたプリンターが使用できなくなることがありました。

[LC5188]

- Citrix ユニバーサルプリンタードライバーのクライアントオプションの印刷プレビューがローカルのエンドポイントに表示されます。

[LC5404]

サーバー/サイトの管理

- WfShell.exe プロセスに作成されたレジストリキー「HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Internet Explorer\Main」の変更または値の追加がログオフ中に維持されないことがありました。

[LC4648]

セッション/接続

- セッション壁紙を禁止する Citrix のポリシーと、壁紙を指定する Microsoft のグループポリシーが適用されているセッションに再接続し、セッションのサイズを変更した場合、Citrix ポリシーが適用されません。

[LC0115]

- 64 ビットの ThinAPP パッケージがアプリケーションを終了すると、アプリケーションが sfrhook64.dll で予期せず例外となることがあります。

この問題を避けるには、サーバー側に以下のレジストリキーを作成します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\CtxHook\ApplInit_Dlls\SfrHook

値の名前: SkipUnloadonProcessExit

種類: DWORD

データ: 任意の値

[LC3484]

- Hotfix ICAWS760WX86022 をインストールしているシステムで、Citrix ICA サービス再起動時にユーザーセッションに再接続しようとするとう失敗することがありました。

[LC3714]

- この機能拡張では、セッションでの USB デバイスのリダイレクト時に Windows のイベントログにエントリが書き込まれるようになります。

[LC3996]

- Microsoft Internet Explorer の公開インスタンスを使用して Web サイトからファイルをダウンロードしてそのファイルをマップされたクライアントドライブに保存 ([名前を付けて保存]) しようとする、失敗することがありました。

[LC4300]

- 修正 #LC1155 をインストール済みのシステムのセッションでウィンドウのサイズを手動で変更すると、カスタムアプリケーション内の画像表示領域のサイズが正しく変更されません。

[LC4319]

- Citrix Receiver for Mac または Chromebook から接続したときに、VDA セッションでオーディオファイルを再生できないことがありました。

[LC4596]

- VDA と Citrix Receiver 間のネットワーク中断後、Windows Media Player で .avi ファイルを再生できなくなります。

[LC4670]

- iOS デバイスで実行中のユーザーセッションでタイムゾーンリダイレクトが動作しないことがありました。

[LC4869]

- リモートデスクトッププロトコルを使用すると、VM への再接続時に ICA セッションで灰色の画面が表示されることがあります。この問題は、/NOCITRIXWDDM を使用してインストールした VDA でのみ発生します。

[LC4970]

- VDA のバージョン 7.6.300 に USB デバイスがリダイレクトされると、動作しなくなることがあります。この問題は、デバイスのインスタンス ID がシリアル番号と異なる場合に発生します。

この修正を有効にするには、次のレジストリキーに製品 ID またはベンダー ID のペアを追加します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\icausb\Parameters

値の名前: UsingSerialNumberDevices

種類: REG_MULTI_SZ

値: <注: コメント文字列の隣に「vid=xxxx」および「pid=xxxx」のペアを追加してください (値の構文は大文字と小文字が区別されないルールの順序指定リストであり、「#」は行コメントを表し、各ルールには vid と pid のペアを順番に指定します。たとえば、「vid=#-番号」および「pid=#-番号」とします。vid/pid の最大 16 進値は FFFF です。vid/pid の 16 進値が 4 未満の場合は、数値にゼロ (0) を加えてください。たとえば、vid が 12 で pid が 13 の場合、vid/pid ペアは「vid=0012, pid=0013」となります。各ルールの長さは 17 に固定されており、ルールの先頭と末尾にはスペースは入れません。例: #vid=FFFF, #pid=FFFF #vid=0012, #pid=0013)。>

[LC5035]

- svchost.exe プロセスにより CPU が 100% 使用されることがあります。

[LC5041]

- Excelhook を有効にした状態で Hotfix ICATS760WX64028 を適用すると、タスクバーの Excel アイコンをクリックしても Excel のウィンドウが最小化されなくなります。

[LC5060]

- ユーザーがログオンまたはログオフし、証明書の伝達がアクティブなときに、svchost.exe プロセスが SCardHook64.dll で断続的に失敗することがありました。

[LC5083]

- この修正により、DirectShow ベースのアプリケーションのクライアント側での取得が失敗し、ビデオをレンダリングできないという問題が解決されます。

[LC5098]

- セッションが切断されず、VDA がランダムに再登録されることがありました。

[LC5122]

- サーバーの picadd.sys で、バグチェックコード 0xd5 によるブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC5134]

- 外部 USB DVD ドライブを、マップされたクライアントドライブとしてセッションにマップすると、セッションの速度が低下する可能性があります。

[LC5231]

- COM ポートマッピング機能が断続的に失敗します。

[LC5235]

- パフォーマンス 모니터の次のカウンターの表示に一貫性がないことがありました。

- \ICA セッション\セッション入力帯域幅
- \ICA セッション\セッション出力帯域幅

この問題は、カウント値が大きいときだけ発生します。

[LC5262]

- サーバーの picadd.sys で、バグチェックコード 0x3b によるブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC5299]

- picadm.sys でデッドロックが発生し、VDA が [ようこそ] 画面で応答しなくなることがあります。

[LC5326]

- [ユーザーフォルダーのリダイレクト] をオンにすると公開アプリケーションを起動できず、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「The Citrix server is unable to process your request to start this published application.」

[LC5593]

- VDA をバージョン 7.6.300 から 7.6 LTSR Cumulative Update1 にアップグレードした後、アプリケーションの起動に時間がかかるか、起動できないことがあります。

[LC5661]

- 公開されている Microsoft Excel スプレッドシートを Chromebook デバイスに保存できないことがあります。この問題の原因は、ファイル拡張子が存在しないことです。

[LC6001]

スマートカード

- Windows 10 Build 10586 以降で実行されているバージョン 7.6.300 以降の VDA でサインインオプションが表示されないという問題がありました。その結果、スマートカードログオンを実行できません。

[LC4778]

- XenDesktop スマートカードセッションがランダムに切断されることがありました。

[LC5265]

- 特定のスマートカードを使用してログオンしようとする、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「このスマートカードには有効な証明書がありません。

別のスマートカードを試してみるか、管理者に問い合わせてください。」

[LC5456]

システムの例外

- サーバーの picadm.sys で、バグチェックコード 0x50 によるブルースクリーンエラーが発生することがあります。

[LC4529]

- オペレーティングシステムで picadm.sys エラーが発生し、ブルースクリーンが表示されます。

[LC4567]

- 例外を処理せずに USB デバイスからコピーすると、オペレーティングシステムでエラーが発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4782]

- MobileDesktopHook64.dll で発生する例外「c000041d」により、公開アプリケーションプロセスが異常終了することがありました。

[LC4821]

- Windows Server 2008 R2 で実行されている VDA にリモートデスクトップ経由でログオンし、特定のサードパーティ製アプリケーションを起動すると、このアプリケーションが予期せず終了することがあります。

[LC5891]

ユーザーエクスペリエンス

- タッチパネルでの操作に最適化された公開デスクトップから通常の公開デスクトップに切り替えると、スタートボタンで次の問題が発生することがありました。

- マウスを合わせても強調表示されない
- 公開デスクトップではなくローカルデスクトップが表示される

[LC3466]

- 特定の.wmv ファイルが適切なアスペクト比で再生されないことがあります。

[LC4695]

- ICA セッション中に録音/音声入力ソフトウェアに接続すると、このソフトウェアが予期せず終了することがあります。

[LC5407]

ユーザーインターフェイス

- シームレスなアプリケーションを公開した後、タスクバーに公開アプリケーションのアイコンではなく一般的な Citrix Receiver アイコンが表示されるという問題がありました。

[LC4757]

累積更新プログラム 1 (CU1)

April 16, 2019

リリース日: 2016 年 5 月 26 日

XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR 累積更新プログラム 1 (CU1):

- XenApp および XenDesktop 7.6 リリース以降、合計 330 を超える問題のうち、LTSR 以降で報告された約 200 の問題を解決

- 1つの統一インターフェイスから大部分のコンポーネントをインストール可能なメタインストーラーが付属

注: Provisioning Services と Session Recording が別々のダウンロードおよびインストーラーとして利用可能

[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR 以降の解決された問題](#)

[XenApp および XenDesktop 7.6 以降の解決された問題](#)

[このリリースの既知の問題について](#)

新しい展開環境

新しく CU1 を展開するには

CU1 メタインストーラーを使用して、CU1 に基づく真新しい XenApp/XenDesktop 環境を設定できます。この設定を実行する前に、製品に慣れ親しんでおくことをお勧めします。

「[XenApp および XenDesktop 7.6 長期サービスリリース \(LTSR\)](#)」セクションを熟読し、「[製品の技術概要](#)」、「[新しい展開環境](#)」、および「[セキュリティ](#)」セクションの内容に注意して、展開の計画を開始してください。セットアップがすべてのコンポーネントの[システム要件](#)を満たしていることを確認してください。展開手順については、「[新しい展開環境](#)」を参照してください。

既存の展開環境

更新対象について

CU1 では、7.6 LTSR の 10 個の[ベースラインコンポーネント](#)に対して更新プログラムを提供します。注意: 展開環境のすべての LTSR コンポーネントを CU1 に更新することをお勧めします。たとえば、Provisioning Services が LTSR 展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを CU1 に更新します。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールや更新を行う必要はありません。

7.6 LTSR のリリース以降、統一インターフェイスで LTSR 環境の既存のコンポーネントを更新できるメタインストーラーが追加されました。「[アップグレード](#)」の手順に従い、Metainstaller を使用して展開環境の LTSR コンポーネントを更新します。

注

以下の情報は、CU1 リリースに固有のもので、[LTSR のベースリリース](#)、[CU2](#)向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR のベースラインコンポーネント		
コンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.1000	Windows 10 で適用される特別規則。CU1 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームを参照してください。
VDA for Server OS	7.6.1000	
Delivery Controller	7.6.1000	
Citrix Studio	7.6.1000	
Citrix Director	7.6.1000	
グループポリシー管理のエクスペリエンス	2.5.1000	
StoreFront	3.0.1000	
Provisioning Services	7.6.2	Windows 10 で適用される特別規則。CU1 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームを参照してください。
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.1000	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.1000	Platinum Edition のみ

CU1 互換性のあるコンポーネント

7.6 LTSR CU1 環境では、以下のコンポーネントの使用が推奨されます。これらのコンポーネントは、LTSR の特典 (ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム) の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 に関する注意: Windows 10 の通常サポートは、最新リリースパスから利用できます。Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、バージョン 7.9 の Virtual Delivery Agent for Windows Desktop OS および Provisioning Services を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR CU1 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォームフォーム	バージョン
Profile Management	5.4
AppDNA	7.6.5
ライセンスサーバー	11.13.1
HDX RealTime Optimization Pack	2.0
Windows 10	VDA: バージョン 7.9、Provisioning Services: バージョン 7.9

Citrix Receiver の互換バージョン

メンテナンスの容易化とパフォーマンスの最適化のために、Citrix Receiver は、最新バージョンが利用可能になり次第そのバージョンにアップグレードすることをお勧めします。最新のバージョンは、<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html>からダウンロードできます。Citrix Receiver の新バージョンが利用可能になったときに通知を受けることができるように、[Citrix Receiver の RSS フィード](#)に登録することをお勧めします。

Citrix Receiver は、XenApp および XenDesktop の LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはならないことに注意してください。7.6 LTSR 環境に含まれる Citrix Receiver を、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。Citrix Receiver for Windows については、専用の LTSR プログラムが公開されました。このプログラムについて詳しくは、「[Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」ページ（英語）を参照してください。

具体的には、LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます。

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Windows	4.4 以降
Citrix Receiver for Linux	13.2.1 以降
Citrix Receiver for Mac	12.1 以降
Citrix Receiver for Chrome	1.8 以降
Citrix Receiver for HTML5	1.8 以降
Citrix Receiver for iOS	6.1.1 以降
Citrix Receiver for Android	3.8 以降

LSTR の注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LSTR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能：ローカルアプリアクセス、Framehawk

除外対象のコンポーネント：Linux VDA、Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム*：Windows 2008 32 ビット（ユニバーサルプリントサーバー用）

* Citrix は、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

XenApp 6.5 からの移行

XenApp 6.5 の移行プロセスでは、XenApp 6.5 ファームを XenApp 7.6 以降のサイトにすばやく効率的に移行できます。この移行方法では、多数のアプリケーションと Citrix グループポリシーを含む環境で、アプリケーションと Citrix グループポリシーを手動で移行する場合のエラーの発生リスクを軽減させることができます。

XenApp 7.6 のコアコンポーネントをインストールしてサイトを作成したら、次の手順で移行プロセスを実行します。

- 各 XenApp 6.5 ワーカー上で XenApp 7.6 インストーラーを実行します。これにより、Virtual Delivery Agent for Windows Server OS にアップグレードされます。
- いずれかの XenApp 6.5 コントローラー上で PowerShell エクスポートコマンドレットを実行して、アプリケーション設定と Citrix ポリシー設定を XML ファイルにエクスポートします。
- 必要に応じて XML ファイルを編集して、新しいサイトにインポートしないデータや設定を削除します。XML ファイルをカスタマイズすることにより、ポリシー設定とアプリケーション設定を段階的に XenApp 7.6 サイトにインポートできます（一部を先にインポートしてから残りを後でインポートするなど）。
- 新しい XenApp 7.6 Controller 上で PowerShell インポートコマンドレットを実行して、XML ファイルから新しい XenApp サイトに設定をインポートします。
- 新しいサイトを必要に応じて再構成してテストします。

詳しくは、[XenApp 6.x からの移行](#)を参照してください。

Citrix Connector 7.5 のサポート

Citrix Connector 7.5 により、Microsoft System Center Configuration Manager (Configuration Manager) と、XenApp または XenDesktop が連携して動作するようになるため、Configuration Manager の使用を Citrix 環境にまで拡張することができます。Citrix Connector 7.5 では、XenApp 7.6 および XenDesktop 7.6 の Platinum Edition がサポートされています。

詳しくは、「[Citrix Connector 7.5 for System Center Configuration Manager 2012](#)」を参照してください。

XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR 以降の解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR Cumulative Update 1 では、XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR リリース以降に報告された以下の問題が解消されています。

XenApp および XenDesktop 7.6 リリース以降で解決された問題の一覧については、[「XenApp および XenDesktop 7.6 以降の解決された問題」](#)を参照してください。

Citrix Director

- Director でのユーザー名検索で、最大で 2 分の遅れがランダムに発生します。

[LC1250]

- 大量のデータを PDF 形式でエクスポートすると、サーバーの CPU およびメモリ消費が 100% に近づき、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「操作に失敗しました。データソースが応答しないか、エラーが報告されました。詳しくは、サーバーのイベントログを参照してください。」

この修正では、PDF エクスポートに対して構成可能な制限が導入されたため、少なくともレポートの一部を取得できるようになりました。

この修正をインストール後、wwwroot\Director フォルダーの web.config ファイルを以下のように設定してください。

[appSettings] セクションに以下の行を追加します。

```
<add key="UI.ExportPdfDrilldownLimit" value="100"/>
```

制限はメモリサイズなどのサーバーの能力に依存します。value には PDF レポートの行数を指定します。

[LC4108]

- レポートをなんらかのファイル形式でエクスポートしようとする時、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「操作に失敗しました。予期されないサーバーエラーです。詳しくは、サーバーのイベントログを参照してください。」

[LC4281]

- XenApp サーバーに 2 つの IP アドレスがあり、DNS サーバーが最初の IP アドレスを解決できない場合、管理者が Citrix Director にログオンしようとする時、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「現在、システムを使用できません。後で再試行するか、管理者に問い合わせてください。」

[LC4411]

- 大量のデータを CSV 形式でエクスポートしようとする時、タイムアウトが発生し、エクスポートが失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「操作に失敗しました。データソースが応答しないか、エラーが報告されました。詳しくは、Director サーバーのイベントログを参照してください。」

この修正により、データエクスポートのタイムアウト値を構成できるようになりました。

修正をインストール後、wwwroot\Director フォルダの web.config ファイルを以下のように設定してください。

[appSettings] セクションに以下の行を追加します。

<add key="Connector.DataServiceContext.Timeout" value="3600" />。ここで value はタイムアウト値 (秒) です。

[LC4467]

- セッション詳細を表示するユーザーを選択すると、左上隅に表示されるユーザー名が「NULL」になる場合があります。

[LC4589]

- NetBios ドメイン名にアンパサンド (&) が含まれている場合、Citrix Director コンソールからのシャドウが失敗することがあります。この問題が発生するのは、アンパサンド文字が XML で予約された文字であるため、現在のログオンの解析が失敗するからです。

[LC4633]

Citrix ポリシー

- Desktop Studio の終了時にナビゲーションペインで [コンソールルート] が選択されていない場合、Microsoft 管理コンソール (MMC) が失敗するという問題がありました。

[LC1314]

- Citrix ポリシーエンジンが原因で、サーバーが応答しなくなることがあります。この問題が発生すると、Citrix Receiver および RDP への接続要求が失敗します。

[LC1817]

- この拡張機能により、Citrix グループポリシーモデル作成ウィザードで作成されたモデル作成レポートが、Citrix Studio の真ん中のペインに表示されるようになります。

[LC2189]

- Citrix Studio で Citrix Administrator の追加や作成を行う際に、ユーザー名やグループ名にアンダースコアを含めると (get\dl_lab_group などのように)、管理者の一覧の詳細で最初のアンダースコアが表示されません。ユーザーグループ名は「dllab_group」と表示されます。

[LC2284]

- Citrix グループポリシーモデル作成ウィザードを AppCenter のポリシーノードでドメインユーザーとして実行すると、対象のユーザーとコンピューターポリシーが表示されないことがあります。

[LC3284]

- Citrix Director 管理者が、セッション詳細の Citrix ポリシーを表示できないことがあります。

[LC3941]

- [プリンター割当て] ウィンドウで、ユーザーデバイスのグループに複数のセッションプリンターを追加しようとすると、スクロールバーを展開して表示できません。このため、ユーザーデバイスのグループに複数のセッションプリンターを追加できないことがあります。

[LC4658]

Citrix Studio

- この修正により、セキュリティ上の脆弱性に関する問題が解決されます。詳しくは、Knowledge Center の [CTX213045](#) を参照してください。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC0559]

- この修正では、Citrix Studio が存在するものとは異なるドメインに属しているメンバーをデリバリーグループに追加できない問題が解決されています。

[LC0955]

- App-V の統合機能を使用するアプリケーションが、正しい作業ディレクトリを使用していないことがあります。

[LC1623]

- App-V 5.0 Service Pack 3 にアップグレードした後に、Citrix Receiver を介した App-V アプリケーションの起動に失敗する場合があります。

[LC1762]

- Is Empty 演算子で保存された Citrix Studio でクエリを実行すると、この演算子がデフォルトの演算子で置き換えられるという問題がありました。

[LC1940]

- Subscription Advantage の有効期限が同じ XenApp および XenDesktop ライセンスを 1 つのライセンスファイルに統合すると、一部の XenApp ライセンスが Studio で表示されるライセンス情報から欠落することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2350]

- この修正プログラムは、App-V アプリケーションの検出中に起きる Citrix Studio のメモリリークを解決します。

[LC2559]

- Machine Creation Service を使用してサーバー OS の VDA をカタログ化するときに Personal vDisk ストレージを利用できない場合、カタログの CleanOnBoot プロパティが誤って「False」に設定されることがあります。結果として、カタログの更新が失敗することがあります。

[LC2959]

- 2 つのアプリケーションが同じ ApplicationID を持つ場合、App-V アプリケーションを更新すると、Citrix Studio による App-V パッケージ名の設定が不正確になることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2969]

- PowerShell リソースを閉じている間、Citrix Studio が応答しないことがあります。

[LC3612]

- Citrix Studio で、デリバリーグループの下の複数のフォルダーに複数のアプリケーションを作成すると、フォルダー構造が大きくなることがあります。Citrix Studio を初めて開いてフォルダーまたはアプリケーションをクリックしたときに、フォルダーまたはアプリケーションが選択されず、ドラッグされることがあります。このため選択されたオブジェクトが移動し、フォルダーまたはアプリケーションの構造が変更されます。

[LC3705]

- Add-XDController コマンドレットで、フルカスタムのデータベース接続文字列が Controller に割り当てられません。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC3860]

- データベース管理者ユーザーグループのメンバーでないユーザーが Citrix Studio を開こうとすると、SQL Server 上で権限エラーが発生することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4127]

- 追加リソースを App Orchestration 2.6 のマルチテナントオフリングにプロビジョニングしようとする、オフリングに既に 2 つ以上のテナントが含まれている場合は失敗する可能性があります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4170]

- 複数の Citrix Studio セッションが開かれていると、あるセッションで行われたポリシー変更が失われ、別のセッションで行われたポリシー変更により上書きされることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4487]

コントローラー

- この修正により、セキュリティ上の脆弱性に関する問題が解決されます。詳しくは、Knowledge Center の [CTX213045](#) を参照してください。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC0559]

- イベントログに記録されたイベント ID 3012 のインスタンスが 2 つ以上ある場合に、イベント ID 3020 および 3021 もログに記録され、メッセージが適切でないことがありました。この修正により、イベント ID 3012 のインスタンスが 2 つ以上記録されている場合に、イベント ID 3010 および 3011 が正しくログに記録されるようになります。

[LC1425]

- イベント ID 1110 および 1111 のエラーメッセージが、イベントログにおいて適切でないことがありました。この修正により、次のメッセージが記録されるようになります。
 - イベント ID: 1110: イベントログが過剰に記録されないように、一時的に関連メッセージが圧縮されます (イベント ID 1100 ~ 1109、1112 ~ 1116)。
 - イベント ID: 1111: 関連メッセージは圧縮されなくなりました (イベント ID 1100 ~ 1109、1112 ~ 1116)。

[LC1485]

- NetBIOS ドメイン名にアンパサンド (&) が含まれている場合、Citrix Studio の起動が失敗してエラーメッセージ「この操作を実行するための権限がありません」がコード XDDS:72182E6B で表示されます。

[LC1646]

- 一部の Active Directory 組織単位 (OU) で、OU 名に特殊文字が含まれる場合、XenDesktop のコアサービス (AD Identity Service や Broker Service など) が OU にバインドできないことがありました。これによって、CPU 使用率が通常より高くなる可能性があります。さらに、サービスが予期せず終了するため、Citrix Studio にアクセスできなくなることがあります。

[LC1979]

- 公開アプリケーションでキーワードによるフィルタリングを使用すると、ワークスペースコントロールが機能しないことがあります。

[LC2025]

- Subscription Advantage の有効期限が同じ XenApp および XenDesktop ライセンスを 1 つのライセンスファイルに統合すると、一部の XenApp ライセンスが Studio で表示されるライセンス情報から欠落することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2350]

- 公開アプリケーション名の末尾にスペースがあると、複数の問題が発生する可能性があります。これらの問題は、切り詰められた名前の末尾にスペースが含まれるアプリケーションの公開名からブラウザ名を生成するときに発生します。

[LC2897]

- 2 つのアプリケーションが同じ ApplicationID を持つ場合、App-V アプリケーションを更新すると、Citrix Studio による App-V パッケージ名の設定が不正確になることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2969]

- Set-BrokerDBConnection とその関連コマンドを実行すると、Citrix Studio の関連する構成ログエントリに、対応する「主なタスク」が「進行中」のステータスで一覧表示され、タスクが完了してもステータスが更新されません。

[LC3479]

- (主に SCCM などの電子ソフトウェア配信 (ESD) で使用される) ローカルシステムアカウントを使用して XenDesktop 7.6 へのアップグレードを実行した後、解析サービスが開始されません。

[LC3493]

- VMware Vsphere Hypervisor に接続された VDA for Server OS のスケジュールによる再起動を実行すると、サーバーがシャットダウンし、電源オフの状態になることがあります。

- この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\DesktopServer\RebootSchedule

名前: ShutdownTimeoutRecovery

種類: DWORD

値: 1

- この修正を無効にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\DesktopServer\RebootSchedule

名前: ShutdownTimeoutRecovery

種類: DWORD

値: 0

値を設定した後で、Broker Service を再起動する必要があります。

[LC3807]

- Add-XDController コマンドレットで、フルカスタムのデータベース接続文字列が Controller に割り当てられません。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC3860]

- データベース管理者ユーザーグループのメンバーでないユーザーが Citrix Studio を開こうとすると、SQL Server 上で権限エラーが発生することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4127]

- 追加リソースを App Orchestration 2.6 のマルチテナントオフリングにプロビジョニングしようとする、オフリングに既に 2 つ以上のテナントが含まれている場合は失敗する可能性があります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4170]

- Controller で、「SupportMultipleForest」設定で NTLM 認証が許可されている場合、Windows Communication Foundation (WCF) の EndpointReference にそのサービスプリンシパル名 (Service Principal Name: SPN) が設定されていないことが原因で、Linux VDA での登録プロセスが失敗することがあります。

[LC4235]

- VMware ハイパーバイザー上でホスティングされる仮想マシン (Virtual Machine: VM) を作成する場合、それらの VM を Citrix Studio から初めて更新または削除しようとする「エラー ID XDDS:B125B84A」で失敗することがありますが、それ以降の試行は成功します。

[LC4436]

- 複数の Citrix Studio セッションが開かれていると、あるセッションで行われたポリシー変更が失われ、別のセッションで行われたポリシー変更により上書きされることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4487]

- 夏時間との切り替えが行われる時間範囲内に PowerShell コマンド「Get-LogSummary」を実行すると、次のエラーメッセージが表示されます。

「同一のキーを含む項目が既に追加されています。」

この問題は、夏時間により、ローカルの日付または時刻があいまいになる場合に発生します。結果的に、HashMap に重複するエントリが作成され、例外が発生します。

この修正では、夏時間の開始時刻と終了時刻をそれぞれ含む期間に分割するように通知するメッセージを導入されました。

[LC4612]

- アマゾンウェブサービス (AWS) 環境でマシンカタログを更新しようとすると、断続的に失敗することがあります。修正を有効化するには、マシンカタログの更新時にイメージ準備段階がスキップされるように、コマンド「Set-ProvServiceConfigurationData -Name ImageManagementPrep_DolImagePreparation -Value \$false」を実行する必要があります。

[LC4709]

- 多数のアプリおよび VDA プロセスが実行されている場合、Controller とデータベースの接続が切断されることがあります。接続が切断された場合、VDA は初期化状態になり、アプリケーションを利用できなくなります。

[LC4848]

- ハイパーバイザーのアラートが多すぎると、SQL データベースサーバーの CPU 使用率が 100% に達することがあります。

[LC5277]

- 高使用率条件下では (5,000 人以上のユーザーが、多数の VDA for Server OS 上で多数のアプリを同時起動)、SQL データベースサーバーの CPU 使用率が 100% に達することがあります。これによりサーバーが停止し、アプリを起動できなくなる場合があります。

[LC5315]

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX MediaStream Flash リダイレクトが有効である場合、Internet Explorer で Flash コンテンツのある複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC0375]

- HDX MediaStream for Flash が有効である場合、Internet Explorer で複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC1141]

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Windows\Applnit_DLLs のレジストリ値が「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」のフルパスでなく「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」に設定されている場合に、HDX MediaStream Flash リダイレクトを有効にしてサイトを閲覧すると、Flash リダイレクト機能でエラーが発生します。

[LC4388]

インストーラー

- VDA のバージョン 7.6.300 をコマンドラインからインストールすると、スイッチの文字列の場所によっては/noreboot スイッチが上書きされます。その結果、インストールが完了すると、VDA が再起動します。

[LC4046]

- VDA のインストール中、[パフォーマンス最適化] オプションを無効にしても、パフォーマンスに関連した特定のレジストリキーがインストールされることがあります。

[LC4330]

ライセンス

- Citrix Studio において、フランスのシステムロケールに設定されたライセンスサーバーに対して、スペイン語のライセンスモデルが表示されます。

[LC3450]

Provisioning Services

Console

- Provisioning Services コンソールのバージョン 7.1.3 のインストール後、多数の.NET アプリケーションが Windows Server 2008 R2 および Windows 7 で失敗するという問題がありました。

[LC1838]

- VMware ESX ホストが保守モードのときに、XenDesktop セットアップウィザードによるマシンの作成が失敗することがありました。

[LC3401]

- XenDesktop セットアップウィザードによって、ホストユニットの Personal vDisk ストレージで「優先」フラグが正しく適用されないという問題がありました。

[LC3573]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードの実行中、多数のホストおよびデータストアを含む VMware ESX クラスタでのテンプレートの列挙が完了するのに長い時間がかかることがありました。

[LC3674]

- vDisk をマウントおよびマウント解除するときに、SOAP Service が応答なくなり、Provisioning Services コンソールの起動が失敗するという問題がありました。

[LC3723]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードを使ってマシンを作成するときに、以下のエラーメッセージが表示されることがあります。

「オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません。」

[LC3811]

- ヘルプデスク管理者が新しい仮想マシン (VM) を XenDesktop セットアップウィザードでスタンドアロンの Provisioning Services コンソールから作成すると、BDM パーティションからのターゲットデバイスの起動が失敗し、ログオンサーバーの誤った IP アドレスが表示される可能性があります。

[LC3911]

- Provisioning Services コンソールをインストールすると、以下のレジストリキーは「1」に設定されます。これによって他の .NET アプリケーションが誤ったバージョンのフレームワークを使用しようとするため、失敗する可能性が高くなります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\.NETFramework

名前: OnlyUseLatestCLR

種類: REG_DWORD

データ: 1

[LC4197]

- XenDesktop セットアップウィザードまたはストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードを使用して、仮想マシン (VM) を作成しようとする、Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 環境で失敗する可能性があります。この修正では、短い名前ではなくホストの完全修飾ドメイン名がコマンドで使用されます。

[LC4230]

- XenDesktop セットアップウィザードは、System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 2012 環境で Provisioning Services ターゲットデバイスの作成に失敗する可能性があります。

[LC4256]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザード、または XenDesktop セットアップウィザードを使用して VMware Vsphere Hypervisor 5.1 に接続しようとする、User1 と User2 が異なるポートを使用するよう構成されている場合、失敗する可能性があります。

VMware ESX サーバーに異なるポートで接続するには、以下のレジストリキーを作成する必要があります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices\PlatformEsx

名前: Port

種類: DWORD

値: <port_number>

[LC4283]

- XenDesktop セットアップウィザードと XenServer との間の SSL 接続が失敗します。

[LC4377]

- この機能拡張により、HP 社の Moonshot システムに搭載された最新の Mellanox NIC およびファームウェアで、NIC チューニングを使用できるようになります。

[LC4646]

- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) で作成されたテンプレートに異なる 2 つのネットワークで NIC が含まれる場合 (ネットワーク xxx に NIC1、およびネットワーク yyy に NIC2 など)、XenDesktop セットアップウィザードのデフォルトの動作は両方の NIC をホストレコード (ネットワーク zzz) のネットワークに変更します。NIC2 ネットワークが変更されないようにするには、この修正をインストールした後、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices\PlatformScvmm

名前: RequireMatchingNetworks

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4650]

- 項目を選択せずに Ctrl+C を押すと、Provisioning Services コンソールが異常停止して、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「スナップインのエラーが MMC により検出されたので、スナップインがアンロードされます。」

さらに、この問題は特定のサードパーティ製ソフトウェアによって Ctrl+C キーの組み合わせが自動的に組み込まれている場合にも発生することがあります。

[LC4909]

サーバー

- BDM パーティションを使用している場合、VMware 上のターゲットデバイスは、リストの最上位に表示されているサーバーにアクセスできないと、リスト上のどのサーバーにもログオンを試みません。

[LC3805]

- Provisioning Services サーバーに vDisk をマウントする場合、サーバーから vDisk への論理アクセスがないと失敗します。

[LC3835]

- ヘルプデスク管理者が新しい仮想マシン (VM) を XenDesktop セットアップウィザードでスタンドアロンの Provisioning Services コンソールから作成すると、BDM パーティションからのターゲットデバイスの起動が失敗し、ログオンサーバーの誤った IP アドレスが表示される可能性があります。

[LC3911]

- PowerShell コマンド `Mcli-Run ExportDisk -p DiskLocatorName="DISK_NAME", StoreName="STORE_NAME", SiteName="SITE_NAME,"` を実行して vDisk をエクスポートすると、vDisk のバージョンごとに、複数のエントリが含まれるマニフェストファイルが作成されることがありました。この問題は、同じ名前の vDisk が複数のサイトに存在する場合に発生します。バージョンごとに重複するエントリ数は、vDisk が含まれるサイトの数に対応します。

[LC4225]

- VM ストレージパスの末尾にバックラッシュ (\) があると、SCVMM 環境で XenDesktop セットアップウィザードによるマシンの作成が失敗します。

[LC4418]

- この機能拡張により、HP 社の Moonshot システムに搭載された最新の Mellanox NIC およびファームウェアで、NIC チューニングを使用できるようになります。

[LC4646]

- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) で作成されたテンプレートに異なる 2 つのネットワークで NIC が含まれる場合 (ネットワーク xxx に NIC1、およびネットワーク yyy に NIC2 など)、XenDesktop セットアップウィザードのデフォルトの動作は両方の NIC をホストレコード (ネットワーク zzz) のネットワークに変更します。NIC2 ネットワークが変更されないようにするには、この修正をインストールした後、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices\PlatformScvmm

名前: RequireMatchingNetworks

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4650]

ターゲットデバイス

- ESX VMXNET3 NIC のシステムに Provisioning Services ターゲットデバイスをインストールするには、Microsoft 社の修正プログラム <https://support.microsoft.com/en-us/kb/2550978> またはこれに代わ

る修正プログラムをインストールする必要があります。この修正により、明示的に KB2550978 を要求する代わりに、管理者に KB2550978 またはこれに代わる修正プログラムがインストールされていることを確認するように促す警告メッセージが表示されるようになります。

[LC3016]

- サービスログオンアカウントがデフォルト値の [ローカルシステム] に設定されると、PVS デバイスサービス (BNDevice.exe) が正常に起動しないという問題がありました。

[LC3209]

- Active Directory パスワード変更に関連する複数の重大エラーログのログレベルが正しく設定されず、その結果、ログが Citrix Diagnostic Facility トレースに送信されないという問題がありました。

[LC3803]

- vDisk の自動更新が、PvD を有効にした vDisks でインベントリを更新しません。

[LC3997]

- VMXnet3 ネットワークドライバーを使用する ESX ターゲットデバイスは、巨大なフレーム (フレーム当たり 1500 バイトを超えるペイロード) を使用すると、重大な例外が発生し、ブルースクリーンを表示する可能性があります。

[LC4238]

- プロビジョニングされたターゲットデバイスは、有効なライセンスがない場合、96 時間の猶予期間が過ぎるとシャットダウンされます。この機能拡張により、ターゲットデバイスの猶予期間は 30 日間 (720 時間) に延長されます。

[LC4645]

Session Recording

エージェント

- Session Recording Agent プロパティで「この VDA マシンでサードパーティ製アプリケーションによるカスタムデータの記録を許可する」を有効にしている場合、日本語版 Windows オペレーティングシステム上で実行されている Session Recording Agent Service が起動せず、クライアントセッションを記録できないことがあります。

[LC3861]

プレーヤー

- Microsoft ペイントのセッションの録画は、Session Recording Player では正常に再生されません。

[LC4389]

- マルチモニター環境のユーザーデバイスで録画したセッションを再生するとエラーが発生します。

[LC4391]

StoreFront

- この修正では、管理コンソールユーザーインターフェイスでの用語「Classic」の日本語翻訳における不整合が修正されます。

[LC3607]

- 2 つ目以降のアプリケーションをクリックして起動すると、最初に開始したアプリケーションのインスタンスが 1 つまたは複数起動することがあります。この問題は、複数サイトの集約を構成するときに Citrix Receiver for Web 以外の Receiver のバージョンを使用すると発生します。最初のアプリケーションの追加インスタンスが、集約された各サイトから起動します。

[LC4278]

- default.ica ファイルで行った公開デスクトップのカスタマイズが、上書きされる可能性場合があります。たとえば、「ConnectionBar=1」を設定しても、特定のデスクトップで接続バーが表示されないことがあります。

[LC4688]

- 特定のシナリオでは、StoreFront で生成される列挙応答に、重複したリソースが含まれます。これにより、Receiver for Web が障害を報告し、アプリが表示されないことがあります。この問題は、次の 1 つ以上の条件で発生します。

- マルチサイト構成で、1 つのファームが複数の UserFarmMapping によって参照される。
- 複数の UserFarmMapping が適用されている Active Directory グループに、ユーザーが属している。
- ファームが含まれる EquivalentFarmSets に集合体グループがないか、ユーザーに対して複数の割り当てを持つデリバリーグループが存在する。

[LC4863]

ユニバーサルプリントサーバー

クライアント

- VDA for Server OS の Microsoft 印刷管理コンソールからリモートプリントサーバー上のポートまたはプリンターを管理しようとする、「操作を完了できませんでした。この操作はサポートされていません。」というエラーメッセージで失敗することがあります。また、[ポート] タブに移動してもポートが一覧表示されないことがあります。

さらに、いずれかのプリンターを右クリックして「プリンターキューを開く」を選択すると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「プリンターが見つかりません。ネットワークが正常に動作しており、プリンター名とプリンターサーバー名を正しく指定していることを確認してください。」

この問題に対処するには、VDA のレジストリからレジストリキー「HKEY_LOCAL_MACHINE\System\CurrentControlSet\Printer」を削除し、印刷スプーラーサービスを再起動します。Microsoft 印刷管理コンソールにポートが正しく列挙され、ポートおよびプリンターを構成できるようになります。

[LC3740]

サーバー

- Microsoft GDI Print API を使用したバッチ印刷で、最後のページが印刷されずに失敗し、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「Dispatch::CDriverTripSummary::PrintReport, 印刷時にエラーが発生しました.... プリンターを確認してください」

[LC3920]

- この修正では、ユニバーサルプリントサーバー 7.6.300 用の Citrix UPS Print Driver Certification Tool がサポートされます。詳しくは、Knowledge Center の [CTX142119](#) を参照してください。

[LC4265]

VDA for Desktop OS

コンテンツリダイレクト

- Mailto リンクでコンテンツのリダイレクトが有効にされている場合、Mailto リンクにカンマが含まれていると起動に失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

「既定のメールクライアントが正しくインストールされていないため、この操作を行えませんでした。」

この問題は、コンソールまたはリモートデスクトップセッションでは発生しません。

[LC3701]

HDX 3D Pro

- HDX 3D Pro のデュアルモニター構成で1つのモニターの Windows をロックすると、もう一方のモニターの画面を非表示にできない場合があります。この問題は、デュアルモニターのクライアントセッションから接続を切断し、その後で単一のモニタークライアントから再接続し、さらにそのセッションから接続を切断して、次にデュアルモニタークライアントから再接続すると発生します。

[LC3934]

- マウスポインターを Microsoft メモ帳のウィンドウの縁に置くと、適切な形状でなくなることがあります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定する必要があります。

- 32 ビット *Windows* の場合:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\HDX3D

名前: EnableUnknownCursorHandling

種類: REG_DWORD

値: 1

- 64 ビット *Windows* の場合:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Citrix\HDX3D

名前: EnableUnknownCursorHandling

種類: REG_DWORD

値:

[LC4160]

- セッション画面の解像度を変更しようとする断続的に失敗し、Desktop Viewer のウィンドウが灰色になる可能性があります。

[LC4261]

- HDX 3D Pro が有効である場合、3D グラフィックレンダリングアプリケーションで、カスタマイズしたマウスポインターが正しく表示されないことがあります。

[LC4713]

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX MediaStream Flash リダイレクトが有効である場合、Internet Explorer で Flash コンテンツのある複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC0375]

- HDX Mediastream for Flash が有効である場合、Internet Explorer で複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC1141]

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Windows\Applnit_DLLs のレジストリ値が「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」のフルパスでなく「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」に設定されている場合に、HDX MediaStream Flash リダイレクトを有効にしてサイトを閲覧すると、Flash リダイレクト機能でエラーが発生します。

[LC4388]

HDX MediaStream Windows Media リダイレクト

- Receiver セッション内で、Windows Media Player で.MOD、ac3、および mpeg ファイルの再生中に前方へシークすると、ビデオが音声なしで再生されることがあります。

[LC2768]

- ICA セッション（または公開デスクトップセッション）内で、Windows Media Player で.avi ファイルを再生し、その後、そのファイルを停止しないで別の.avi ファイルを再生すると、ビデオフレームがユーザーデバイスに正しく送信されないことがあります。その結果、mmvdhost.exe プロセスの CPU 使用率が通常より高くなり、ユーザーデバイス上でビデオが正しくレンダリングされないことがあります。

[LC4260]

インストール、アンインストール、アップグレード

次の Microsoft セキュリティ更新プログラムを1つ以上インストールした後で、いずれかのバージョンの Windows 10 を実行している XenDesktop VDA 7.6.300 または 7.7 にログオンしようとする、失敗します。詳しくは、Knowledge Center の[CTX205398](#)を参照してください。

Windows 10 RTM (LTSB)

セキュリティ更新プログラム:

リリース日:

[KB3124266](#)

2016 年 1 月

[KB3135174](#)

2016 年 2 月

[KB3140745](#)

2016 年 3 月

[KB3147461](#)

2016 年 4 月

[KB3156387](#)

2016 年 5 月

Windows 10 Version 1511 (Current Business Branch):

[KB3124263](#)

2016 年 1 月

[KB3124262](#)

2016 年 1 月

[KB3135173](#)

2016 年 2 月

[KB3140768](#)

2016 年 3 月

[KB3147458](#)

2016 年 4 月

[KB3156421](#)

2016 年 5 月

Windows 10 Version 1511:

(2016 年 2 月更新済み)

2016 年 2 月までのすべてのアップデートを含む累積イメージ

2016 年 3 月

注: 上記いずれかの **Microsoft** セキュリティ更新プログラムをインストールしている場合:

Windows 10 RTM (Build 10240) VDA または Windows 10 Version 1511 (Build 10586.36) VDA に上記いずれかの Microsoft セキュリティ更新プログラムをインストールしていて、このアップデートを適用する場合は、以下の操作を実行してください。

1. Windows 10 VDA をセーフモードで再起動してセーフモードでログインします。
2. 上記 Microsoft セキュリティ更新プログラムをアンインストールし、再起動します。
3. このアップデートをインストールし、再起動します。
4. 適用できるすべての Microsoft セキュリティ更新プログラムをインストールします。

Windows 10 (RTM/Version 1511/Version 1511 (2016 年 2 月更新)) への 7.6.300 VDA の新規デプロイメントの場合、以下の操作を実行してください。

1. Windows 10 (RTM/Version 1511/Version 1511 (2016 年 2 月更新)) のイメージを用意します。
注: 次の手順で VDA をインストールして再起動すると、マシンは回復不可能な状態になります。VDA のインストール後に再起動しないでください。
2. 7.6.300 VDA をインストールし、再起動しないことを選択します。
3. このアップデートをインストールし、再起動します。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_305、DesktopVDACoreWX64_7_6_305 から][LC4604]

キーボード

- VDA セッション内で Citrix GoToMeeting を実行しており、プレゼンターを務めている場合、マウスポインターが点滅し始めることがあります。この問題は、「従来のグラフィックモード」ポリシー設定がセッションに対して無効な場合に発生します。

[LC3033]

ログオン/認証

- Windows のリモートデスクトップセッションホストの構成ポリシーで [接続するたびにパスワードを要求する] 設定が有効にされている場合、ICA プロトコルを使用して VDA 7.x にログオンすると、もう一度資格情報を入力するように求めるプロンプトが表示されます。

この修正を有効にするには、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix\Portica

名前: AutoLogon

種類: DWORD

データ: 0x00000001 (値は 1 ~ 2147483647 の間で指定する必要があります)

注: MSP ファイルの実行が複数回試行された場合、Citrix Display Drive が削除対象にマークされることがあります。これにより Hotfix のインストールが失敗します。また、VDA のディスプレイ解像度が機能しないことがあります。これを機能させるには、VDA を再起動してから Hotfix をもう一度インストールします。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_301、DesktopVDACoreWX64_7_6_301 から][LC1180]

- Microsoft Hotfix KB3124266 (Windows 10 用) または KB3124263 (Windows 10 Version 1511 用) をインストールした後に、Windows 10 で実行中の XenDesktop VDA 7.6.300 または 7.7 にログインしようとすると、ログインできないことがあります。詳しくは、Knowledge Center の [CTX205398](#) を参照してください。

注: 既に KB3124266 または KB3124263 をインストール済みで、この更新プログラムを適用する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows 10 のマシンを再起動してセーフモードでログインし、KB3124266 または KB3124263 をアンインストールします。
2. Windows 10 のマシンを再起動し、この更新プログラムをインストールします。
3. KB3124266 または KB3124263 を再インストールします。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_304、DesktopVDACoreWX64_7_6_304 から][LC4540]

印刷

- Citrix 印刷スプーラーサービスが異常終了する場合があります。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_307、DesktopVDACoreWX64_7_6_307 から][LC4180]

シームレスウィンドウ

- シームレスアプリケーションが応答しなくなり、そのアプリケーションの Windows タスクバーのアイコンが汎用の Citrix Receiver アイコンに戻る場合があります。

[LC3783]

- シームレスな公開アプリケーションを閉じると、フォーカスが一般的な Windows の Z オーダーのウィンドウではなく、ほかの公開アプリケーションに移ります。

[LC4009]

サーバー/サイトの管理

- 切断されたアクティブなセッションがある場合、管理者が Hyper-V コンソールから仮想マシンにアクセスしようとする、黒い画面が表示されます。この問題は、XPDM ドライバーを使用する環境で発生します。

[LC3536]

- VDA で接続の受け入れが停止されることがあります。「従来のグラフィックモード」ポリシーを有効にすると、接続の受け入れが再開されます。

[LC3749]

- VM Hosted App を起動すると、アプリが完全に開始される前に Windows ログオン画面が表示されることがあります。この修正では、ようこそ画面が表示されるまでに 15 秒の猶予期間が導入されました。また、猶予期間の長さをカスタマイズできる、以下のレジストリキーのサポートも提供されます。

注：猶予期間中、アプリが起動中であることはユーザーにはわかりません。猶予期間を長く構成しすぎると、アプリケーションの起動が遅れ、ユーザーが気付かずにアプリを複数回起動してしまう可能性があります。

猶予期間の長さを変更するには、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix\wfshell\TWI

名前: LogonUIHideTimeout

種類: DWORD

値: 0 より大きな任意の値 (ミリ秒単位。たとえば、20 秒は 20000 ミリ秒)

[LC3828]

- attrib コマンドを使用して、マップされたクライアントドライブにあるファイルのファイル属性を変更しようとすると、失敗することがあります。

[LC3958]

- 長期間の記録において、[セッション出力帯域幅] パフォーマンスモニタリングカウンターが整合性のない値を報告することがあります。

[LC4151]

- 指定ユーザー資格情報（ユーザー名/パスワード）とユーザーアカウント制御（UAC）を有効にしてバージョン 7.6.300 の VDA にログオンしてから、スマートカードを使用して、セッションで実行されているアプリケーションの認証を行おうとすると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「認証エラーが発生しました。セキュリティパッケージで利用できる資格情報がありません。」

[LC4486]

セッション/接続

- 複数の Web カメラまたはビデオキャプチャデバイスがエンドポイントにインストールされている場合、1つのデバイスのみがクライアントセッションにマップされます。さらに、デバイスは Citrix HDX Web Camera としてマップされるため、どのデバイスがマップされているかわかりません。

[LC1919]

- ローカルアプリアクセスを有効にしたセッションで、スクリーンセーバーを起動できません。

[LC3182]

- Citrix ポリシー「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」が正しく機能しません。

[LC3552]

- [切断セッションタイマーの間隔] で指定した時間が経過した後も、切断されたセッションが物理マシン上で開かれたままになっていることがあります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Portica

名前: ForceDisableRemotePC

種類: DWORD

値: 0 より大きな任意の値

[LC3650]

- エンドポイントのネットワーク接続が数分間切断された場合、VDA を再起動しないと再接続できないことがあります。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_301、DesktopVDACoreWX64_7_6_301 から][LC3700]

- ある程度以上の間アイドル状態だった VDA にログオンすると、再接続時に資格証明が自動でログオン画面にパススルーされず、ログオン画面でパスワードの入力を求められることがあります。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_309、DesktopVDACoreWX64_7_6_309 から][LC3720]

- ファイルが、関連の公開アプリケーションによって閉じられた後も、WFICA32.exe プロセスによりロックされたままになることがあります。そのため、しばらくの間ファイルを編集することができません。

[LC3724]

- 一部のサードパーティの公開アプリケーションで、XenApp サーバーを起動できないことがあります。その結果、wfshell.exe プロセスが予期せず閉じられることがあります。このエラーが発生した場合、ユーザーデバイスに、セッションが開始されていることを示す通知もエラーメッセージも表示されません。

[LC3766]

- マルチモニターセッションで Thomson Reuters Eikon ツールバーのドックを解除した後、ツールバーが占用していたスペースはセッションに回復されません。

プライマリモニターが配列の左上隅にないモニター構成では、Receiver for Windows 4.4 以降に含まれる Fix #LC1599 もインストールする必要があります。

[LC3773]

- App-V 構成設定「EnablePublishingRefreshUI」がセッションホスト上で有効で、[セッションの残留] も同様に有効である場合、iOS デバイスでアプリケーションを閉じようとする、デバイス画面に黒いウィンドウが表示されたままになることがあります。

[LC3800]

- Citrix Windows XP Display Driver Model (XPDM) のディスプレイドライバーを有効にすると、マウスポインターの影の設定が、コントロールパネルで無効になっている場合も常に有効になります。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_302、DesktopVDACoreWX64_7_6_302 から][LC3806]

- Excelhook が有効な場合、Excel のワークブックを最小化してから元に戻すと、Excel のウィンドウからフォーカスが失われる可能性があります。

[LC3873]

- Citrix Receiver for Android を使用するセッションでは、「セッションクリップボードの書き込み制限」ポリシーおよび「クライアントクリップボードの書き込み制限」ポリシーは正しく機能しません。このため、これらの2つのポリシーの構成に関係なく、ユーザーはセッションとユーザーデバイス間でコンテンツをコピーして貼り付けることができます。

[LC3894]

- 切断されたセッションに再接続しようとする、Windows のロック画面に一連のキーが表示されますが、パスワードを入力するためのオプションが表示されません。「他の資格情報」をクリックすると、2つ目の資格情報アイコンが表示され、パスワードを入力してセッションのロックを解除できます。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_306、DesktopVDACoreWX64_7_6_306 から][LC4053]

- ICA セッション中にリモート PC の電源を切るか強制再起動すると、リモート PC の再起動が完了したときに、すべてのオーディオドライバーが無効になることがあります。

[LC4071]

- 関連する公開アプリケーションの実行中にファイルをユーザーデバイスフォルダーに追加し、アプリケーションからファイルを開こうとした場合、ファイルがアプリケーションの [ファイルを開く] ダイアログボックスに表示されないことがあります ([更新] ボタンをクリックしても表示されません)。

[LC4073]

- picadm.sys でデッドロックが発生し、VDA が [ようこそ] 画面で応答しなくなることがあります。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_308、DesktopVDACoreWX64_7_6_308 から][LC4195]

- 汎用 USB リダイレクトが有効な場合、汎用リダイレクトされた USB デバイスがセッション内で物理的に切断され、再接続されるたびに、新しいデバイスとして扱われます。そのため、そのような USB デバイスに再接続するたびに、追加の GUID が作成されます。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_303、DesktopVDACoreWX64_7_6_303 から][LC4259]

- 次の条件の 3 つすべてに該当する場合、Citrix Receiver for Chrome と VDA の間の TLS 接続は失敗します。
 - VDA に Fix #LC2179 (Hotfix ICAWS760WX64032 またはそれに代わるもの) がインストールされている
 - SSL を使用するように接続が構成されている
 - Citrix Gateway Protocol (CGP) が無効化されている

[LC4405]

- Hotfix ICAWS760WX64032 をインストールして SSL を有効化した後に、VDA に再接続しようとする時、断続的に失敗することがあります。この問題は、Citrix ICA Service が予期せず終了するか、SSL リスナー障害の結果として無応答になると発生します。

[LC4438]

- RES Workspace Manager がインストールされた VDA for Desktop OS のバージョン 7.6.300 上で実行されているセッションが、ユーザーデバイス間のローミングセッション時に無応答になることがあります。

[LC4570]

スマートカード

- Microsoft Internet Explorer では、特定の Web サイトへのスマートカードログオンでユーザーインターフェイスが断続的に利用できなくなることがあります。

[LC3988]

システムの例外

- ログオンまたはディスプレイ解像度の変更時に、Ctxgfx.exe プロセスがデッドロックに入り、セッションがハングする場合があります。

[LC2410]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x20 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3473]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x00000050 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3921]

- オペレーティングシステムの ctxad.sys で、バグチェックコード 0xD1 によるブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC4007]

- VDA for Desktop または VDA for Server OS をバージョン 7.6.300 にアップグレードした後、ユーザーがログオフすると、Citrix Print Manager Service (CpSvc.exe) が異常終了する可能性があります。

[DesktopVDACoreWX86_7_6_307、DesktopVDACoreWX64_7_6_307 から][LC4102]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x000000C1 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC4334]

- Windows Media Player で.avi ファイルを繰り返し再生すると、wfica32.exe プロセスのメモリ消費が増大し続け、プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4335]

- Citrix Receiver セッションからのログオフ時に、VDA で picadd.sys に致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4360]

- VDA で ctxdvcn.sys にバグチェックコード 0x00000044 の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4505]

- レジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA\Thinwire\DisableOssForProcesses が定義されている場合、VDA を再起動して公開デスクトップを起動しようとする、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4597]

VDA for Server OS

コンテンツリダイレクト

- Windows Server 2008 R2 上で実行されている VDA 以外では、サーバーからクライアントへのコンテンツのリダイレクトが失敗します。その結果、VDA セッションで URL をクリックすると、リンクがローカルブラウザでなくセッションで実行されているブラウザで開きます。

[LC2221]

- Mailto リンクでコンテンツのリダイレクトが有効にされている場合、Mailto リンクにカンマが含まれていると起動に失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

「既定のメールクライアントが正しくインストールされていないため、この操作を行えませんでした。」

この問題は、コンソールまたはリモートデスクトップセッションでは発生しません。

[LC3701]

HDX MediaStream Windows Media リダイレクト

- Receiver セッション内で、Windows Media Player で .MOD、ac3、および mpeg ファイルの再生中に前方へシークすると、ビデオが音声なしで再生されることがあります。

[LC2768]

- ICA セッション（または公開デスクトップセッション）内で、Windows Media Player で .avi ファイルを再生し、その後、そのファイルを停止しないで別の .avi ファイルを再生すると、ビデオフレームがユーザーデバイスに正しく送信されないことがあります。その結果、mmvdhost.exe プロセスの CPU 使用率が通常より高くなり、ユーザーデバイス上でビデオが正しくレンダリングされないことがあります。

[LC4260]

キーボード

- VDA セッション内で Citrix GoToMeeting を実行しており、プレゼンターを務めている場合、マウスポインターが点滅し始めることがあります。この問題は、「従来のグラフィックモード」ポリシー設定がセッションに対して無効な場合に発生します。

[LC3033]

印刷

- Citrix 印刷スプーラーサービスが異常終了する場合があります。

[ServerVDACoreWX64_7_6_304 から][LC4180]

シームレスウィンドウ

- シームレスアプリケーションが応答しなくなり、そのアプリケーションの Windows タスクバーのアイコンが汎用の Citrix Receiver アイコンに戻る場合があります。

[LC3783]

- シームレスな公開アプリケーションを閉じると、フォーカスが一般的な Windows の Z オーダーのウィンドウではなく、ほかの公開アプリケーションに移ります。

[LC4009]

サーバー/サイトの管理

- VM Hosted App を起動すると、アプリが完全に開始される前に Windows ログオン画面が表示されることがあります。この修正では、よろこ画面が表示されるまでに 15 秒の猶予期間が導入されました。また、猶予期間の長さをカスタマイズできる、以下のレジストリキーのサポートも提供されます。

注: 猶予期間中、アプリが起動中であることはユーザーにはわかりません。猶予期間を長く構成しすぎると、アプリケーションの起動が遅れ、ユーザーが気付かずにアプリを複数回起動してしまう可能性があります。

猶予期間の長さを変更するには、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix\wfshell\TWI

名前: LogonUIHideTimeout

種類: DWORD

値: 0 より大きな任意の値 (ミリ秒単位。たとえば、20 秒は 20000 ミリ秒)

[LC3828]

- attrib コマンドを使用して、マップされたクライアントドライブにあるファイルのファイル属性を変更しようとすると、失敗することがあります。

[LC3958]

- 別々のユーザーデバイスから VDA へのリモートデスクトップ (RDP) 接続を同時に複数確立しようとすると、VDA の登録が解除されることがあります。

[LC4014]

- 長期間の記録において、[セッション出力帯域幅] パフォーマンスモニタリングカウンターが整合性のない値を報告することがあります。

[LC4151]

- VDA for Server OS の登録が解除されているか、Citrix Desktop Service が無効になっている場合、ドメイン管理者でもリモートデスクトップ (RDP) 接続を介してその VDA にログオンできません。この動作は非管理者ロール向けに設計されたものですが、管理者はログオンできる必要があります。

[LC4290]

- 指定ユーザー資格情報（ユーザー名/パスワード）とユーザーアカウント制御（UAC）を有効にしてバージョン 7.6.300 の VDA にログオンしてから、スマートカードを使用して、セッションで実行されているアプリケーションの認証を行おうとすると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「認証エラーが発生しました。セキュリティパッケージで利用できる資格情報がありません。」

[LC4486]

- ライブスクロール（ページのスクロールとスクロールバーの動きが同期した状態）が、Excel スプレッドシートで機能しません。VDA のバージョン 7.6.300 で、この問題に対処する Fix #LC2965 が導入されていました。ただし、Fix #LC2965 では、一部の事例でこの問題が解決されていませんでした。この Fix #LC4579 は、Fix #LC2965 が機能しないシステム上でもこの問題が修正されることを保証します。

#LC2965 の内容は以下のとおりです。

ライブスクロール（ページのスクロールとスクロールバーの動きが同期した状態）が、Excel スプレッドシートで機能しません。この問題が発生する原因は、VDA の HKEY_CURRENT_USER\Control Panel\Desktop\UserPreferencesMask にあるレジストリキーと値が、VDA へのログオンのたびに wfshell.exe プロセスにより上書きされることです。この問題を避けるには、VDA 側に以下のレジストリキーを設定し、値を 1 にします。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix

名前: EnableVisualEffect

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4579]

- Hotfix ICATS760WX64022（またはそれに代わるもの）をインストールした後でレジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Graphics\ の下に新しくカスタムレジストリを構成しても、システムの再起動時に破棄されることがあります。

[LC4931]

セッション/接続

- サーバーの Windows セキュリティログの [ソースネットワークアドレス] に、リモートユーザーデバイスの IP アドレスが正しく表示されません (EVENT ID 4624)。

[LC1352]

- クライアントオーディオのリダイレクトポリシーまたは Windows Media リダイレクトポリシーを無効にすると、公開デスクトップセッションの通知領域の音量制御アイコン（スピーカー）に、オーディオ状態が正しく表示されないことがあります。

[LC2538]

- Citrix Receiver for Android の公開デスクトップセッションで、Microsoft Outlook の予定表への招待を開こうとすると、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「アイテムを開けません」

この問題は、他のユーザーによって作成された予定表への招待で発生します。同じユーザーが作成した招待は影響を受けません。

[LC2828]

- 特定のシナリオでは、ログオン時または切断されたセッションへの再接続時に、クライアントプリンターのリダイレクトおよび Citrix グループポリシーのアクセス制御フィルターが機能しないことがあります。

[LC3083]

- ローカルアプリアクセスを有効にしたセッションで、スクリーンセーバーを起動できません。

[LC3182]

- ファイルが、関連の公開アプリケーションによって閉じられた後も、WFICA32.exe プロセスによりロックされたままになることがあります。そのため、しばらくの間ファイルを編集することができません。

[LC3724]

- 一部のサードパーティの公開アプリケーションで、XenApp サーバーを起動できないことがあります。その結果、wfshell.exe プロセスが予期せず閉じられることがあります。このエラーが発生した場合、ユーザーデバイスに、セッションが開始されていることを示す通知もエラーメッセージも表示されません。

[LC3766]

- マルチモニターセッションで Thomson Reuters Eikon ツールバーのドックを解除した後、ツールバーが占用してしたスペースはセッションに回復されません。

プライマリモニターが配列の左上隅にないモニター構成では、Receiver for Windows 4.4 以降に含まれる Fix #LC1599 もインストールする必要があります。

[LC3773]

- App-V 構成設定「EnablePublishingRefreshUI」がセッションホスト上で有効で、[セッションの残留] も同様に有効である場合、iOS デバイスでアプリケーションを閉じようとする、デバイス画面に黒いウィンドウが表示されたままになることがあります。

[LC3800]

- RDP セッションを介してサーバーに接続しているときに、ターミナルサービス (TermService) に登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが、RPM.dll 上で予期せず終了することがあります。

[LC3808]

- Excelhook が有効な場合、Excel のワークブックを最小化してから元に戻すと、Excel のウィンドウからフォーカスが失われる可能性があります。

[LC3873]

- クライアントオーディオのリダイレクトのポリシーを有効にしても、オーディオ (.wav) ファイルを再生できません。この問題は、セッション ID が再利用され、以前のセッションでクライアントオーディオのリダイレクトポリシーが無効にされているセッションにおいて発生します。

[LC3882]

- Citrix Receiver for Android を使用するセッションでは、「セッションクリップボードの書き込み制限」ポリシーおよび「クライアントクリップボードの書き込み制限」ポリシーは正しく機能しません。このため、これらの 2 つのポリシーの構成に関係なく、ユーザーはセッションとユーザーデバイス間でコンテンツをコピーして貼り付けることができます。

[LC3894]

- Windows Server 2008 R2 VDA への接続がライセンスエラーで失敗する場合、「使用できるライセンスがないため、このセッションにアクセスできません。」というエラーメッセージが表示されません。

[LC4026]

- 関連する公開アプリケーションの実行中にファイルをユーザーデバイスフォルダーに追加し、アプリケーションからファイルを開こうとした場合、ファイルがアプリケーションの [ファイルを開く] ダイアログボックスに表示されないことがあります ([更新] ボタンをクリックしても表示されません)。

[LC4073]

- 新しくインストールした Feature Pack 3 VDA for Server OS (7.6.300) からのログオフ後、Citrix Studio にその VDA のステータスが、「登録済み」でなく「初期化中」と表示されることがあります。その間は、その VDA に対して新しいセッションが仲介されません。

[LC4188]

- picadm.sys でデッドロックが発生し、VDA が [ようこそ] 画面で応答しなくなることがあります。

[ServerVDACoreWX64_7_6_305 から][LC4195]

- 汎用 USB リダイレクトが有効な場合、汎用リダイレクトされた USB デバイスがセッション内で物理的に切断され、再接続されるたびに、新しいデバイスとして扱われます。そのため、そのような USB デバイスに再接続するたびに、追加の GUID が作成されます。

[ServerVDACoreWX64_7_6_303 から][LC4259]

- COM ポートマッピング機能が断続的に失敗します。

[LC4267]

- アプリケーションの事前起動が有効の場合、ユーザーデバイスで一時的に黒いウィンドウが表示されることがあります。この問題は、アプリケーションを起動しないで Citrix Receiver を起動した場合に発生することがあります。

[LC4280]

- 公開デスクトップで、Citrix ポリシー「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」が正しく機能しません。VDA にログオンすると、ウィンドウ内容が正しく表示されます。しかし、切断されたセッションに再接続すると、ウィンドウ内容が表示されなくなります。

[LC4301]

- 次の条件の 3 つすべてに該当する場合、Citrix Receiver for Chrome と VDA の間の TLS 接続は失敗します。
 - VDA に Fix #LC2179 (Hotfix ICATS760WX64032 またはそれに代わるもの) がインストールされている
 - SSL を使用するように接続が構成されている
 - Citrix Gateway Protocol (CGP) が無効化されている

[LC4405]

- VDA 7.6.300 セッションでアプリケーションを起動する場合、アプリケーションが起動する前に、進行状況バーに「ローカルセッションマネージャーをお待ちください。」というメッセージが数分間表示されることがあります。その間、アプリケーションが正しく起動されていても、応答していないように見えます。

[LC4406]

- ユーザーセッションのいくつかのアプリケーションで、正しくない入力方式がデフォルトになっていることがあります。この動作は、各種コントロールパネルで [アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する] チェックボックスをオフにすることで修正できます。ただし、セッションに再接続すると、設定は正しくないデフォルトに戻ります。

設定が取り消されないようにするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix

名前: ClientDataOption

種類: DWORD

データ: 2 (入力方法設定を変更できます)

[LC4416]

- NetScaler Gateway を介して接続する場合、SmartAccess Control フィルターが正しく適用されないことがあります。

[ServerVDACoreWX64_7_6_307 から][LC4503]

- 公開アプリケーションのパスに非 ASCII 文字があると、アプリケーションを起動できません。

[LC4595]

- [クライアントの自動再接続] ポリシーが有効の場合、セッションへの再接続試行が断続的に失敗し、VDA の再登録が発生することがあります。次の警告メッセージが表示されます。

「イベント 1048、Citrix Desktop Service (警告)

Citrix Desktop Service を Desktop Delivery Controller に再登録しています。「NotificationManager: NotificationServiceThread: WCF エラーまたはブローカーによる拒否 (<DDC:DDC NAME>)」

[LC4767]

スマートカード

- Microsoft Internet Explorer では、特定の Web サイトへのスマートカードログオンでユーザーインターフェイスが断続的に利用できなくなることがあります。

[LC3988]

システムの例外

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x20 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3473]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x00000050 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3921]

- VDA for Desktop または VDA for Server OS をバージョン 7.6.300 にアップグレードした後、ユーザーがログオフすると、Citrix Print Manager Service (CpSvc.exe) が異常終了する可能性があります。

[ServerVDACoreWX64_7_6_304 から][LC4102]

- ターミナルサービス (TermService) に登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4150]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x000000C1 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC4334]

- Windows Media Player で.avi ファイルを繰り返し再生すると、wfica32.exe プロセスのメモリ消費が増大し続け、プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4335]

- Citrix Receiver セッションからのログオフ時に、VDA で picadd.sys に致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4360]

- VDA で ctxdvcn.sys にバグチェックコード 0x00000044 の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4505]

- レジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA\Thinwire\DisableOssForProcesses が定義されている場合、VDA を再起動して公開デスクトップを起動しようとする、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4597]

ユーザーエクスペリエンス

- シームレスなデュアルモニターセッション内で Microsoft Excel ウィンドウを移動しようとする、新しい場所で再描画する間、ウィンドウに遅延が発生することがあります。

[LC4441]

仮想デスクトップコンポーネント - その他

- App-V 5.0 Service Pack 3 にアップグレードした後に、Citrix Receiver を介した App-V アプリケーションの起動に失敗する場合があります。

[LC1762]

- 次のエラーメッセージが、Citrix Monitor Service を起動させるたびに、不正にアプリケーションログに記録されます。これはサービスが正常に動作しているときにも記録されます。

「Error querying the Broker via GetBrokerObjects to obtain 'Controller Machine Details」 (「Controller Machine Details」の取得のための GetBrokerObjects を介した Broker のクエリでエラー)

[LC2239]

- VDA 一式をトルコのシステムロケールに登録しようとする、1048 のエラーが生成される可能性があります。

[LC2704]

- サイトのデータストアが利用できない場合、Controller がリース接続モードであっても、再接続の試行が失敗する可能性があります。

[BrokerAgentWX86_7_6_301、BrokerAgentWX64_7_6_301 から][LC4077]

- 非永続的なプロファイルのユーザーが、公開された App-V アプリケーションを PowerShell 3.0 またはそれ以降のバージョンがインストールされたマシンで起動するには、非常に長い時間がかかる可能性があります。

[LC4147]

- ユーザーセッションで実行されているプロセスを Citrix Director から停止しようとする、以下のメッセージが表示される場合があります。

「操作に失敗しました。データソースが応答しないか、エラーが報告されました。詳しくは、サーバーのイベントログを参照してください。」

[LC4384]

- 構成済みの作業ディレクトリが存在しない場合に、App-V の統合機能を使用するアプリケーションが起動しないことがあります。

[LC4839]

XenApp および XenDesktop 7.6 以降の解決された問題

April 16, 2019

XenApp/XenDesktop 7.6 LTSR Cumulative Update 1 では、XenApp および XenDesktop 7.6 リリース以降に報告された以下の問題が解消されています。

7.6 LTSR のリリース以降に解決された問題の一覧については、「[7.6 LTSR 以降の解決された問題](#)」を参照してください。

Citrix Director

- Director でのユーザー名検索で、最大で 2 分の遅れがランダムに発生します。

[LC1250]

- 大量のデータを PDF 形式でエクスポートすると、サーバーの CPU およびメモリ消費が 100% に近づき、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「操作に失敗しました。データソースが応答しないか、エラーが報告されました。詳しくは、サーバーのイベントログを参照してください。」

この修正では、PDF エクスポートに対して構成可能な制限が導入されたため、少なくともレポートの一部を取得できるようになりました。

この修正をインストール後、wwwroot\Director フォルダーの web.config ファイルを以下のように設定してください。

[appSettings] セクションに以下の行を追加します。

```
<add key="UI.ExportPdfDrilldownLimit" value="100"/>
```

制限はメモリサイズなどのサーバーの能力に依存します。value には PDF レポートの行数を指定します。

[LC4108]

- レポートをなんらかのファイル形式でエクスポートしようとする時、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「操作に失敗しました。予期されないサーバーエラーです。詳しくは、サーバーのイベントログを参照してください。」

[LC4281]

- XenApp サーバーに 2 つの IP アドレスがあり、DNS サーバーが最初の IP アドレスを解決できない場合、管理者が Citrix Director にログオンしようとする、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「現在、システムを使用できません。後で再試行するか、管理者に問い合わせてください。」

[LC4411]

- 大量のデータを CSV 形式でエクスポートしようとする、タイムアウトが発生し、エクスポートが失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「操作に失敗しました。データソースが応答しないか、エラーが報告されました。詳しくは、Director サーバーのイベントログを参照してください。」

この修正により、データエクスポートのタイムアウト値を構成できるようになりました。

修正をインストール後、wwwroot\Director フォルダの web.config ファイルを以下のように設定してください。

[appSettings] セクションに以下の行を追加します。

<add key="Connector.DataServiceContext.Timeout" value="3600" />。ここで value はタイムアウト値 (秒) です。

[LC4467]

- セッション詳細を表示するユーザーを選択すると、左上隅に表示されるユーザー名が「NULL」になる場合があります。

[LC4589]

- NetBios ドメイン名にアンパサンド (&) が含まれている場合、Citrix Director コンソールからのシャドウが失敗することがあります。この問題が発生するのは、アンパサンド文字が XML で予約された文字であるため、現在のログオンの解析が失敗するからです。

[LC4633]

Citrix ポリシー

- Desktop Studio の終了時にナビゲーションペインで [コンソールルート] が選択されていない場合、Microsoft 管理コンソール (MMC) が失敗するという問題がありました。

[LC1314]

- Citrix ポリシーエンジンが原因で、サーバーが応答しなくなることがあります。この問題が発生すると、Citrix Receiver および RDP への接続要求が失敗します。

[LC1817]

- この拡張機能により、Citrix グループポリシーモデル作成ウィザードで作成されたモデル作成レポートが、Citrix Studio の真ん中のペインに表示されるようになります。

[LC2189]

- Citrix Studio で Citrix Administrator の追加や作成を行う際に、ユーザー名やグループ名にアンダースコアを含めると (get\dl_lab_group などのように)、管理者の一覧の詳細で最初のアンダースコアが表示されません。ユーザーグループ名は「dllab_group」と表示されます。

[LC2284]

- Citrix グループポリシーモデル作成ウィザードを AppCenter のポリシーノードでドメインユーザーとして実行すると、対象のユーザーとコンピューターポリシーが表示されないことがあります。

[LC3284]

- Citrix Director 管理者が、セッション詳細の Citrix ポリシーを表示できないことがあります。

[LC3941]

- [プリンター割当て] ウィンドウで、ユーザーデバイスのグループに複数のセッションプリンターを追加しようとすると、スクロールバーを展開して表示できません。このため、ユーザーデバイスのグループに複数のセッションプリンターを追加できないことがあります。

[LC4658]

Citrix Studio

- Desktop Studio でマシンカタログをクリックすると、カタログが表示されるまで時間がかかることがあります。さらに、ホスト情報の表示にも時間がかかります。

[LC0237]

- この修正により、セキュリティ上の脆弱性に関する問題が解決されます。詳しくは、Knowledge Center の[CTX213045](#)を参照してください。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC0559]

- Citrix Studio で Citrix Service Provider ライセンスが認識されず、次のエラーメッセージが表示されることがありました。

「有効なライセンスが見つかりません」

[LC0813]

- この拡張機能により、Active Directory (AD) ドメインで複数のサイトからユーザーを追加するときに、Citrix Studio で適切なユーザーが表示されるようになります。

[LC0889]

- この修正では、Citrix Studio が存在するものとは異なるドメインに属しているメンバーをデリバリーグループに追加できない問題が解決されています。

[LC0955]

- Desktop Studio の終了時にナビゲーションペインで [コンソールルート] が選択されていない場合、Microsoft 管理コンソール (MMC) が失敗するという問題がありました。

[LC1314]

- アプリケーションのプロパティが [アプリケーション] ウィンドウで変更されると、デリバリーグループの優先度が 0 になることがあります。

[LC1489]

- Web Interface のポート番号を変更後、Desktop Studio で License アップグレードプロンプトを正常に開けないことがありました。

[LC1575]

- ライセンスサーバーが構成されていない環境で XenDesktop High Level Powershell SDK のコマンド New-XDSite で新しいサイトを構成するときに、コマンド Get-XDSite の実行に失敗することがありました。この場合、「The site has upgrade steps remaining. Run Get-XDUpgradeStatus to find out the remaining steps」というエラーメッセージが表示されます。

[LC1612]

- App-V の統合機能を使用するアプリケーションが、正しい作業ディレクトリを使用していないことがあります。

[LC1623]

- Citrix Studio で起動前セッションおよび残留セッションを設定すると、MaxTimeBeforeDisconnect プロパティがデフォルトの 15 分ではなく 0 分に設定されるという問題がありました。

[LC1706]

- App-V 5.0 Service Pack 3 にアップグレードした後に、Citrix Receiver を介した App-V アプリケーションの起動に失敗する場合があります。

[LC1762]

- XenDesktop 7.6 へのアップグレード後、Desktop Studio でカタログまたはホスト情報の表示をする場合、約 3 ~ 4 分かかることがありました。

[LC1851]

- Delivery Controller がオフラインまたは使用不可になると、Citrix Studio の動作が遅くなるがありました。

[LC1891]

- カタログの作成ウィザードの実行が失敗することがありました。この問題は、接続されたハイパーバイザーのいずれかがメンテナンスモードの場合に発生します。

[LC1916]

- Is Empty 演算子で保存された Citrix Studio でクエリを実行すると、この演算子がデフォルトの演算子で置き換えられるという問題がありました。

[LC1940]

- XenDesktop 7.5 から XenDesktop 7.6 へのサイトの自動アップグレードをしようとする失敗することがありました。これは、新しいインスタンスと既存インスタンスの間でのチェック時に Broker Service インスタンスの「バインディング」プロパティが正常に比較されないためでした。これにより、「service instance already registered」（サービスインスタンスが既に登録されています）というエラーになります。この問題は既存エンドポイントの登録を解除しないでサービスエンドポイントを登録しようすると発生します。

[LC2043]

- Version 5.x または 7.x から Version 7.6 への XenDesktop アップグレードが成功した後、Studio を起動すると次のエラーメッセージが表示されることがありました。

「残りの Delivery Controller をアップグレードします。」

このエラーメッセージの詳細では、Delivery Controller がライセンスサーバー上にインストールされていなくてもライセンスサーバー名が記述されています。

[LC2044]

- サイトを最新製品バージョンにアップグレード使用とすると失敗することがありました。この問題は、Set-ConfigSite コマンドが新しくアップグレードされた値の取得に失敗すると発生します。

[LC2047]

- Citrix Studio で Citrix Administrator の追加や作成を行う際に、ユーザー名やグループ名にアンダースコアを含めると (get\dl_lab_group などのように)、管理者の一覧の詳細で最初のアンダースコアが表示されません。ユーザーグループ名は「dllab_group」と表示されます。

[LC2284]

- デリバリーグループで、「Applications」という語が含まれるアプリケーションフォルダーを作成しようとすると、サブフォルダーを作成できないことがありました。

[LC2349]

- Subscription Advantage の有効期限が同じ XenApp および XenDesktop ライセンスを 1 つのライセンスファイルに統合すると、一部の XenApp ライセンスが Studio で表示されるライセンス情報から欠落することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2350]

- この修正プログラムは、App-V アプリケーションの検出中に起きる Citrix Studio のメモリリークを解決します。

[LC2559]

- 管理者のカスタムの役割を作成しようとする、次のエラーメッセージとともに役割が作成されます。「指定されたキーがディクショナリに存在しませんでした。」また、管理者アカウントで初めて Desktop Studio を起動したときにも、同じエラーメッセージが表示されます。

[LC2680]

- データベースの所有者が Active Directory のグループである場合、サイトから XenDesktop Controller を削除しようとする、と失敗します。

[LC2912]

- Hotfix DStudio760WX86001 のインストール後、アプリケーションの一部をユーザーに対して非表示にしようとする、と、「アクセスが拒否されました」というエラーになることがありました。

この問題はドメイン間の信頼関係が単一指向性である環境に限られます。

[LC2956]

- コマンドを使用して、または Studio で複数のデスクトップを含むデリバリーグループをアップデートしようとする、と、処理が失敗して次のエラーメッセージが表示されます。
 - オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません。
 - 「エラー ID: XDDS:0E01FE12」

[LC2958]

- Machine Creation Service を使用してサーバー OS の VDA をカタログ化するときに Personal vDisk ストレージを利用できない場合、カタログの CleanOnBoot プロパティが誤って「False」に設定されることがあります。結果として、カタログの更新が失敗することがあります。

[LC2959]

- 2 つのアプリケーションが同じ ApplicationID を持つ場合、App-V アプリケーションを更新すると、Citrix Studio による App-V パッケージ名の設定が不正確になることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2969]

- [デリバリーグループの編集] の [マシンの割り当て] ページで [ユーザー] セクションを編集した後、既存のユーザー設定が削除されます。この問題はユーザーを手動で追加すると、または Microsoft Excel CSV ファイルでユーザー一覧をインポートすると発生します。

[LC3267]

- この拡張機能により、Desktop Studio の [デスクトップ OS マシン] および [サーバー OS マシン] の検索ビューで [ホストサーバー名] フィールドを利用できるようになります。

[LC3343]

- PowerShell リソースを閉じている間、Citrix Studio が応答しないことがあります。

[LC3612]

- Citrix Studio で、デリバリーグループの下の複数のフォルダーに複数のアプリケーションを作成すると、フォルダー構造が大きくなることがあります。Citrix Studio を初めて開いてフォルダーまたはアプリケーションをクリックしたときに、フォルダーまたはアプリケーションが選択されず、ドラッグされることがあります。このため選択されたオブジェクトが移動し、フォルダーまたはアプリケーションの構造が変更されます。

[LC3705]

- Add-XDController コマンドレットで、フルカスタムのデータベース接続文字列が Controller に割り当てられません。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC3860]

- データベース管理者ユーザーグループのメンバーでないユーザーが Citrix Studio を開こうとすると、SQL Server 上で権限エラーが発生することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4127]

- 追加リソースを App Orchestration 2.6 のマルチテナントオフリングにプロビジョニングしようとする、オフリングに既に 2 つ以上のテナントが含まれている場合は失敗する可能性があります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4170]

- 複数の Citrix Studio セッションが開かれていると、あるセッションで行われたポリシー変更が失われ、別のセッションで行われたポリシー変更により上書きされることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4487]

コントローラー

- Desktop Studio でマシンカタログをクリックすると、カタログが表示されるまで時間がかかることがあります。さらに、ホスト情報の表示にも時間がかかります。

[LC0237]

- カタログを更新すると、構成ログで「マシンカタログのアップデート」は正常に完了したことが記録されますが、タスク詳細表示のタスクの1つで「プロビジョニングスキーマのリリース」が失敗したという内容のメッセージが表示されました。

[LC0518]

- この修正により、セキュリティ上の脆弱性に関する問題が解決されます。詳しくは、Knowledge Center の[CTX213045](#)を参照してください。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC0559]

- この拡張機能により、Active Directory (AD) ドメインで複数のサイトからユーザーを追加するときに、Citrix Studio で適切なユーザーが表示されるようになります。

[LC0889]

- マスターイメージ仮想マシン上に XenServer パラメーター「TimeOffSet」が存在すると、Machine Creation Services (MCS) カタログの作成に失敗することがありました。このパラメーターが存在するかどうかを確認するには、XenServer のコンソールでコマンド `xe vm-list uuid= params=other-config` を実行します。この問題を解決するには、この Hotfix を適用するか、XenServer コマンド `xe vdi-param-remove uuid= param-name=other-config param-key=timeoffset` を実行してこのパラメーターを削除してください。

[LC1071]

- Monitoring Service により、アプリケーションのインスタンス履歴がデフォルトの 90 日後ではなく 7 日後に削除されるという問題がありました。この問題は、Platinum Edition ライセンスが適用された XenDesktop および XenApp の環境で発生します。

[LC1129]

- Desktop Director の [傾向] > [ホストされたアプリケーションの使用量] タブで、アプリケーションの合計数が正しく計算されないという問題がありました。この問題は、7 日間以上動作している環境で発生します。

[LC1130]

- Machine Creation Services を使用する Desktop Studio で仮想マシン (VM) を作成し、この VM が VMware ハイパーバイザーでホストされている場合、マシンカタログの一部である VM のアップデートが失敗します。この問題が発生すると、仮想ディスクが存在しないというエラーメッセージが Machine Creation ログに表示されますが、データストアには仮想ディスクのディレクトリが存在します。

[LC1201]

- 一部の Amazon Web Services 環境で、構成が正しくても Machine Creation Services (MCS) によるプロビジョニングに失敗し、「No facility for disk upload」というエラーメッセージが表示されることがありました。

[LC1295]

- Machine Creation Service を使用して VDA をプロビジョニングすると、VDA のプライマリ DNS サフィックスが変更されます。

[LC1300]

- Desktop Studio の終了時にナビゲーションペインで [コンソールルート] が選択されていない場合、Microsoft 管理コンソール (MMC) が失敗するという問題がありました。

[LC1314]

- イベントログに記録されたイベント ID 3012 のインスタンスが 2 つ以上ある場合に、イベント ID 3020 および 3021 もログに記録され、メッセージが適切でないことがありました。この修正により、イベント ID 3012 のインスタンスが 2 つ以上記録されている場合に、イベント ID 3010 および 3011 が正しくログに記録されるようになります。

[LC1425]

- イベント ID 1110 および 1111 のエラーメッセージが、イベントログにおいて適切でないことがありました。この修正により、次のメッセージが記録されるようになります。
 - イベント ID: 1110: イベントログが過剰に記録されないように、一時的に関連メッセージが圧縮されます (イベント ID 1100 ~ 1109、1112 ~ 1116)。
 - イベント ID: 1111: 関連メッセージは圧縮されなくなりました (イベント ID 1100 ~ 1109、1112 ~ 1116)。

[LC1485]

- 共有デリバリーグループの VDA がタグ付けされ、このタグがポリシーのフィルターの一部として使用されると、この共有デリバリーグループ内にあるほかの VDA にポリシーが適用されないという問題がありました。

[LC1506]

- Web Interface のポート番号を変更後、Desktop Studio で License アップグレードプロンプトを正常に開けないことがありました。

[LC1575]

- XenDesktop 7.6 へのアップグレード後、マスター VM のイメージに、VMware vSphere 5.1 で有効にされた、ネストされたハードウェア仮想化プロパティが含まれる場合、新規カタログの作成が失敗することがありました。

[LC1586]

- ライセンスサーバーが構成されていない環境で XenDesktop High Level Powershell SDK のコマンド New-XDSite で新しいサイトを構成するときに、コマンド Get-XDSite の実行に失敗することがありました。この場合、「The site has upgrade steps remaining. Run Get-XDUpgradeStatus to find out the remaining steps」というエラーメッセージが表示されます。

[LC1612]

- NetBIOS ドメイン名にアンパサンド (&) が含まれている場合、Citrix Studio の起動が失敗してエラーメッセージ「この操作を実行するための権限がありません」がコード XDDS:72182E6B で表示されます。

[LC1646]

- Citrix Studio で起動前セッションおよび残留セッションを設定すると、MaxTimeBeforeDisconnect プロパティがデフォルトの 15 分ではなく 0 分に設定されるという問題がありました。

[LC1706]

- System Center Virtual Machine Manager がある Hyper-V 環境では、BrokerService.exe プロセスがシステムメモリを最大 100% 消費し、仮想デスクトップが正常に仲介されなくなることがあります。

[LC1730]

- XenDesktop 7.6 へのアップグレード後、Desktop Studio でカタログまたはホスト情報の表示をする場合、約 3 ~ 4 分かかることがありました。

[LC1851]

- Delivery Controller がオフラインまたは使用不可になると、Citrix Studio の動作が遅くなるがありました。

[LC1891]

- カatalogの作成ウィザードの実行が失敗することがありました。この問題は、接続されたハイパーバイザーのいずれかがメンテナンスモードの場合に発生します。

[LC1916]

- 一部の Active Directory 組織単位 (OU) で、OU 名に特殊文字が含まれる場合、XenDesktop のコアサービス (AD Identity Service や Broker Service など) が OU にバインドできないことがありました。これによって、CPU 使用率が通常より高くなる可能性があります。さらに、サービスが予期せず終了するため、Citrix Studio にアクセスできなくなることがあります。

[LC1979]

- 公開アプリケーションでキーワードによるフィルタリングを使用すると、ワークスペースコントロールが機能しないことがあります。

[LC2025]

- Desktop Director において、[Trends (傾向)] ページおよび [Filters option (フィルターオプション)] でデータ表示がエラーメッセージで異常終了します。

[LC2035]

- XenDesktop 7.5 から XenDesktop 7.6 へのサイトの自動アップグレードをしようとするとう失敗することがありました。これは、新しいインスタンスと既存インスタンスの間でのチェック時に Broker Service インスタンスの「バインディング」プロパティが正常に比較されないためでした。これにより、「service instance already registered」（サービスインスタンスが既に登録されています）というエラーになります。この問題は既存エンドポイントの登録を解除しないでサービスエンドポイントを登録しようとするとう発生します。

[LC2043]

- Version 5.x または 7.x から Version 7.6 への XenDesktop アップグレードが成功した後、Studio を起動すると次のエラーメッセージが表示されることがありました。

「残りの Delivery Controller をアップグレードします。」

このエラーメッセージの詳細では、Delivery Controller がライセンスサーバー上にインストールされていなくてもライセンスサーバー名が記述されています。

[LC2044]

- サイトを最新製品バージョンにアップグレード使用とすると失敗することがありました。この問題は、Set-ConfigSite コマンドが新しくアップグレードされた値の取得に失敗すると発生します。

[LC2047]

- 今回のリリースでは、`-enabled` フラグがコマンド `Set-XDLogging -AdminAddress $ControllerName -AllowDisconnectedDatabase $true` に追加されます。

[LC2162]

- Powershell スナップインで、コマンド `Get-Help set-MonitorConfiguration -detailed` を実行すると、「GroomApplicationInstanceRetentionDays <Int32> FIXME」というエラーメッセージが表示されます。

[LC2176]

- 次のエラーメッセージが、Citrix Monitor Service を起動させるたびに、不正にアプリケーションログに記録されます。これはサービスが正常に動作しているときにも記録されます。

「Error querying the Broker via GetBrokerObjects to obtain 'Controller Machine Details」（「Controller Machine Details」の取得のための GetBrokerObjects を介した Broker のクエリでエラー）

[LC2239]

- カスタムの管理者権限を持つ管理者アカウントによってユーザーアクセス制御が有効化されている場合、Delivery Controller へのアップデートが誤ってデフォルトの場所にインストールされます。デフォルトの場所は `%systemroot%\Program Files\Citrix` ですが、本来 Delivery Controller をインストールした場所と同じではないことがあります。

[LC2252]

- Citrix Studio で Citrix Administrator の追加や作成を行う際に、ユーザー名やグループ名にアンダースコアを含めると (get\dl_lab_group などのように)、管理者の一覧の詳細で最初のアンダースコアが表示されません。ユーザーグループ名は「dllab_group」と表示されます。

[LC2284]

- GRID ボードが搭載された VMware vSphere 6 の VM マスターイメージで仮想グラフィック処理装置 (vGPU) を有効にすると、マシン作成に失敗するという問題がありました。

[LC2326]

- Subscription Advantage の有効期限が同じ XenApp および XenDesktop ライセンスを 1 つのライセンスファイルに統合すると、一部の XenApp ライセンスが Studio で表示されるライセンス情報から欠落することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2350]

- ユーザーがセッションからログオフすると、終了日がデータベースで誤って更新されるという問題がありました。この更新には、このセッションで実行されるすべてのアプリケーションインスタンスおよびセッションが終了する前に閉じられたアプリケーションが含まれます。

[LC2435]

- 管理者のカスタムの役割を作成しようとする、次のエラーメッセージとともに役割が作成されます。「指定されたキーがディクショナリに存在しませんでした。」また、管理者アカウントで初めて Desktop Studio を起動したときにも、同じエラーメッセージが表示されます。

[LC2680]

- 登録後に、統合 Hyper-V によってプロビジョニングされた VDA が登録解除されたとして表示されるという問題がありました。

[LC2722]

- Desktop Controller を Version 7.x から Version 7.6 にアップグレードした後、PowerShell コマンド Set-MonitorConfiguration を実行すると、次のエラーメッセージが表示されます。

「A database operation failed and cannot be recovered.」(データベースの処理が失敗し回復できません。)

[LC2745]

- 999 を超える数の仮想マシン (VM) をシングルカタログに追加しようとする、失敗することがあります。

[LC2873]

- 公開アプリケーション名の末尾にスペースがあると、複数の問題が発生する可能性があります。これらの問題は、切り詰められた名前の末尾にスペースが含まれるアプリケーションの公開名からブラウザー名を生成するときに発生します。

[LC2897]

- データベースの所有者が Active Directory のグループである場合、サイトから XenDesktop Controller を削除しようとするとき失敗します。

[LC2912]

- Hotfix DStudio760WX86001 のインストール後、アプリケーションの一部をユーザーに対して非表示にしようとするとき、「アクセスが拒否されました」というエラーになることがありました。

この問題はドメイン間の信頼関係が単一指向性である環境に限られます。

[LC2956]

- コマンドを使用して、または Studio で複数のデスクトップを含むデリバリーグループをアップデートしようとするとき、処理が失敗して次のエラーメッセージが表示されます。
 - オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません。
 - 「エラー ID: XDDS:0E01FE12」

[LC2958]

- 2つのアプリケーションが同じ ApplicationID を持つ場合、App-V アプリケーションを更新すると、Citrix Studio による App-V パッケージ名の設定が不正確になることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC2969]

- この修正では、次の問題が解決されます。
 - ホスト接続が US-East-1e リージョンに対して構成されると、Amazon Web Services (AWS) 接続は成立しますが、マシンの作成に失敗することがありました。
 - AWS ホスト接続を追加して EU-Central-1 を使用しようとするとき、ホスト接続の作成が認証エラーで失敗することがありました。

[LC3239]

- Machine Creation Services (MCS) が System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 2012 ホスト上で AvailableForPlacement フラグを適用しない場合がありました。その結果、不十分なりソースのホストを選んだ場合にマシンの作成が失敗します。

[LC3426]

- Set-BrokerDBConnection とその関連コマンドを実行すると、Citrix Studio の関連する構成ログエントリに、対応する「主なタスク」が「進行中」のステータスで一覧表示され、タスクが完了してもステータスが更新されません。

[LC3479]

- (主に SCCM などの電子ソフトウェア配信 (ESD) で使用される) ローカルシステムアカウントを使用して XenDesktop 7.6 へのアップグレードを実行した後、解析サービスが開始されません。

[LC3493]

- VMware Vsphere Hypervisor に接続された VDA for Server OS のスケジュールによる再起動を実行すると、サーバーがシャットダウンし、電源オフの状態になることがあります。

- この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\DesktopServer\RebootSchedule

名前: ShutdownTimeoutRecovery

種類: DWORD

値: 1

- この修正を無効にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\DesktopServer\RebootSchedule

名前: ShutdownTimeoutRecovery

種類: DWORD

値: 0

値を設定した後で、Broker Service を再起動する必要があります。

[LC3807]

- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) の Hotfix Rollup Pack 7 をインストール後、Machine Creation Services (MCS) でのカタログの作成が失敗します。

[LC3822]

- Add-XDController コマンドレットで、フルカスタムのデータベース接続文字列が Controller に割り当てられません。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC3860]

- データベース管理者ユーザーグループのメンバーでないユーザーが Citrix Studio を開こうとすると、SQL Server 上で権限エラーが発生することがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4127]

- 追加リソースを App Orchestration 2.6 のマルチテナントオフファリングにプロビジョニングしようとする、オフファリングに既に 2 つ以上のテナントが含まれている場合は失敗する可能性があります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4170]

- Controller で、「SupportMultipleForest」設定で NTLM 認証が許可されている場合、Windows Communication Foundation (WCF) の EndpointReference にそのサービスプリンシパル名 (Service Principal Name: SPN) が設定されていないことが原因で、Linux VDA での登録プロセスが失敗することがあります。

[LC4235]

- VMware ハイパーバイザー上でホスティングされる仮想マシン (Virtual Machine: VM) を作成する場合、それらの VM を Citrix Studio から初めて更新または削除しようとするとき「エラー ID XDDS:B125B84A」で失敗することがありますが、それ以降の試行は成功します。

[LC4436]

- 複数の Citrix Studio セッションが開かれていると、あるセッションで行われたポリシー変更が失われ、別のセッションで行われたポリシー変更により上書きされることがあります。

注: この修正を有効にするには、Citrix Studio および Controller のコンポーネントの両方を 7.6 LTSR Cumulative Update 1 で更新する必要があります。

[LC4487]

- 夏時間との切り替えが行われる時間範囲内に PowerShell コマンド `Get-LogSummary` を実行すると、次のエラーメッセージが表示されます:

「同一のキーを含む項目が既に追加されています。」

この問題は、夏時間により、ローカルの日付または時刻があいまいになる場合に発生します。結果的に、HashMap に重複するエントリが作成され、例外が発生します。

この修正では、夏時間の開始時刻と終了時刻をそれぞれ含む期間に分割するように通知するメッセージを導入されました。

[LC4612]

- アマゾンウェブサービス (AWS) 環境でマシンカタログを更新しようとするとき、断続的に失敗することがあります。修正を有効化するには、マシンカタログの更新時にイメージ準備段階がスキップされるように、コマンド `Set-ProvServiceConfigurationData -Name ImageManagementPrep_DoImagePreparation -Value $false` を実行する必要があります。

[LC4709]

- 多数のアプリおよび VDA プロセスが実行されている場合、Controller とデータベースの接続が切断されることがあります。接続が切断された場合、VDA は初期化状態になり、アプリケーションを利用できなくなります。

[LC4848]

- ハイパーバイザーのアラートが多すぎると、SQL データベースサーバーの CPU 使用率が 100% に達することがあります。

[LC5277]

- 高使用率条件下では (5,000 人以上のユーザーが、多数の VDA for Server OS 上で多数のアプリを同時起動)、SQL データベースサーバーの CPU 使用率が 100% に達することがあります。これによりサーバーが停止し、アプリを起動できなくなる場合があります。

[LC5315]

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX MediaStream Flash リダイレクトが有効である場合、Internet Explorer で Flash コンテンツのある複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC0375]

- HDX Mediastream for Flash が有効である場合、Internet Explorer で複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC1141]

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Windows\Applnit_DLLs のレジストリ値が「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」のフルパスでなく「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」に設定されている場合に、HDX MediaStream Flash リダイレクトを有効にしてサイトを閲覧すると、Flash リダイレクト機能でエラーが発生します。

[LC4388]

インストーラー

- VDA のバージョン 7.6.300 をコマンドラインからインストールすると、スイッチの文字列の場所によっては/noreboot スイッチが上書きされます。その結果、インストールが完了すると、VDA が再起動します。

[LC4046]

- VDA のインストール中、[パフォーマンス最適化] オプションを無効にしても、パフォーマンスに関連した特定のレジストリキーがインストールされることがあります。

[LC4330]

ライセンス

- Citrix Studio において、フランスのシステムロケールに設定されたライセンスサーバーに対して、スペイン語のライセンスモデルが表示されます。

[LC3450]

Provisioning Services

Console

- XenServer 仮想マシンを作成するときに、XenDesktop セットアップウィザードによって、無効な「デフォルト」生成 ID が設定されるという問題がありました。

[LA5924]

- XenDesktop ウィザードを完了した後、Studio のマシンカタログが空になり、管理 IP アドレスではなくストリーム配信 IP アドレスが表示されますが、これは正しくありません。管理 IP アドレスを使用するには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices

名前: UseManagementIpInCatalog

種類: DWORD

値: 1

[LC0125]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードを実行して仮想マシンをデバイスコレクションに追加する場合に、ホストエントリで異なるケース形式が使用されると、以下のエラーメッセージが表示されます。

「重複キーの作成を避けるため、Add または Set コマンドがキャンセルされました」

詳細:

一意インデックス'IDX_VirtualHostingPoolSiteIdName' を含むオブジェクト'dbo.VirtualHostingPool' には重複するキー行を挿入できません。重複するキーの値は (18df503c-c745-452a-89aa-3bbf431c7b33, livsvmv01.livdc.local) です。

ステートメントは終了されました。

[LC0348]

- Xen Desktop セットアップウィザードで、ターゲットを作成するときにテンプレート起動プロパティが使用されません。この問題を解決するには、次のレジストリキーを作成します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices

名前: UseTemplateBootOrder

種類: REG_DWORD

データ: 1

[LC0382]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードの実行中に、一部の Active Directory 組織単位 (OU) の名前に特殊文字が含まれる場合、この OU がウィザードに表示されないことがありました。

[LC0393]

- MCLI.exe またはコマンド `mcli-runwithreturn mapdisk -p disklocatorName=MyDiskLocatorName, sitename=MySiteName, storeName=MyStoreName` を使用して Provisioning Service サーバーでディスクをマップしようとするとう失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

「オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません (MCLI コマンド)」

コマンド `mcli-run unmapdisk` を実行しようとするとう失敗し、エラーメッセージ「An unexpected MAPI error occurred (予期しない MAPI エラーの発生)」が表示されます。

[LC0786]

- XenDesktop セットアップウィザードを使ってマシンを作成しようとするときに、ホストユニットが1つのストレージボリュームにしかアクセスできないにもかかわらず、ハードドライブおよび仮想 DVD ドライブが異なるストレージボリュームに配置されるという問題がありました。

[LC0918]

- Desktop Delivery Controller で Uniform Resource Identifier (URI) にポート番号が含まれる場合に、XenDesktop セットアップウィザードを実行すると、Microsoft 管理コンソール (MMC) が応答しなくなります。

[LC1248]

- クラスタ共有ボリュームの1つに StorageDisk の場所が含まれない場合、XenDesktop セットアップウィザードが失敗します。

[LC1807]

- Provisioning Services コンソールのバージョン 7.1.3 のインストール後、多数の .NET アプリケーションが Windows Server 2008 R2 および Windows 7 で失敗するという問題がありました。

[LC1838]

- 一部の環境で、Provisioning Services 7.x ブートストラップファイルを使用すると、複数のターゲットデバイスを同時に起動するのに時間がかかることがあります。

注: この問題は、高負荷が存在しない場合にも発生することがあります。

[LC1839]

- Provisioning Services コンソールへのログオンに使用されるアカウントが Provisioning Services のインストールに使用されたアカウントと異なる場合、XenDesktop セットアップウィザードの実行が失敗して次のエラーが表示されます。

「<アドレス>にある XenDesktop のコントローラーに接続できません。ID 参照の一部またはすべてを変換できませんでした。」

[LC1952]

- Microsoft SCVMM 環境で、テンプレートにある MAC アドレスタイプが静的である場合に、XenDesktop セットアップウィザードによって静的 MAC アドレスが非ストリーム配信ネットワークアダプターに割り当てられません。

[LC2459]

- XenDesktop セットアップウィザードの実行中に、標準ストレージと PVD ストレージの数が同じではない場合、一部の仮想マシンが作成されません。

[LC2496]

- XenDesktop セットアップウィザードで、ESX 仮想マシンに対して作成された複数のディスクのメタデータが配信されるのではなく、1つのストアに ESX 仮想マシンメタデータが作成されるという問題がありました。

[LC2549]

- XenDesktop セットアップウィザードを使用して XenServer に仮想マシンを作成するときに、割り当てられた GPU を使ったテンプレート設定が維持されないことがありました。

[LC2859]

- XenDesktop セットアップウィザードで作成されたマシンが XenDesktop マシンカタログに追加されず、次のエラーメッセージが表示されます。

「No items match the supplied pattern (指定したパターンに一致する項目がありません)」

[LC2923]

- VMware ESX ホストが保守モードのときに、XenDesktop セットアップウィザードによるマシンの作成が失敗することがありました。

[LC3401]

- XenDesktop セットアップウィザードによって、ホストユニットの Personal vDisk ストレージで「優先」フラグが正しく適用されないという問題がありました。

[LC3573]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードの実行中、多数のホストおよびデータストアを含む VMware ESX クラスターでのテンプレートの列挙が完了するのに長い時間がかかることがありました。

[LC3674]

- vDisk をマウントおよびマウント解除するときに、SOAP Service が応答なくなり、Provisioning Services コンソールの起動が失敗するという問題がありました。

[LC3723]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードを使ってマシンを作成するときに、以下のエラーメッセージが表示されることがあります。

「オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません。」

[LC3811]

- ヘルプデスク管理者が新しい仮想マシン (VM) を XenDesktop セットアップウィザードでスタンドアロンの Provisioning Services コンソールから作成すると、BDM パーティションからのターゲットデバイスの起動が失敗し、ログオンサーバーの誤った IP アドレスが表示される可能性があります。

[LC3911]

- Provisioning Services コンソールをインストールすると、以下のレジストリキーは「1」に設定されます。これによって他の.NET アプリケーションが誤ったバージョンのフレームワークを使用しようとするため、失敗する可能性が高くなります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\.NETFramework

名前: OnlyUseLatestCLR

種類: REG_DWORD

データ: 1

[LC4197]

- XenDesktop セットアップウィザードまたはストリーム配信仮想マシンセットアップウィザードを使用して、仮想マシン (VM) を作成しようとする、Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 環境で失敗する可能性があります。この修正では、短い名前ではなくホストの完全修飾ドメイン名がコマンドで使用されます。

[LC4230]

- XenDesktop セットアップウィザードは、System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) 2012 環境で Provisioning Services ターゲットデバイスの作成に失敗する可能性があります。

[LC4256]

- ストリーム配信仮想マシンセットアップウィザード、または XenDesktop セットアップウィザードを使用して VMware Vsphere Hypervisor 5.1 に接続しようとする、User1 と User2 が異なるポートを使用するよう構成されている場合、失敗する可能性があります。

VMware ESX サーバーに異なるポートで接続するには、以下のレジストリキーを作成する必要があります。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices\PlatformEsx

名前: Port

種類: DWORD

値: <port_number>

[LC4283]

- XenDesktop セットアップウィザードと XenServer との間の SSL 接続が失敗します。

[LC4377]

- この機能拡張により、HP 社の Moonshot システムに搭載された最新の Mellanox NIC およびファームウェアで、NIC チューニングを使用できるようになります。

[LC4646]

- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) で作成されたテンプレートに異なる 2 つのネットワークで NIC が含まれる場合 (ネットワーク xxx に NIC1、およびネットワーク yyy に NIC2 など)、XenDesktop セットアップウィザードのデフォルトの動作は両方の NIC をホストレコード (ネットワーク

zzz) のネットワークに変更します。NIC2 ネットワークが変更されないようにするには、この修正をインストールした後、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices\PlatformScvmm

名前: RequireMatchingNetworks

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4650]

- 項目を選択せずに Ctrl+C を押すと、Provisioning Services コンソールが異常停止して、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「スナップインのエラーが MMC により検出されたので、スナップインがアンロードされます。」

さらに、この問題は特定のサードパーティ製ソフトウェアによって Ctrl+C キーの組み合わせが自動的に組み込まれている場合にも発生することがあります。

[LC4909]

サーバー

- vDisk ライセンスモードをキー管理サービス (KMS) に変更しているときに、SOAP Service が予期せず終了することがありました。

[LC0265]

- Provisioning Services 7.1 でブートストラップを構成するときにゲートウェイ/DHCP 用のサブネットマスク「0.0.0.0」を設定すると、実行時に正しく適用されず以下のエラーメッセージが表示されるという問題がありました。

「無効なサブネットマスクです。」

[LC0312]

- ブートストラップ処理中に、ターゲットデバイスがブロードキャスト ARP 応答パケットを返し、これによって過剰なネットワークトラフィックが生じることがありました。

[LC0451]

- サーバーに5つ以上のネットワークアダプターが接続されている場合、次のエラーメッセージが表示されます。
 - メッセージプロセッサがタイムアウトしました。エラー番号: 0XE0070003。
 - 送信成功の応答がありません。エラー番号: 0xA0070002。

[LC0455]

- ネットワークの問題が発生した後に多数のターゲットが再接続しようとする、広範囲な再試行によってパケットがターゲットデバイスに送信されるため、Stream Process (StreamProcess.exe) が予期せず終了することがありました。

[LC0488]

- ブートストラップ構成で動的ホスト構成プロトコル (DHCP) のネットワーク設定を使用しているとき、DHCP の [Router] オプションが構成されていない場合、不適切なデフォルトゲートウェイ IP アドレスが Provisioning Services ターゲットデバイスに表示されることがありました。

[LC0688]

- Citrix ライセンスサーバー上に XenApp Enterprise および PVS Datacenter のライセンスをインストールして XenApp ターゲットデバイスを vDisk から起動すると、ライセンス管理コンソールで PVS Datacenter ライセンスが消費されないという問題がありました。

[LC0707]

- このリリースでは、vhdUtil ツールにより仮想ディスクチェーンの名前を変更して、そのチェーンを新しいディスクとしてインポートする準備をできます。名前の変更時には以下の処理が行われます。
 - ディスクヘッダー、フッター、およびタイムスタンプが更新されます。
 - PVP ファイルの名前が変更されます (存在する場合)。
 - 名前を変更したチェーンに基づいて、名前の変更されたディスクを Provisioning Services コンソールでインポートできるようにする XML ファイルが作成されます。

[LC0722]

- MCLI.exe または コマンド `mcli-runwithreturn mapdisk -p disklocatorName=MyDiskLocatorName, sitename=MySiteName, storeName=MyStoreName` を使用して Provisioning Service サーバーでディスクをマップしようとするとう失敗し、次のエラーメッセージが表示されます:

「オブジェクト参照がオブジェクトインスタンスに設定されていません (MCLI コマンド)」

コマンド `mcli-run unmapdisk` を実行しようとするとう失敗し、エラーメッセージ「An unexpected MAPI error occurred (予期しない MAPI エラーの発生)」が表示されます。

[LC0786]

- Provisioning Services 7.1 にアップグレードした後、多数の VDA が存在する場合、すべての VDA を再起動するのに 4 ~ 5 時間かかることがありました。

[LC0941]

- Provisioning Services をバージョン 7.1 から 7.6 にアップグレードする場合、Provisioning Services で提供され、Provisioning Services のデータベースのバージョンをアップグレードするための SQL スクリプト生成に使用される `dbscript.exe` ジェネレーターを実行すると、エラーが発生し、生成したスクリプトが削除されます。

[LC1087]

- Notifier.exe プロセスで、アクセス違反が発生して、予期せずに終了する場合があります。

[LC1199]

- ターゲットデバイスには正しい再試行回数が表示されるにもかかわらず、Provisioning Services コンソールには常に再試行回数が 0 と表示されるという問題がありました。

[LC1427]

- 動的な vDisk をストアに追加する場合、2 つ目のストアに動的な vDisk を追加すると、サーバーで複製状態が正しくレポートされないという問題がありました。

[LC1428]

- 2 つの仮想ディスク間でプロパティをコピーして貼り付ける場合、負荷分散設定が 2 つ目のディスクに貼り付けられないという問題がありました。

[LC1498]

- システムをシャットダウンするときに、プロビジョニングされた仮想マシンがランダムに応答しなくなるという問題がありました。

[LC1573]

- Stream Service の起動時および停止時に、Stream Service が失敗するという問題がありました。

[LC1664]

- Powershell MCLI コマンド `Mcli-Get DeviceInfo` によって、[ステータス] フィールドに空の値が返されることがありました。

[LC1790]

- Provisioning Services コンソールのバージョン 7.1.3 のインストール後、多数の .NET アプリケーションが Windows Server 2008 R2 および Windows 7 で失敗するという問題がありました。

[LC1838]

- 一部の環境で、Provisioning Services 7.x ブートストラップファイルを使用すると、複数のターゲットデバイスを同時に起動するのに時間がかかることがあります。

注: この問題は、高負荷が存在しない場合にも発生することがあります。

[LC1839]

- VMware PXE Manager for vCenter の設定時に、デフォルトのゲートウェイ IP アドレスが DHCP オプションの一部として入力されない場合、ブートストラッププロトコルによってゲートウェイ IP アドレス (GIADDR) が誤ってリレーエージェント IP アドレスに設定されるという問題がありました。

[LC1966]

- ディスクメニューでいずれかのキーを押すと、Microsoft Hyper-V でターゲットデバイスに遅延が生じることがありました。

[LC1997]

- Microsoft Hyper-V 上でターゲットデバイスの数が増えると、一部のターゲットの起動が失敗して「Windows を起動しています」の画面で応答しなくなるという問題がありました。

[LC2011]

- 複数のターゲットデバイスをシャットダウンすると、Stream Service のプロセスが応答しなくなることがありました。

[LC2141]

- 応答しないスレッドがある場合、自動再起動後に Stream Service プロセスを回復できません。

[LC2227]

- 2つの Provisioning Server が TFTP Service オプションを使用するよう設定されていて、NetScaler によってサーバーの負荷分散が行われている場合、デフォルトの 5 秒間隔よりもモニター検査頻度を増やすと、bntftp.exe のメモリ消費が 7.5GB に増加することがありました。

[LC2314]

- XenDesktop セットアップウィザードで、ESX 仮想マシンに対して作成された複数のディスクのメタデータが配信されるのではなく、1つのストアに ESX 仮想マシンメタデータが作成されるという問題がありました。

[LC2549]

- 起動デバイスマネージャーの実行時に静的 IP アドレスが割り当てられている場合、ISO イメージの初回保存後に IP アドレスをインクリメントすると、その後新規イメージを保存しようとするときに既存のファイルが上書きされます。

[LC2619]

- Provisioning Server の再起動時に Soap Server が異常終了することがあります。

[LC2750]

- Microsoft Windows の MAK ライセンス認証に失敗して、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「Confirmation ID not retrieved, check internet access.」

この問題は、Microsoft Office が vDisk 上にインストールされており、その Office 製品のレコードが Volume Activation Management Tool (VAMT) データベース上に存在すると発生します。この問題は、ライセンス認証時に Install-VamtproductKey コマンドにより Windows および Office の Windows プロダクトキーのインストールが試行されるために発生します。この修正を適用すると、MAK ライセンス認証に Office が含まれなくなります。

さらに、Get-VamtConfirmationId コマンドの結果が誤った場所に保存されるため、Microsoft Office が vDisk にインストールされている場合に同様のエラーが発生します。この修正により、Get-VamtConfirmationId コマンドの結果が正しい場所に保存されるようになります。

注: この修正では、Microsoft Office の MAK のサポートは提供されません。Provisioning Services では、Office の MAK をサポートしません。Office を PVS イメージ上にインストールするには、Windows および Office でキー管理サービス (KMS) を使用する必要があります。

[LC3120]

- BDM パーティションを使用している場合、VMware 上のターゲットデバイスは、リストの最上位に表示されているサーバーにアクセスできないと、リスト上のどのサーバーにもログオンを試みません。

[LC3805]

- Provisioning Services サーバーに vDisk をマウントする場合、サーバーから vDisk への論理アクセスがないと失敗します。

[LC3835]

- ヘルプデスク管理者が新しい仮想マシン (VM) を XenDesktop セットアップウィザードでスタンドアロンの Provisioning Services コンソールから作成すると、BDM パーティションからのターゲットデバイスの起動が失敗し、ログオンサーバーの誤った IP アドレスが表示される可能性があります。

[LC3911]

- PowerShell コマンド `Mcli-Run ExportDisk -p DiskLocatorName="DISK_NAME", StoreName="STORE_NAME", SiteName="SITE_NAME,"` を実行して vDisk をエクスポートすると、vDisk のバージョンごとに、複数のエントリが含まれるマニフェストファイルが作成されることがあります。この問題は、同じ名前の vDisk が複数のサイトに存在する場合に発生します。バージョンごとに重複するエントリの数は、vDisk が含まれるサイトの数に対応します。

[LC4225]

- VM ストレージパスの末尾にバックラッシュ (\) があると、SCVMM 環境で XenDesktop セットアップウィザードによるマシンの作成が失敗します。

[LC4418]

- この機能拡張により、HP 社の Moonshot システムに搭載された最新の Mellanox NIC およびファームウェアで、NIC チューニングを使用できるようになります。

[LC4646]

- System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) で作成されたテンプレートに異なる 2 つのネットワークで NIC が含まれる場合 (ネットワーク xxx に NIC1、およびネットワーク yyy に NIC2 など)、XenDesktop セットアップウィザードのデフォルトの動作は両方の NIC をホストレコード (ネットワーク zzz) のネットワークに変更します。NIC2 ネットワークが変更されないようにするには、この修正をインストールした後、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ProvisioningServices\PlatformScvmm

名前: RequireMatchingNetworks

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4650]

ターゲット

- Windows Server 2008 R2 のターゲットデバイスで、エラーコード 0x4E のブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC0350]

- ネットワークの問題が発生した後に多数のターゲットが再接続しようとする、広範囲な再試行によってパケットがターゲットデバイスに送信されるため、Stream Process (StreamProcess.exe) が予期せず終了することがありました。

[LC0488]

- システムをシャットダウンするときに、プロビジョニングされた仮想マシンがランダムに応答しなくなるという問題がありました。

[LC1573]

- ターゲットデバイスのログを有効にすると、BNDevice.exe が失敗します。

[LC2058]

- サーバーが利用できなくなった場合、IO 再接続要求が利用できないサーバーのみに送信され、高可用性構成にあるほかのサーバーには送信されないという問題がありました。

[LC2146]

- Provisioning Services イメージ作成ウィザードを使用してイメージを作成する場合、またはイメージがプライベートイメージモードの場合、vDisk に書き込みを行うと、ターゲットで多数の再試行が発生するという問題がありました。

[LC2218]

- Microsoft Hyper-V のターゲットデバイスで、オペレーティングシステムがイタリア語の場合、従来のネットワークアダプターからシンセティックネットワークアダプターへの切り替えができないという問題がありました。

[LC2379]

- Personal vDisk (PVD) を構築して Provisioning Services をインストールした後に、XenDesktop Setup ウィザードを使用して PVD 対応プールを作成すると、一部の VM が起動し、PVD ソフトウェアにより書き込みキャッシュドライブが PVD として初期化されます。Provisioning Services では、書き込みキャッシュは作成されません。

[LC2497]

- VMware ESX ターゲットデバイス上のホスト名が、再起動後に MAC アドレスに設定されるという問題がありました。

[LC2816]

- ESX VMXNET3 NIC のシステムに Provisioning Services ターゲットデバイスをインストールするには、Microsoft 社の修正プログラム<https://support.microsoft.com/en-us/kb/2550978>またはこれに代わる修正プログラムをインストールする必要があります。この修正により、明示的に KB2550978 を要求する代わりに、管理者に KB2550978 またはこれに代わる修正プログラムがインストールされていることを確認するように促す警告メッセージが表示されるようになります。

[LC3016]

- 失敗したすべての書き込みについて、ターゲットデバイスが書き込みキャッシュディスクにエラーログエントリを送信することがありました。その結果、Provisioning Server ログに大量のエラーメッセージが記録されます。

[LC3110]

- サービスログオンアカウントがデフォルト値の [ローカルシステム] に設定されると、PVS デバイスサービス (BNDevice.exe) が正常に起動しないという問題がありました。

[LC3209]

- Active Directory パスワード変更に関連する複数の重大エラーログのログレベルが正しく設定されず、その結果、ログが Citrix Diagnostic Facility トレースに送信されないという問題がありました。

[LC3803]

- vDisk の自動更新が、PvD を有効にした vDisks でインベントリを更新しません。

[LC3997]

- VMXnet3 ネットワークドライバーを使用する ESX ターゲットデバイスは、巨大なフレーム（フレームあたり 1500 バイトを超えるペイロード）を使用すると、重大な例外が発生し、ブルースクリーンを表示する可能性があります。

[LC4238]

- プロビジョニングされたターゲットデバイスは、有効なライセンスがない場合、96 時間の猶予期間が過ぎるとシャットダウンされます。この機能拡張により、ターゲットデバイスの猶予期間は 30 日間 (720 時間) に延長されます。

[LC4645]

Session Recording

エージェント

- Session Recording Agent プロパティで「この VDA マシンでサードパーティ製アプリケーションによるカスタムデータの記録を許可する」を有効にしている場合、日本語版 Windows オペレーティングシステム上で

実行されている Session Recording Agent Service が起動せず、クライアントセッションを記録できないことがあります。

[LC3861]

プレーヤー

- Microsoft ペイントのセッションの録画は、Session Recording Player では正常に再生されません。

[LC4389]

- マルチモニター環境のユーザーデバイスで録画したセッションを再生するとエラーが発生します。

[LC4391]

StoreFront

- この修正では、管理コンソールユーザーインターフェイスでの用語「Classic」の日本語翻訳における不整合が修正されます。

[LC3607]

- 2 つ目以降のアプリケーションをクリックして起動すると、最初に開始したアプリケーションのインスタンスが1つまたは複数起動することがあります。この問題は、複数サイトの集約を構成するときに Citrix Receiver for Web 以外の Receiver のバージョンを使用すると発生します。最初のアプリケーションの追加インスタンスが、集約された各サイトから起動します。

[LC4278]

- default.ica ファイルで行った公開デスクトップのカスタマイズが、上書きされる可能性場合があります。たとえば、「ConnectionBar=1」を設定しても、特定のデスクトップで接続バーが表示されないことがあります。

[LC4688]

- 特定のシナリオでは、StoreFront で生成される列挙応答に、重複したリソースが含まれます。これにより、Receiver for Web が障害を報告し、アプリが表示されないことがあります。この問題は、次の1つ以上の条件で発生します。
 - マルチサイト構成で、1つのファームが複数の UserFarmMapping によって参照される。
 - 複数の UserFarmMapping が適用されている Active Directory グループに、ユーザーが属している。
 - ファームが含まれる EquivalentFarmSets に集合体グループがないか、ユーザーに対して複数の割り当てを持つデリバリーグループが存在する。

[LC4863]

ユニバーサルプリントサーバー

クライアント

- VDA for Server OS の Microsoft 印刷管理コンソールからリモートプリントサーバー上のポートまたはプリンターを管理しようとする、「操作を完了できませんでした。この操作はサポートされていません。」というエラーメッセージで失敗することがあります。また、[ポート] タブに移動してもポートが一覧表示されないことがあります。

さらに、いずれかのプリンターを右クリックして「プリンターキューを開く」を選択すると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「プリンターが見つかりません。ネットワークが正常に動作しており、プリンター名とプリンターサーバー名を正しく指定していることを確認してください。」

この問題に対処するには、VDA のレジストリからレジストリキー「HKEY_LOCAL_MACHINE\System\CurrentControlSet\Printer」を削除し、印刷スプラーサービスを再起動します。Microsoft 印刷管理コンソールにポートが正しく列挙され、ポートおよびプリンターを構成できるようになります。

[LC3740]

サーバー

- Microsoft GDI Print API を使用したバッチ印刷で、最後のページが印刷されずに失敗し、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「Dispatch::CDriverTripSummary::PrintReport, 印刷時にエラーが発生しました.... プリンターを確認してください」

[LC3920]

- この修正では、ユニバーサルプリントサーバー 7.6.300 用の Citrix UPS Print Driver Certification Tool がサポートされます。詳しくは、Knowledge Center の [CTX142119](#) を参照してください。

[LC4265]

VDA for Desktop OS

コンテンツリダイレクト

- Mailto リンクでコンテンツのリダイレクトが有効にされている場合、Mailto リンクにカンマが含まれていると起動に失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

「既定のメールクライアントが正しくインストールされていないため、この操作を行えませんでした。」

この問題は、コンソールまたはリモートデスクトップセッションでは発生しません。

[LC3701]

HDX 3D Pro

- HDX 3D Pro のデュアルモニター構成で1つのモニターの Windows をロックすると、もう一方のモニターの画面を非表示にできない場合があります。この問題は、デュアルモニターのクライアントセッションから接続を切断し、その後で単一のモニタークライアントから再接続し、さらにそのセッションから接続を切断して、次にデュアルモニタークライアントから再接続すると発生します。

[LC3934]

- マウスポインターを Microsoft メモ帳のウィンドウの縁に置くと、適切な形状でなくなることがあります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定する必要があります。

- 32 ビット Windows の場合:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\HDX3D

名前: EnableUnknownCursorHandling

種類: REG_DWORD

値: 1

- 64 ビット Windows の場合:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Citrix\HDX3D

名前: EnableUnknownCursorHandling

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4160]

- セッション画面の解像度を変更しようとする断続的に失敗し、Desktop Viewer のウィンドウが灰色になる可能性があります。

[LC4261]

- HDX 3D Pro が有効である場合、3D グラフィックレンダリングアプリケーションで、カスタマイズしたマウスポインターが正しく表示されないことがあります。

[LC4713]

HDX MediaStream Flash リダイレクト

- HDX MediaStream Flash リダイレクトが有効である場合、Internet Explorer で Flash コンテンツのある複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC0375]

- HDX Mediastream for Flash が有効である場合、Internet Explorer で複数のタブを開いたり閉じたりすると、Internet Explorer が予期せず終了することがあります。

[LC1141]

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows NT\CurrentVersion\Windows\Applnit_DLLs のレジストリ値が「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」のフルパスでなく「mfaphook.dll」または「mfaphook64.dll」に設定されている場合に、HDX MediaStream Flash リダイレクトを有効にしてサイトを閲覧すると、Flash リダイレクト機能でエラーが発生します。

[LC4388]

HDX MediaStream Windows Media リダイレクト

- Receiver セッション内で、Windows Media Player で.MOD、ac3、および mpeg ファイルの再生中に前方へシークすると、ビデオが音声なしで再生されることがあります。

[LC2768]

- ICA セッション（または公開デスクトップセッション）内で、Windows Media Player で.avi ファイルを再生し、その後、そのファイルを停止しないで別の.avi ファイルを再生すると、ビデオフレームがユーザーデバイスに正しく送信されないことがあります。その結果、mmvdhost.exe プロセスの CPU 使用率が通常より高くなり、ユーザーデバイス上でビデオが正しくレンダリングされないことがあります。

[LC4260]

インストール、アンインストール、アップグレード

次の Microsoft セキュリティ更新プログラムを 1 つ以上インストールした後で、いずれかのバージョンの Windows 10 を実行している XenDesktop VDA 7.6.300 または 7.7 にログオンしようとする、失敗します。詳しくは、Knowledge Center の[CTX205398](#)を参照してください。

Windows 10 RTM [Build 10240]

(Current Business Branch と LTSB)

セキュリティ更新プログラム

リリース日

[KB3124266](#)

2016 年 1 月

[KB3135174](#)

2016 年 2 月

[KB3140745](#)

2016 年 3 月

[KB3147461](#)

2016 年 4 月

[KB3156387](#)

2016 年 5 月

Windows 10 バージョン 1511

[Build 10586.36]

[KB3124263](#)

2016 年 1 月

[KB3124262](#)

2016 年 1 月

[KB3135173](#)

2016 年 2 月

[KB3140768](#)

2016 年 3 月

[KB3147458](#)

2016 年 4 月

[KB3156421](#)

2016 年 5 月

Windows 10 バージョン 1511

(2016 年 2 月更新済み)

2016 年 2 月までのすべてのアップデートを含む累積イメージ

2016 年 3 月

注: 上記いずれかの Microsoft セキュリティ更新プログラムをインストールしている場合:

Windows 10 RTM (Build 10240) VDA または Windows 10 Version 1511 (Build 10586.36) VDA に上記いずれかの Microsoft セキュリティ更新プログラムをインストールしていて、このアップデートを適用する場合は、以下の操作を実行してください。

1. Windows 10 VDA をセーフモードで再起動してセーフモードでログインします。
2. 上記 Microsoft セキュリティ更新プログラムをアンインストールし、再起動します。
3. このアップデートをインストールし、再起動します。
4. 適用できるすべての Microsoft セキュリティ更新プログラムをインストールします。

Windows 10 (RTM/Version 1511/Version 1511 (2016 年 2 月更新)) への 7.6.300 VDA の新規デプロイメントの場合、以下の操作を実行してください。

1. Windows 10 (RTM/Version 1511/Version 1511 (2016 年 2 月更新)) のイメージを用意します。
注意: 次の手順で VDA をインストールして再起動すると、マシンは回復不可能な状態になります。VDA のインストール後に再起動しないでください。
2. 7.6.300 VDA をインストールし、再起動しないことを選択します。
3. このアップデートをインストールし、再起動します。

[LC4604]

キーボード

- VDA セッション内で Citrix GoToMeeting を実行しており、プレゼンターを務めている場合、マウスポインターが点滅し始めることがあります。この問題は、「従来のグラフィックモード」ポリシー設定がセッションに対して無効な場合に発生します。

[LC3033]

ログオン/認証

- Windows のリモートデスクトップセッションホストの構成ポリシーで [接続するたびにパスワードを要求する] 設定が有効にされている場合、ICA プロトコルを使用して VDA 7.x にログオンすると、もう一度資格情報を入力するように求めるプロンプトが表示されます。

この修正を有効にするには、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix\Portica

名前: AutoLogon

種類: DWORD

データ: 0x00000001 (値は 1 ~ 2147483647 の間で指定する必要があります)

注: MSP ファイルの実行が複数回試行された場合、Citrix Display Drive が削除対象にマークされることがあります。これにより Hotfix のインストールが失敗します。また、VDA のディスプレイ解像度が機能しないことがあります。これを機能させるには、VDA を再起動してから Hotfix をもう一度インストールします。

[LC1180]

- Microsoft Hotfix KB3124266 (Windows 10 用) または KB3124263 (Windows 10 Version 1511 用) をインストールした後に、Windows 10 で実行中の XenDesktop VDA 7.6.300 または 7.7 にログインしようとすると、ログインできないことがあります。詳しくは、Knowledge Center の [CTX205398](#) を参照してください。

注: 既に KB3124266 または KB3124263 をインストール済みで、この更新プログラムを適用する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows 10 のマシンを再起動してセーフモードでログインし、KB3124266 または KB3124263 をアンインストールします。
2. Windows 10 のマシンを再起動し、この更新プログラムをインストールします。
3. KB3124266 または KB3124263 を再インストールします。

[LC4540]

印刷

- Citrix 印刷スプーラーサービスが異常終了する場合があります。

[LC4180]

シームレスウィンドウ

- シームレスアプリケーションが応答しなくなり、そのアプリケーションの Windows タスクバーのアイコンが汎用の Citrix Receiver アイコンに戻る場合があります。

[LC3783]

- シームレスな公開アプリケーションを閉じると、フォーカスが一般的な Windows の Z オーダーのウィンドウではなく、ほかの公開アプリケーションに移ります。

[LC4009]

サーバー/サイトの管理

- 切断されたアクティブなセッションがある場合、管理者が Hyper-V コンソールから仮想マシンにアクセスしようとする、黒い画面が表示されます。この問題は、XPDM ドライバーを使用する環境で発生します。

[LC3536]

- VDA で接続の受け入れが停止されることがあります。「従来のグラフィックモード」ポリシーを有効にすると、接続の受け入れが再開されます。

[LC3749]

- VM Hosted App を起動すると、アプリが完全に開始される前に Windows ログオン画面が表示されることがあります。この修正では、ようこそ画面が表示されるまでに 15 秒の猶予期間が導入されました。また、猶予期間の長さをカスタマイズできる、以下のレジストリキーのサポートも提供されます。

注：猶予期間中、アプリが起動中であることはユーザーにはわかりません。猶予期間を長く構成しすぎると、アプリケーションの起動が遅れ、ユーザーが気付かずにアプリを複数回起動してしまう可能性があります。

猶予期間の長さを変更するには、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix\wfshell\TWI

名前: LogonUIHideTimeout

種類: DWORD

値: 0 より大きな任意の値 (ミリ秒単位。たとえば、20 秒は 20000 ミリ秒)

[LC3828]

- attrib コマンドを使用して、マップされたクライアントドライブにあるファイルのファイル属性を変更しようとすると、失敗することがあります。

[LC3958]

- 長期間の記録において、[セッション出力帯域幅] パフォーマンスモニタリングカウンターが整合性のない値を報告することがあります。

[LC4151]

- 指定ユーザー資格情報 (ユーザー名/パスワード) とユーザーアカウント制御 (UAC) を有効にしてバージョン 7.6.300 の VDA にログオンしてから、スマートカードを使用して、セッションで実行されているアプリケーションの認証を行おうとすると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「認証エラーが発生しました。セキュリティパッケージで利用できる資格情報がありません。」

[LC4486]

セッション/接続

- 複数の Web カメラまたはビデオキャプチャデバイスがエンドポイントにインストールされている場合、1 つのデバイスのみがクライアントセッションにマップされます。さらに、デバイスは Citrix HDX Web Camera としてマップされるため、どのデバイスがマップされているかわかりません。

[LC1919]

- ローカルアプリアクセスを有効にしたセッションで、スクリーンセーバーを起動できません。

[LC3182]

- Citrix ポリシー「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」が正しく機能しません。

[LC3552]

- [切断セッションタイマーの間隔] で指定した時間が経過した後も、切断されたセッションが物理マシン上で開かれたままになっていることがあります。

この修正を有効にするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Portica

名前: ForceDisableRemotePC

種類: DWORD

値: 0 より大きな任意の値

[LC3650]

- エンドポイントのネットワーク接続が数分間切断された場合、VDA を再起動しないと再接続できないことがあります。

[LC3700]

- ある程度以上の間アイドル状態だった VDA にログオンすると、再接続時に資格証明が自動でログオン画面にパススルーされず、ログオン画面でパスワードの入力を求められることがあります。

[LC3720]

- ファイルが、関連の公開アプリケーションによって閉じられた後も、WFICA32.exe プロセスによりロックされたままになることがあります。そのため、しばらくの間ファイルを編集することができません。

[LC3724]

- 一部のサードパーティの公開アプリケーションで、XenApp サーバーを起動できないことがあります。その結果、wfshell.exe プロセスが予期せず閉じられることがあります。このエラーが発生した場合、ユーザーデバイスに、セッションが開始されていることを示す通知もエラーメッセージも表示されません。

[LC3766]

- マルチモニターセッションで Thomson Reuters Eikon ツールバーのドックを解除した後、ツールバーが占有してしたスペースはセッションに回復されません。

プライマリモニターが配列の左上隅にないモニター構成では、Receiver for Windows 4.4 以降に含まれる Fix #LC1599 もインストールする必要があります。

[LC3773]

- App-V 構成設定「EnablePublishingRefreshUI」がセッションホスト上で有効で、[セッションの残留] も同様に有効である場合、iOS デバイスでアプリケーションを閉じようとする、デバイス画面に黒いウィンドウが表示されたままになることがあります。

[LC3800]

- Citrix Windows XP Display Driver Model (XPDM) のディスプレイドライバーを有効にすると、マウスポインターの影の設定が、コントロールパネルで無効になっている場合も常に有効になります。

[LC3806]

- Excelhook が有効な場合、Excel のワークブックを最小化してから元に戻すと、Excel のウィンドウからフォーカスが失われる可能性があります。

[LC3873]

- Citrix Receiver for Android を使用するセッションでは、「セッションクリップボードの書き込み制限」ポリシーおよび「クライアントクリップボードの書き込み制限」ポリシーは正しく機能しません。このため、これらの 2 つのポリシーの構成に関係なく、ユーザーはセッションとユーザーデバイス間でコンテンツをコピーして貼り付けることができます。

[LC3894]

- 切断されたセッションに再接続しようとする、Windows のロック画面に一連のキーが表示されますが、パスワードを入力するためのオプションが表示されません。「他の資格情報」をクリックすると、2 つ目の資格情報アイコンが表示され、パスワードを入力してセッションのロックを解除できます。

[LC4053]

- ICA セッション中にリモート PC の電源を切るか強制再起動すると、リモート PC の再起動が完了したときに、すべてのオーディオドライバーが無効になることがあります。

[LC4071]

- 関連する公開アプリケーションの実行中にファイルをユーザーデバイスフォルダーに追加し、アプリケーションからファイルを開こうとした場合、ファイルがアプリケーションの [ファイルを開く] ダイアログボックスに表示されないことがあります ([更新] ボタンをクリックしても表示されません)。

[LC4073]

- picadm.sys でデッドロックが発生し、VDA が [よろこ] 画面で応答しなくなることがあります。

[LC4195]

- 汎用 USB リダイレクトが有効な場合、汎用リダイレクトされた USB デバイスがセッション内で物理的に切断され、再接続されるたびに、新しいデバイスとして扱われます。そのため、そのような USB デバイ스에再接続するたびに、追加の GUID が作成されます。

[LC4259]

- 次の条件の 3 つすべてに該当する場合、Citrix Receiver for Chrome と VDA の間の TLS 接続は失敗します。
 - VDA に Fix #LC2179 (Hotfix ICAWS760WX64032 またはそれに代わるもの) がインストールされている
 - SSL を使用するように接続が構成されている
 - Citrix Gateway Protocol (CGP) が無効化されている

[LC4405]

- Hotfix ICAWS760WX64032 をインストールして SSL を有効化した後に、VDA に再接続しようすると、断続的に失敗することがあります。この問題は、Citrix ICA Service が予期せず終了するか、SSL リスナー障害の結果として無応答になると発生します。

[LC4438]

- RES Workspace Manager がインストールされた VDA for Desktop OS のバージョン 7.6.300 上で実行されているセッションが、ユーザーデバイス間のローミングセッション時に無応答になることがあります。

[LC4570]

スマートカード

- Microsoft Internet Explorer では、特定の Web サイトへのスマートカードログオンでユーザーインターフェイスが断続的に利用できなくなることがあります。

[LC3988]

システムの例外

- ログオンまたはディスプレイ解像度の変更時に、Ctxgfx.exe プロセスがデッドロックに入り、セッションがハングする場合があります。

[LC2410]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x20 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3473]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x00000050 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3921]

- オペレーティングシステムの ctxad.sys で、バグチェックコード 0xD1 によるブルースクリーンエラーが発生することがありました。

[LC4007]

- VDA for Desktop または VDA for Server OS をバージョン 7.6.300 にアップグレードした後、ユーザーがログオフすると、Citrix Print Manager Service (CpSvc.exe) が異常終了する可能性があります。

[LC4102]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x000000C1 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC4334]

- Windows Media Player で.avi ファイルを繰り返し再生すると、wfica32.exe プロセスのメモリ消費が増大し続け、プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4335]

- Citrix Receiver セッションからのログオフ時に、VDA で picadd.sys に致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4360]

- VDA で `ctxdvcs.sys` にバグチェックコード `0x00000044` の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4505]

- レジストリキー `HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA\Thinwire\DisableOssForProcesses` が定義されている場合、VDA を再起動して公開デスクトップを起動しようとする、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4597]

VDA for Server OS

コンテンツリダイレクト

- Windows Server 2008 R2 上で実行されている VDA 以外では、サーバーからクライアントへのコンテンツのリダイレクトが失敗します。その結果、VDA セッションで URL をクリックすると、リンクがローカルブラウザでなくセッションで実行されているブラウザで開きます。

[LC2221]

- Mailto リンクでコンテンツのリダイレクトが有効にされている場合、Mailto リンクにカンマが含まれていると起動に失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

「既定のメールクライアントが正しくインストールされていないため、この操作を行えませんでした。」

この問題は、コンソールまたはリモートデスクトップセッションでは発生しません。

[LC3701]

HDX MediaStream Windows Media リダイレクト

- Receiver セッション内で、Windows Media Player で .MOD、ac3、および mpeg ファイルの再生中に前方へシークすると、ビデオが音声なしで再生されることがあります。

[LC2768]

- ICA セッション（または公開デスクトップセッション）内で、Windows Media Player で .avi ファイルを再生し、その後、そのファイルを停止しないで別の .avi ファイルを再生すると、ビデオフレームがユーザーデバイスに正しく送信されないことがあります。その結果、`mmvdhost.exe` プロセスの CPU 使用率が通常より高くなり、ユーザーデバイス上でビデオが正しくレンダリングされないことがあります。

[LC4260]

キーボード

- VDA セッション内で Citrix GoToMeeting を実行しており、プレゼンターを務めている場合、マウスポインターが点滅し始めることがあります。この問題は、「従来のグラフィックモード」ポリシー設定がセッションに対して無効な場合に発生します。

[LC3033]

印刷

- Citrix 印刷スプラーサービスが異常終了する場合があります。

[LC4180]

シームレスウィンドウ

- シームレスアプリケーションが応答なくなり、そのアプリケーションの Windows タスクバーのアイコンが汎用の Citrix Receiver アイコンに戻る場合があります。

[LC3783]

- シームレスな公開アプリケーションを閉じると、フォーカスが一般的な Windows の Z オーダーのウィンドウではなく、ほかの公開アプリケーションに移ります。

[LC4009]

サーバー/サイトの管理

- VM Hosted App を起動すると、アプリが完全に開始される前に Windows ログオン画面が表示されることがあります。この修正では、よろこ画面が表示されるまでに 15 秒の猶予期間が導入されました。また、猶予期間の長さをカスタマイズできる、以下のレジストリキーのサポートも提供されます。

注：猶予期間中、アプリが起動中であることはユーザーにはわかりません。猶予期間を長く構成しすぎると、アプリケーションの起動が遅れ、ユーザーが気付かずにアプリを複数回起動してしまう可能性があります。

猶予期間の長さを変更するには、次のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix\wfshell\TWI

名前: LogonUIHideTimeout

種類: DWORD

値: 0 より大きな任意の値 (ミリ秒単位。たとえば、20 秒は 20000 ミリ秒)

[LC3828]

- attrib コマンドを使用して、マップされたクライアントドライブにあるファイルのファイル属性を変更しようとすると、失敗することがあります。

[LC3958]

- 別々のユーザーデバイスから VDA へのリモートデスクトップ (RDP) 接続を同時に複数確立しようとする、VDA の登録が解除されることがあります。

[LC4014]

- 長期間の記録において、[セッション出力帯域幅] パフォーマンスモニタリングカウンターが整合性のない値を報告することがあります。

[LC4151]

- VDA for Server OS の登録が解除されているか、Citrix Desktop Service が無効になっている場合、ドメイン管理者でもリモートデスクトップ (RDP) 接続を介してその VDA にログオンできません。この動作は非管理者ロール向けに設計されたものですが、管理者はログオンできる必要があります。

[LC4290]

- 指定ユーザー資格情報 (ユーザー名/パスワード) とユーザーアカウント制御 (UAC) を有効にしてバージョン 7.6.300 の VDA にログオンしてから、スマートカードを使用して、セッションで実行されているアプリケーションの認証を行おうとすると、次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「認証エラーが発生しました。セキュリティパッケージで利用できる資格情報がありません。」

[LC4486]

- ライブスクロール (ページのスクロールとスクロールバーの動きが同期した状態) が、Excel スプレッドシートで機能しません。VDA のバージョン 7.6.300 で、この問題に対処する Fix #LC2965 が導入されていました。ただし、Fix #LC2965 では、一部の事例でこの問題が解決されていませんでした。この Fix #LC4579 は、Fix #LC2965 が機能しないシステム上でもこの問題が修正されることを保証します。

#LC2965 の内容は以下のとおりです。

ライブスクロール (ページのスクロールとスクロールバーの動きが同期した状態) が、Excel スプレッドシートで機能しません。この問題が発生する原因は、VDA の HKEY_CURRENT_USER\Control Panel\Desktop\UserPreferencesMask にあるレジストリキーと値が、VDA へのログオンのたびに wfshell.exe プロセスにより上書きされることです。この問題を避けるには、VDA 側に以下のレジストリキーを設定し、値を 1 にします。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix

名前: EnableVisualEffect

種類: REG_DWORD

値: 1

[LC4579]

- Hotfix ICATS760WX64022 (またはそれに代わるもの) をインストールした後でレジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Graphics\ の下に新しくカスタムレジストリを構成しても、システムの再起動時に破棄されることがあります。

[LC4931]

セッション/接続

- サーバーの Windows セキュリティログの [ソースネットワークアドレス] に、リモートユーザーデバイスの IP アドレスが正しく表示されません (EVENT ID 4624)。

[LC1352]

- クライアントオーディオのリダイレクトポリシーまたは Windows Media リダイレクトポリシーを無効にすると、公開デスクトップセッションの通知領域の音量制御アイコン (スピーカー) に、オーディオ状態が正しく表示されないことがあります。

[LC2538]

- Citrix Receiver for Android の公開デスクトップセッションで、Microsoft Outlook の予定表への招待を開こうとすると、失敗して次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「アイテムを開けません」

この問題は、他のユーザーによって作成された予定表への招待で発生します。同じユーザーが作成した招待は影響を受けません。

[LC2828]

- 特定のシナリオでは、ログオン時または切断されたセッションへの再接続時に、クライアントプリンターのリダイレクトおよび Citrix グループポリシーのアクセス制御フィルターが機能しないことがあります。

[LC3083]

- ローカルアプリアクセスを有効にしたセッションで、スクリーンセーバーを起動できません。

[LC3182]

- ファイルが、関連の公開アプリケーションによって閉じられた後も、WFICA32.exe プロセスによりロックされたままになることがあります。そのため、しばらくの間ファイルを編集することができません。

[LC3724]

- 一部のサードパーティの公開アプリケーションで、XenApp サーバーを起動できないことがあります。その結果、wfshell.exe プロセスが予期せず閉じられることがあります。このエラーが発生した場合、ユーザーデバイスに、セッションが開始されていることを示す通知もエラーメッセージも表示されません。

[LC3766]

- マルチモニターセッションで Thomson Reuters Eikon ツールバーのドックを解除した後、ツールバーが占有していたスペースはセッションに回復されません。

プライマリモニターが配列の左上隅にないモニター構成では、Receiver for Windows 4.4 以降に含まれる Fix #LC1599 もインストールする必要があります。

[LC3773]

- App-V 構成設定「EnablePublishingRefreshUI」がセッションホスト上で有効で、[セッションの残留] も同様に有効である場合、iOS デバイスでアプリケーションを閉じようとする、デバイス画面に黒いウィンドウが表示されたままになることがあります。

[LC3800]

- RDP セッションを介してサーバーに接続しているときに、ターミナルサービス (TermService) に登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが、RPM.dll 上で予期せず終了することがあります。

[LC3808]

- Excelhook が有効な場合、Excel のワークブックを最小化してから元に戻すと、Excel のウィンドウからフォーカスが失われる可能性があります。

[LC3873]

- クライアントオーディオのリダイレクトのポリシーを有効にしても、オーディオ (.wav) ファイルを再生できません。この問題は、セッション ID が再利用され、以前のセッションでクライアントオーディオのリダイレクトポリシーが無効にされているセッションにおいて発生します。

[LC3882]

- Citrix Receiver for Android を使用するセッションでは、「セッションクリップボードの書き込み制限」ポリシーおよび「クライアントクリップボードの書き込み制限」ポリシーは正しく機能しません。このため、これらの2つのポリシーの構成に関係なく、ユーザーはセッションとユーザーデバイス間でコンテンツをコピーして貼り付けることができます。

[LC3894]

- Windows Server 2008 R2 VDA への接続がライセンスエラーで失敗する場合、「使用できるライセンスがないため、このセッションにアクセスできません。」というエラーメッセージが表示されません。

[LC4026]

- 関連する公開アプリケーションの実行中にファイルをユーザーデバイスフォルダーに追加し、アプリケーションからファイルを開こうとした場合、ファイルがアプリケーションの [ファイルを開く] ダイアログボックスに表示されないことがあります ([更新] ボタンをクリックしても表示されません)。

[LC4073]

- 新しくインストールした Feature Pack 3 VDA for Server OS (7.6.300) からのログオフ後、Citrix Studio にその VDA のステータスが、「登録済み」でなく「初期化中」と表示されることがあります。その間は、その VDA に対して新しいセッションが仲介されません。

[LC4188]

- picadm.sys でデッドロックが発生し、VDA が [ようこそ] 画面で応答しなくなることがあります。

[LC4195]

- 汎用 USB リダイレクトが有効な場合、汎用リダイレクトされた USB デバイスがセッション内で物理的に切断され、再接続されるたびに、新しいデバイスとして扱われます。そのため、そのような USB デバイ스에再接続するたびに、追加の GUID が作成されます。

[LC4259]

- COM ポートマッピング機能が断続的に失敗します。

[LC4267]

- アプリケーションの事前起動が有効の場合、ユーザーデバイスで一時的に黒いウィンドウが表示されることがあります。この問題は、アプリケーションを起動しないで Citrix Receiver を起動した場合に発生することがあります。

[LC4280]

- 公開デスクトップで、Citrix ポリシー「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する」が正しく機能しません。VDA にログオンすると、ウィンドウ内容が正しく表示されます。しかし、切断されたセッションに再接続すると、ウィンドウ内容が表示されなくなります。

[LC4301]

- 次の条件の 3 つすべてに該当する場合、Citrix Receiver for Chrome と VDA の間の TLS 接続は失敗します。
 - VDA に Fix #LC2179 (Hotfix ICATS760WX64032 またはそれに代わるもの) がインストールされている
 - SSL を使用するように接続が構成されている
 - Citrix Gateway Protocol (CGP) が無効化されている

[LC4405]

- VDA 7.6.300 セッションでアプリケーションを起動する場合、アプリケーションが起動する前に、進行状況バーに「ローカルセッションマネージャーをお待ちください。」というメッセージが数分間表示されることがあります。その間、アプリケーションが正しく起動されていても、応答していないように見えます。

[LC4406]

- ユーザーセッションのいくつかのアプリケーションで、正しくない入力方式がデフォルトになっていることがあります。この動作は、各種コントロールパネルで [アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する] チェックボックスをオフにすることで修正できます。ただし、セッションに再接続すると、設定は正しくないデフォルトに戻ります。

設定が取り消されないようにするには、以下のレジストリキーを設定します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Citrix

名前: EnableLocalInputSetting

種類: DWORD

データ: 1 (入力方法設定を変更できます)

[LC4416]

- NetScaler Gateway を介して接続する場合、SmartAccess Control フィルターが正しく適用されないことがあります。

[LC4503]

- 公開アプリケーションのパスに非 ASCII 文字があると、アプリケーションを起動できません。

[LC4595]

- [クライアントの自動再接続] ポリシーが有効の場合、セッションへの再接続試行が断続的に失敗し、VDA の再登録が発生することがあります。次の警告メッセージが表示されます。

「イベント 1048、Citrix Desktop Service (警告)

Citrix Desktop Service を Desktop Delivery Controller に再登録しています。「NotificationManager: NotificationServiceThread: WCF エラーまたはブローカーによる拒否 (<DDC:DDC NAME>)」

[LC4767]

スマートカード

- Microsoft Internet Explorer では、特定の Web サイトへのスマートカードログオンでユーザーインターフェイスが断続的に利用できなくなることがあります。

[LC3988]

システムの例外

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x20 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3473]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x00000050 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3921]

- VDA for Desktop または VDA for Server OS をバージョン 7.6.300 にアップグレードした後、ユーザーがログオフすると、Citrix Print Manager Service (CpSvc.exe) が異常終了する可能性があります。

[LC4102]

- ターミナルサービス (TermService) に登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4150]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x000000C1 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC4334]

- Windows Media Player で.avi ファイルを繰り返し再生すると、wfica32.exe プロセスのメモリ消費が増大し続け、プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4335]

- Citrix Receiver セッションからのログオフ時に、VDA で picadd.sys に致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4360]

- VDA で ctxdvcn.sys にバグチェックコード 0x00000044 の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4505]

- レジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA\Thinwire\DisableOssForProcesses が定義されている場合、VDA を再起動して公開デスクトップを起動しようとする、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4597]

ユーザーエクスペリエンス

- シームレスなデュアルモニターセッション内で Microsoft Excel ウィンドウを移動しようとする、新しい場所でも再描画する間、ウィンドウに遅延が発生することがあります。

[LC4441]

仮想デスクトップコンポーネント - その他

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x20 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3473]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x00000050 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC3921]

- VDA for Desktop または VDA for Server OS をバージョン 7.6.300 にアップグレードした後、ユーザーがログオフすると、Citrix Print Manager Service (CpSvc.exe) が異常終了する可能性があります。

[LC4102]

- ターミナルサービス (TermService) に登録されたサービスホスト (svchost.exe) プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4150]

- オペレーティングシステムの picadm.sys で、停止コード 0x000000C1 によるブルースクリーンエラー発生することがあります。

[LC4334]

- Windows Media Player で.avi ファイルを繰り返し再生すると、wfica32.exe プロセスのメモリ消費が増大し続け、プロセスが予期せず終了することがあります。

[LC4335]

- Citrix Receiver セッションからのログオフ時に、VDA で picadd.sys に致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4360]

- VDA で ctxdvcx.sys にバグチェックコード 0x00000044 の致命的な例外が発生し、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4505]

- レジストリキー HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\ICA\Thinwire\DisableOssForProcesses が定義されている場合、VDA を再起動して公開デスクトップを起動しようとする、ブルースクリーンが表示されることがあります。

[LC4597]

長期サービスリリース (LTSR)

April 16, 2019

リリース日: 2016 年 1 月 11 日

LTSR コンポーネントのインストールとアップグレード

XenApp および XenDesktop 7.6 の長期サービスリリース (LTSR) に適合するために、XenApp と XenDesktop 7.6 のコンポーネントのうち、LTSR に含まれかつ展開環境に含まれるものを、LTSR バージョンにアップグレードす

する必要があります。たとえば、Provisioning Services が展開環境に含まれる場合、Provisioning Services コンポーネントを LTSR バージョンにアップグレードする必要があります。Provisioning Services が展開環境に含まれない場合は、インストールやアップグレードを行う必要はありません。

LTSR バージョンへのアップグレードは、ご使用の展開環境で LTSR 条項に基づく恩恵を受ける資格を得るために必須です。

また、Citrix Receiver およびその他のコンポーネントは、指定のバージョンを使用することをお勧めします。LTSR に適合する上では必須ではありませんが、こうしたコンポーネントを最新バージョンにアップグレードすることで、展開環境のメンテナンスが容易になり、最新の修正を利用できるようになります。

便利なリンク:

- [LTSR のダウンロード \(XenApp\)](#)
- [LTSR のダウンロード \(XenDesktop\)](#)
- [XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション](#)
- [LTSR についてよく寄せられる質問](#)
- [製品のライフサイクル](#)
- [Receiver for Windows 向け LTSR プログラム](#)

LTSR のベースラインコンポーネントと必須バージョン

注

以下の情報は、LTSR ベースリリースに固有のものです。CU1、CU2向けの同様の情報については、各ドキュメントを参照してください。

LTSR に適合する上で、展開環境に以下の各コンポーネントを用意する必要はありませんが、展開環境にインストール済みの場合、各コンポーネントは下記バージョンにアップグレードする必要があります。

LTSR のベースラインコンポーネント	バージョン	備考
VDA for Desktop OS	7.6.300	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
VDA for Server OS	7.6.300	
Delivery Controller	7.6 Update 3	
Citrix Studio	7.6 Update 3	
Citrix Director	7.6.300	

LTSR のベースラインコンポーネント	バージョン	備考
グループポリシー管理のエクスペリエンス	7.6.300 (2.5)	
StoreFront	3.0.1	
Provisioning Services	7.6 Update 1	Windows 10 で適用される特別規則。詳しくは、「 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム 」を参照してください
ユニバーサルプリントサーバー	7.6.300	Windows 2008 R2 SP1、Windows 2012、Windows 2012 R2 のみがサポート
Session Recording	7.6.100	Platinum Edition のみ

互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム

7.6 LTSR 環境では、以下のコンポーネントの使用が推奨されます。これらのコンポーネントは、LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはなりません。7.6 LTSR 環境に含まれるこれらのコンポーネントを、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。

Windows 10 に関する注意: Windows 10 の通常サポートは、最新リリースパスから利用できます。Windows 10 では、7.6 LTSR のメリットを完全に活用することはできません。Windows 10 マシンを含む環境の場合、バージョン 7.9 の Virtual Delivery Agent for Windows Desktop OS および Provisioning Services を使用することをお勧めします。

詳しくは、「[XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR に対する Windows 10 との互換性の追加](#)」および「[XenApp および XenDesktop のメンテナンスオプション \(LTSR\) に関する FAQ](#)」を参照してください。

LTSR 互換性のあるコンポーネントおよびプラットフォーム	バージョン
Profile Management	5.4
AppDNA	7.6.5
ライセンスサーバー	11.12.1
HDX RealTime Optimization Pack	2.0
Windows 10	VDA: バージョン 7.9、Provisioning Services: バージョン 7.9

Citrix Receiver の互換バージョン

メンテナンスの容易化とパフォーマンスの最適化のために、Citrix Receiver は、最新バージョンが利用可能になり次第そのバージョンにアップグレードすることをお勧めします。最新のバージョンは、<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html>からダウンロードできます。Citrix Receiver の新バージョンが利用可能になったときに通知を受けることができるように、[Citrix Receiver の RSS フィード](#)に登録することをお勧めします。

Citrix Receiver は、XenApp および XenDesktop の LTSR の特典（ライフサイクルの延長と修正のみの累積更新プログラム）の対象にはならないことに注意してください。7.6 LTSR 環境に含まれる Citrix Receiver を、より新しいバージョンにアップグレードするようお願いする場合があります。Citrix Receiver for Windows については、専用の LTSR プログラムが公開されました。このプログラムについて詳しくは、「[Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」ページ（英語）を参照してください。

具体的には、LTSR では Citrix Receiver の以下のバージョンとそれ以降のすべてのバージョンがサポートされます。

Citrix Receiver の LTSR 互換バージョン	バージョン
Citrix Receiver for Windows	4.4 以降
Citrix Receiver for Linux	13.2.1 以降
Citrix Receiver for Mac	12.1 以降
Citrix Receiver for Chrome	1.8 以降
Citrix Receiver for HTML5	1.8 以降
Citrix Receiver for iOS	6.1.1 以降
Citrix Receiver for Android	3.8 以降

注意すべき除外対象

以下の機能、コンポーネント、プラットフォームは、LTSR のライフサイクルマイルストーンと特典の対象外です。すなわち、累積更新プログラムとライフサイクル延長の特典は適用されません。除外対象の機能とコンポーネントの更新は、通常の最新リリースで入手可能です。

除外対象の機能：ローカルアプリアクセス、Framehawk

除外対象のコンポーネント：Linux VDA、Personal vDisk

除外対象の Windows プラットフォーム*：Windows 2008 32 ビット（ユニバーサルプリントサーバー用）

* Citrix は、サードパーティベンダーのライフサイクルマイルストーンに基づいてプラットフォームサポートを更新する権利を有します。

XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR へのアップグレード

LTSR へのアップグレードは、XenApp と XenDesktop 7.6 から直接、および 3 つの 7.6 Feature Pack のいずれかから行うことができます。

ダウンロードの場所:

- [LTSR のダウンロード \(XenApp\)](#)
- [LTSR のダウンロード \(XenDesktop\)](#)

しばらくの間は、多くのコンポーネントの LTSR バージョンを主に Feature Pack 3 の一部として利用できます。つまり、Feature Pack 3 に展開環境をアップグレードした場合、ほとんどのコンポーネントが既に LTSR に適合しているということです。こうした場合、特に操作を行う必要はありません。以下の各コンポーネントに関するセクションで現在のバージョンが初リリースであるかどうかを調べて、Feature Pack 3 からさらにアップグレードする必要があるかどうかを確認してください。

Controller のアップグレードに関する注意: Controller を LTSR バージョンにアップグレードすると、サイトのデータストアの DbSchema が 1 つ以上変更されます。こうした変更は永続的かつ不可逆的であり、自動で変更前に戻すことはできません。このため、Controller をアップグレードする前に、Controller の LTSR バージョンへのアップグレードに関するセクションをよく読んで理解してください。

Virtual Delivery Agent (VDA) for Desktop OS 7.6.300

LTSR バージョン: VDA for Desktop OS 7.6.300

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 30 日に Feature Pack 3 の一部としてリリースされました (VDAWorkstationSetup_7.6.300.exe)。

[システム要件](#)

[解決された問題](#)

インストールまたはアップグレード

VDA をインストールするマシンに、VDAWorkstationSetup_7.6.300.exe をダウンロードして実行します。グラフィカルインターフェイスまたはコマンドラインを使用します。

詳しくは、[スタンドアロンパッケージによる VDA のインストール](#)を参照してください。

Virtual Delivery Agent (VDA) for Server OS 7.6.300

LTSR Version: VDA for Server OS 7.6.300

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 30 日に Feature Pack 3 の一部としてリリースされました (VDAServerSetup_7.6.300.exe)。

システム要件

解決された問題

インストールまたはアップグレード

VDA をインストールするマシンに VDAServerSetup_7.6.300.exe をダウンロードして実行します。グラフィカルインターフェイスまたはコマンドラインを使用します。

VDA for Windows Server OS のインストールにより、2008 および 2010 ランタイム (32 ビットおよび 64 ビット) に加えて、Microsoft Visual C++ 2013 ランタイム (32 ビットおよび 64 ビット) が自動的に展開されます。Microsoft Visual C++ 2005 は今後展開されません。これらの前提条件はサーバーの再起動を初期化し、再起動後に続いて VDA をインストールします。

詳しくは、[スタンドアロンパッケージによる VDA のインストール](#)を参照してください。

Delivery Controller 7.6.3 (Controller Hotfixes Update 3)

LTSR バージョン: Delivery Controller 7.6.3

このバージョンが初リリースです。2015 年 11 月 12 日に Delivery Controller 7.6.3 (Controller Hotfixes Update 3) としてリリースされました。

システム要件

解決された問題 (32 ビット版)

解決された問題 (64 ビット版)

インストールまたはアップグレード

使用中の Controller のバージョンが 7.6.3 の場合:

バージョン 7.6.3 (Controller Hotfixes Update 3) の Controller は LTSR バージョンです。バージョン 7.6.3 にアップグレード済みの場合、Controller は LTSR に適合しているため、アップグレードの必要はありません。Citrix Studio に関するセクションに進んでください。重要: バージョン 7.6.3 のすべてのコンポーネントがインストールされていることを確認してください。不足しているコンポーネントがある場合、Controller の動作が不安定になることがあります。

使用中の Controller のバージョンが 7.6、7.6.1、7.6.2 の場合:

LTSR に適合するために、Controller を LTSR バージョンにアップグレードする必要があります。アップグレードを行うには、LTSR バージョンを Controller にダウンロードして、以下のアップグレード手順を実行します。

注意: このリリースをインストールした後で、Controller の各コンポーネントを元の状態に戻すことはサポートされていません。これを行うと、システムの動作が不安定になることがあります。Controller の各コンポーネントはインストール済みのコンポーネントを修正するのではなく、新規インストールとして既存のコンポーネントを完全に置き換えます。このため、これらのコンポーネントをアンインストールすると、Controller からそのコンポーネント全体が削除されます。Controller を以前のバージョンに戻すには、各コンポーネントをアンインストールしてから、以

前のバージョンのコンポーネントを再インストールする必要があります。以前のバージョンの再インストールにより、このアップグレードで行った設定内容が消去されることがあります。

重要: すべてのコンポーネントの LTSR バージョンをインストールしてください。一部の LTSR バージョンをインストールしない場合、Controller の動作が不安定になることがあります。

Controller Version 7.6 (RTM 版) をアップグレードする場合は、LTSR バージョンの Controller のすべてのコンポーネントをインストールしてください。

Delivery Controller 7.6.1 (Controller Hotfixes Update 1) または Delivery Controller 7.6.2 (Controller Hotfixes Update 2) からアップグレードする場合は、インストール済みの古いリリースと比較して、LTSR バージョンで新規追加されたコンポーネントだけをインストールしてください。各コンポーネントは任意の順番でインストールできます。

- アップグレードを正しく行うには、サーバーのレジストリ変更が許可されている必要があります。
- XenDesktop/XenApp 7.x Controller のインストールに関する補足情報については、[CTX201988](#)を参照してください。

Delivery Controller 7.6.2 (Controller Hotfixes Update 2) からのアップグレード

注意: 仕様上、Broker Service (BrokerSvc760WX64003.msi) コンポーネントによりサイトのデータストアの Broker DbSchema が変更されます。これらの変更は永続的であり、元に戻すことはできません。何らかの理由で Broker Service コンポーネントをアンインストールしても、この変更は元に戻りません。Broker Service コンポーネントをインストールする前に、データストアをバックアップすることを強くお勧めします。これにより、バックアップからサイトのデータストアを手作業で復元することができます。ただし、復元により、バックアップ後にサイトに追加された変更内容が失われることに注意してください。データストアのバックアップおよび復元については、[CTX135207](#)を参照してください。

DbSchema をアップデートするには、少なくとも1つのサイトを作成しておく必要があります。サイトが作成されていない場合は、少なくとも1つのサイトを作成してからこのアップデートをインストールしてください。サイトを作成していない場合、既存の DbSchema のアップデートに失敗し、XenDesktop の再構築が必要になる場合があります。

注: このリリースへのアップグレード後、Citrix Studio のライセンスサーバー互換性をチェックするための画面が表示されます。このチェックによって、ライセンスサーバーが必須バージョンであることが確認されます。XenDesktop 7.6 以降のバージョンでリリースされたライセンスサーバーを使用している場合、ライセンスサーバーをアップグレードする必要はありません。[続行] をクリックして DBSchema のアップグレードを続行してください。

1. アップグレード元が Controller 7.6.2 であることを確認します。Delivery Controller 7.6.2 ではない場合は、以下の「Delivery Controller 7.6.1 または 7.6 からのアップグレード」を参照してください。
2. 少なくとも1つのサイトが存在することを確認します。
3. サイトのデータストアをバックアップします。
4. ネットワーク上の共有フォルダに、リリースパッケージをコピーします。
5. 各コンポーネントの MSI ファイルをアップデート先の Delivery Controller 上に保存します。
6. これらの MSI ファイルを実行します。

7. Delivery Controller を再起動します（再起動を確認するメッセージが表示されない場合があります）。
8. このリリースで提供される最新の DbSchema に更新するには、Citrix Studio のダッシュボードで [アップグレード] をクリックします。

Delivery Controller 7.6.1 または 7.6 からのアップグレード

注。バージョン 7.6.2 の Controller からアップグレードする場合、このセクションは適用されません。

注意: 仕様上、Broker Service (BrokerSrcv760WX64003.msi) と Host Service (HostSrcv760WX64003.msi) の両コンポーネントにより、サイトのデータストアの Broker DbSchema および Host DbSchema がそれぞれ変更されます。これらの変更は永続的であり、元に戻すことはできません。何らかの理由で Broker Service または Host Service の各コンポーネントをアンインストールしても、この変更は元に戻りません。Broker Service または Monitor Service の各コンポーネントをインストールする前に、サイトのデータストアをバックアップすることを強くお勧めします。これにより、バックアップからサイトのデータストアを手作業で復元することができます。ただし、復元により、バックアップ後にサイトに追加された変更内容が失われることに注意してください。データストアのバックアップおよび復元については、[CTX135207](#)を参照してください。

DbSchema をアップデートするには、少なくとも1つのサイトを作成しておく必要があります。サイトが作成されていない場合は、少なくとも1つのサイトを作成してからこのアップデートをインストールしてください。サイトを作成していない場合、既存の DbSchema のアップデートに失敗し、XenDesktop の再構築が必要になる場合があります。

注。このリリースへのアップグレード後、Citrix Studio のライセンスサーバー互換性をチェックするための画面が表示されます。このチェックによって、ライセンスサーバーが必須バージョンであることが確認されます。XenDesktop 7.6 以降のバージョンでリリースされたライセンスサーバーを使用している場合、ライセンスサーバーをアップグレードする必要はありません。[続行] をクリックして DBSchema のアップグレードを続行してください。

1. 少なくとも1つのサイトが存在することを確認します。
2. サイトのデータストアをバックアップします。
3. ネットワーク上の共有フォルダに、リリースパッケージをコピーします。
4. 各コンポーネントの MSI ファイルをアップデート先の Delivery Controller 上に保存します。
5. これらの MSI ファイルを実行します。
6. Delivery Controller を再起動します（再起動を確認するメッセージが表示されない場合があります）。
7. このリリースで提供される最新の DbSchema に更新するには、Citrix Studio のダッシュボードで [アップグレード] をクリックします。

Delivery Controller のコンポーネントをアンインストールして各コンポーネントとサイトのデータストアを以前のバージョンに復元する

1. Windows のコントロールパネルを使用して、各コンポーネントをアンインストールします。
2. [CTX135207](#)の説明に従って、データストアを復元します。
3. 以前のバージョンのコンポーネントをインストールします。
4. Controller を再起動します（再起動を確認するメッセージが表示されない場合があります）。

Citrix Studio 7.6 Update 3

LTSR バージョン: Citrix Studio 7.6 Update 3

このバージョンが初リリースです。2015 年 10 月 29 日に Hotfix DStudio760WX64003、Hotfix DStudio760WX86003 としてリリースされました。

システム要件

解決された問題

- 64 ビット
- 32 ビット

既知の問題

更新中、Citrix Studio が開いている場合、Hotfix のインストールウィザードの [使用中のファイル] ページで [アプリケーションを終了してから再起動する] を設定すると、以下のメッセージが表示されることがあります。

「セットアップがすべての要求されたアプリケーションを自動的に終了することができませんでした。インストールを続行する前に、使用中のファイルを使用しているアプリケーションが終了していることを確認してください。」

ユーザーはこのメッセージを無視して [OK] をクリックして続行できます。

インストールまたはアップグレード

LTSR バージョンの Citrix Studio をダウンロードし、[CTX201572](#)に記載のインストール手順を実行します。

Citrix Director 7.6.300

LTSR バージョン: Director 7.6.300

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 30 日に Feature Pack 3 の一部としてリリースされました (Director_7.6.300.zip)。

システム要件

IIS で必要なすべての機能が選択されているかチェックしてください。全一覧については、[CTX142260](#)を参照してください。Citrix グループポリシー管理コンポーネントをインストールしていない場合はこれをインストールします。

解決された問題

インストールまたはアップグレード

Citrix Director を実行しているサーバーに LTSR バージョンの Director をダウンロードし、「[Director](#)」の手順を実行します。

グループポリシー管理 7.6.300 (2.5)

LTSR バージョン: グループポリシー管理 7.6.300

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 30 日に Feature Pack 3 の一部としてリリースされました (CitrixGroupPolicyManagement_7.6.300.zip)。

システム要件:

Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Server 2008 R2、Server 2012、または Server 2012 R2 が動作するコンピューター

この VDA に含まれる新しい HDX テクノロジ機能や強化された機能は、更新されたグループポリシー管理パッケージを使って管理されます。このコンポーネントは、インストール後は [プログラムと機能] にバージョン 2.5.0.0 として表示されます。

インストールまたはアップグレード

Citrix グループポリシー管理は、ポリシーが [ユーザーの詳細] ビューに表示されるようにするために、Director のインストール先のシステムにインストールする必要があります。LTSR バージョンの Citrix グループポリシー管理 (Citrix Policy) を、Director が実行されているサーバーにダウンロードしてインストールします。次に Studio または GPMC を起動して、新しいポリシーや更新されたポリシーが表示されます。

更新されたポリシーについて詳しくは、以下を参照してください: 拡張 Thinwire 互換モードについては、「[視覚表示のポリシー設定](#)」。署名デバイスと描画タブレットのサポートについては、「[USB デバイスのポリシー設定](#)」。ビデオフォールバックの防止については、「[Flash リダイレクト](#)」および「[マルチメディアのポリシー設定](#)」。

StoreFront 3.0.1

LTSR バージョン: 3.0.1

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 30 日に Feature Pack 3 の一部としてリリースされました (CitrixStoreFront-x64.exe)。

[システム要件](#)

[解決された問題](#)

[既知の問題](#)

インストールまたはアップグレード

StoreFront サーバーに LTSR バージョンの StoreFront をダウンロードし、「[アップグレード](#)」の手順を実行します。

Provisioning Services

LTSR バージョン: Provisioning Services 7.6 Update 1 (Provisioning Services 7.6 Cumulative Update 1 for Server and Console)、PVS760TargetDeviceWX64001.zip または PVS760TargetDeviceWX86001.zip

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 15 日に PVS760ConsoleServerWX86001.zip、PVS760ConsoleServerWX64001.zip としてリリースされました。

Provisioning Services 7.6 Update 1 では、バージョン 7.6 で発見された 40 個以上の問題が修正されています。

システム要件

解決された問題

- コンソール、サーバー (64 ビットおよび32 ビット)
- ターゲットデバイス (64 ビットおよび32 ビット)

インストールまたはアップグレード

LTSR バージョンの Provisioning Services をダウンロードして、「[Provisioning Services コンソールソフトウェアのインストール](#)」(コンソール)、「[Provisioning Services サーバーソフトウェアのインストール](#)」(サーバー)、「[CTX135746](#)」(ターゲットデバイス)のインストール手順に従います。

Session Recording 7.6.100

LTSR バージョン: 7.6.100

このバージョンが初リリースです。2015 年 6 月 30 日に Feature Pack 2 の一部としてリリースされました (SessionRecording7.6.100.zip)。

Feature Pack 2 の一部としてリリースされた Session Recording 7.6.100 には、次の新機能と機能拡張が含まれています。

- Session Recording データベースコンポーネントのインストール時にデータベース接続の資格情報を指定できるようになりました。
- Session Recording データベースコンポーネントと Session Recording Server コンポーネントのインストール時にデータベースの接続を、Session Recording Agent コンポーネントのインストール時に Session Recording Server の接続をテストできるようになりました。
- Microsoft Shared Management Objects は、Session Recording データベースのインストールに不要となりました。
- Citrix カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) が Session Recording に統合されました。このプログラムについて詳しくは、『Citrix カスタマーエクスペリエンス向上プログラムについて』を参照してください。既存の設定はアップグレード時も保持されます。

システム要件

インストールまたはアップグレード

LTSR バージョンをダウンロードし、[アップグレードの手順](#)に従います。

LTSR 環境で使用する場合は Session Recording 7.6.100 の既知の問題は次のとおりです。

- Microsoft ペイントのセッションの録画は、Session Recording Player では正常に再生されません。 [0604700]
- マルチモニター環境のユーザーデバイスで録画したセッションを再生するとエラーが発生します。 [0605129]

ユニバーサルプリントサーバー **7.6.300**

LTSR バージョン: 7.6.300

このバージョンが初リリースです。2015 年 9 月 30 日に Feature Pack 3 の一部としてリリースされました (UpsServer_7.6.300.zip)。

注: ユニバーサルプリントサーバーは、クライアント側およびサーバー側の両方のコンポーネントで構成されています。クライアント側のコンポーネントは VDA の一部としてインストールされるため、LTSR バージョンにクライアント用のインストールファイルは含まれません。サーバー側の LTSR については、32 ビット版の Windows オペレーティングシステムではユニバーサルプリントサーバーはサポートされていないため、64 ビット版のサーバー用インストーラーのみが含まれます。

システム要件

解決された問題

インストールまたはアップグレード

ユニバーサルプリントサーバーパッケージには、スタンドアロン UPS サーバーコンポーネント (UpsServer_x64.msi) および必須ファイル (vcredist_x64.exe、vcredist_x86.exe、cdf_x64.msi) の更新バージョンが含まれています。

1. Windows 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、または Windows Server 2012 R2 のプリントサーバーに LTSR バージョンをダウンロードします。
2. 各必須ファイル (vcredist_x64.exe、vcredist_x86.exe、cdf_x64.msi) をインストールします。
3. ユニバーサルプリントサーバーコンポーネント (UpsServer_x64.msi) をインストールします。
4. ユニバーサルプリントサーバーコンポーネントのインストール後にサーバーを再起動します。

UPClient コンポーネントは、VDA と一緒にインストールされます。したがって、クライアント側コンポーネントを手動でインストールする必要はないため、このコンポーネントは LTSR バージョンのスタンドアロンコンポーネントとして含まれません。

詳しくは、[プリンターのプロビジョニング](#)を参照してください。

HDX Flash リダイレクト

HDX Flash リダイレクト機能を有効にすると、ほとんどの Adobe Flash コンテンツ (アニメーション、ビデオ、アプリケーションなど) が LAN または WAN で接続されたユーザー側の Windows デバイス上で処理 (レンダリング) され、サーバーリソースおよびネットワークの負荷が軽減されます。これにより、スケーラビリティおよびユーザーエクスペリエンスが向上します。

クライアント側コンポーネントは、デスクトップ OS 用 VDA およびサーバー OS 用 VDA の一部としてインストールされます。このため、VDA を LTSR バージョンにアップグレードすると、展開環境の HDX Flash リダイレクトが最新バージョンにアップグレードされます。

インストールするサーバー側コンポーネントはありません。ただし、Flash リダイレクトを構成するには、サーバー側およびクライアント側の設定が必要です。Flash リダイレクトの構成について詳しくは、「[Flash リダイレクト](#)」を参照してください。HDX Flash の互換性に関する最新の更新については、[CTX136588](#)を参照してください。

このリリースに含まれていない機能

April 16, 2019

廃止された機能

XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR は、XenApp および XenDesktop 7.6 RTM に基づいています。次の機能はバージョン 7.6 の RTM で廃止済みであり、LTSR でも廃止されたままです。

- タッチパネルでの操作に最適化されたデスクトップ - この設定は Windows 10 マシンでは無効になっています。詳しくは、[モバイルデバイスでの動作のポリシー設定](#)を参照してください。
- **128 ビット未満の SecureICA 暗号化** - 7.x より前のリリースでは、SecureICA により基本レベル、40 ビット、56 ビット、および 128 ビットの暗号化でクライアント接続を保護できました。このリリースの SecureICA では、128 ビットの暗号化のみを使用できます。
- 従来の印刷機能 - 以下の印刷機能は、7.x でサポートされなくなりました。
 - 従来のクライアントプリンター名を使用する機能を含む、Dos クライアントと 16 ビットプリンターに対する後方互換性。
 - 強化された拡張プリンタープロパティおよび Win32FavorRetainedSetting を含む、Windows 95 および Windows NT オペレーティングシステムに接続されたプリンターのサポート。
 - 自動保持および自動復元プリンターを有効または無効にする機能
 - 自動保持および自動復元プリンターを有効または無効にするサーバーのレジストリ設定である DefaultPrnFlag。サーバー上のユーザープロファイルに保存されます。
- **Secure Gateway** - 7.x より前のリリースでは、Secure Gateway を使用してサーバーとユーザーデバイス間の接続を保護できました。このリリースでは、外部接続をセキュリティで保護するためのオプションとして、NetScaler Gateway を使用します。
- ユーザーのシャドウ - 7.x より前のリリースでは、管理者はポリシーを設定してユーザー間のシャドウを制御しました。このリリースでは、エンドユーザーのシャドウ機能が Director コンポーネントに統合されています。管理者は、Director から Windows リモートアシスタンスを使用してユーザーのアプリケーションや仮想デスクトップをシャドウして、問題のトラブルシューティングを行います。
- 電源能力管理 - 7.x より前のリリースでは、電源の消費を減らし、サーバーの能力を管理するために、電源能力管理機能を使用できました。このリリースでは、Microsoft Configuration Manager を使用してこれを行います。

- **第 1 世代の Flash** リダイレクト - 第 2 世代 Flash リダイレクトをサポートしないクライアント (Citrix Receiver for Windows 3.0 より前のバージョン、Citrix Receiver for Linux 11.100 より前のバージョン、および Citrix Online Plug-in 12.1) では、従来の Flash リダイレクトが機能しないためにサーバー側でのレンダリングにフォールバックされます。このリリースに含まれる VDA は、第 2 世代の Flash リダイレクト機能をサポートします。
- **ローカルテキストエコー** - この機能は、以前の形式の Windows アプリケーション上で入力文字列を高速に表示するために使用されました。このリリースでは HDX SuperCodec およびグラフィックサブシステムが改善されたため、この機能は削除されています。
- **Smart Auditor** - 7.x より前のリリースでは、Smart Auditor を使用してユーザーセッションの画面上のアクティビティを記録できました。このリリースでは、このコンポーネントは使用できません。7.6 Feature Pack 1 では、Session Recording により置き換えられます。
- **Single Sign-on** - パスワードセキュリティを提供するこの機能は、Windows 8 および Windows Server 2012 環境ではサポートされません。Windows 2008 R2 および Windows 7 環境ではサポートされますが、このリリースには含まれていません。ただし、Citrix のダウンロード Web サイト (<http://citrix.com/downloads>) から入手することができます。
- **Oracle** データベースのサポート - 7.x のリリースでは、SQL データベースを使用します。
- **サーバーヘルスの監視および復元 (HMR)** - 7.x より前のリリースでは、この機能を使用してサーバーファーム内のサーバーでテストを実行し、サーバーの状態を監視したり、サーバーヘルスのリスクを発見したりできました。このリリースでは、Director のコンソールを使用して、インフラストラクチャ全体のシステム状態を一元的に管理および監視できます。
- **カスタム ICA** ファイル - 7.x より前のリリースでは、カスタムの ICA ファイルを使用して、ユーザーデバイスから特定のマシンへの直接接続が可能でした。このリリースでは、この機能はデフォルトでは無効になっていますが、ローカルグループを使用する標準的な使用においては有効にできます。また、Controller が使用できなくなった場合に高可用性モードで使用することもできます。
- **Management Pack for System Center Operations Manager (SCOM) 2007** - このリリースでは、SCOM を使ってサーバーファームのアクティビティを監視する管理パックはサポートされていません。
- **CNAME** 機能 - 7.x より前のリリースでは、CNAME 機能はデフォルトで有効になっていました。このため、CNAME レコードに依存する FQDN の再ルーティングや NetBIOS 名の使用に失敗することがありました。このリリースでは、Controller の自動更新機能により Controller の一覧が動的に更新され、サイトの Controller が追加または削除されると VDA に自動的に通知されます。この自動更新機能は Citrix ポリシーのデフォルトで有効になっていますが、ポリシーを作成することにより無効にできます。

または、レジストリで CNAME 機能を有効にして、従来の FQDN の再ルーティングや NetBIOS 名の使用を許可することもできます。詳しくは、[CTX137960](#)を参照してください。
- **簡易展開ウィザード** - 7.x より前のリリースの Studio では、このオプションを選択してすべてが構成済みの XenDesktop 展開をすばやく作成することができました。このリリースではインストールおよび構成のワークフローが簡素化されたため、簡易展開ウィザードが不要になりました。

- 自動管理用のリモート **PC** サービス構成ファイル **PowerShell** スクリプト - リモート PC は、Studio および Controller に統合されました。
- **Workflow Studio** - 7.x より前のリリースでは、XenDesktop のワークフロー構成用のグラフィカルインターフェイスとして Workflow Studio を使用しました。このリリースでは、この機能はサポートされません。
- 色数 - Studio の 7.6 よりも前のリリースでは、デリバリーグループユーザー設定ページのこのオプションは、デリバリーグループの色数を設定しました。バージョン 7.6 では、デリバリーグループの色数を New-BrokerDesktopGroup または Set-BrokerDesktopGroup PowerShell コマンドレットを使って設定できます。
- クライアント接続での非公開アプリケーションの起動 - 7.x よりも前のリリースでは、この Citrix ポリシー設定は、サーバー上の ICA または RDP を介して開始アプリケーションまたは公開アプリケーションを起動するかどうかを指定しました。7.x リリースでは、サーバー上の RDP を介して開始アプリケーションまたは公開アプリケーションを起動するかどうかのみを指定します。
- デスクトップの起動 - 7.x よりも前のリリースでは、この Citrix ポリシー設定は非管理者ユーザーがデスクトップセッションに接続できるかどうかを指定しました。7.x リリースでは、VDA 上のセッションに接続するため、非管理者ユーザーが VDA マシンの Direct Access Users グループのメンバーである必要があります。デスクトップの起動設定により、VDA の Direct Access Users グループの非管理者ユーザーは、ICA コネクションを使って VDA に接続できます。デスクトップの起動設定は、RDP 接続には影響を与えません。VDA の Direct Access Users グループのユーザーは、この設定が有効であるかどうかにかかわらず、RDP 接続を使って VDA に接続できます。

Citrix Receiver に含まれていない機能またはデフォルト値が異なる機能

- **Citrix Receiver Enterprise Edition** および **Offline Plug-in** — Citrix Receiver Enterprise Edition および Offline Plug-in のライフサイクルは終了しました。LTSR インストーラーで更新されることはありません。最新版の Citrix Receiver for Windows を使用することをお勧めします。
- **COM** ポートマッピング — COM ポートのマッピング機能により、ユーザーデバイス上の COM ポートへのアクセスが許可または禁止されます。この機能は、以前のリリースのデフォルトでは有効になっていました。このリリースでは、COM ポートマッピングがデフォルトで無効になります。詳しくは、「[レジストリを使った COM ポートおよび LPT ポートリダイレクト設定の構成](#)」を参照してください。
- **LPT** ポートマッピング — LPT ポートのマッピング機能により、LPT ポートへのレガシアプリケーションのアクセスが制御されます。この機能は、以前のリリースのデフォルトでは有効になっていました。このリリースでは、LPT ポートマッピングがデフォルトで無効になります。
- **PCM** オーディオコーデック — このリリースでは、HTML5 クライアントでのみ PCM オーディオコーデックがサポートされます。
- **Microsoft ActiveSync** のサポート
- 以前のバージョンのプロキシサポート — 以下のプロキシはサポートされなくなりました。
 - Microsoft Internet Security and Acceleration (ISA) 2006 (Windows Server 2003)。
 - Oracle iPlanet Proxy Server 4.0.14 (Windows Server 2003)。

- Squid Proxy Server 3.1.14 (Ubuntu Linux Server 11.10)。

既知の問題

April 16, 2019

累積更新プログラム 7 の既知の問題

現在、CU7 に関する問題は報告されていません。

累積更新プログラム 6 の既知の問題

- StoreFront のバージョン 2.5、2.6、3.0.1 から XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR の累積更新プログラムに含まれている StoreFront の任意のバージョンにメタインストーラーを使用してアップグレードしようとすると、失敗することがあります。この問題は、StoreFront 管理コンソールが開いている時、またはアップグレード中に警告なしで PowerShell セッションが実行されている時に発生します。[LCM-4801]
- XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR CU6 へのアップグレード後、サイトのライセンスサーバーが CU6 の対応バージョンに更新されなかった場合、サイトがアップグレードできないことがあります。アップグレード時、製品インストーラーからこのことが通知されることはありません。[LCM-5466]

Cumulative Update 5 の既知の問題

StoreFront のバージョン 2.5 または 2.6 から XenApp および XenDesktop 7.6 LTSR の累積更新プログラムに含まれている StoreFront の任意のバージョンにアップグレードしようとすると、失敗することがあります。この問題は、StoreFront 管理コンソールが開いている時、またはアップグレード中に警告なしで PowerShell セッションが実行されている時に発生します。この問題は、.NET 4.6 または .NET 4.7 の更新プログラムがインストールされた Windows 2012 R2 Server を実行しているシステムのみで発生します。[3283]

Cumulative Update 4 の既知の問題

現在、CU4 に関する問題は報告されていません。

Cumulative Update 3 の既知の問題

現在、CU3 に関する問題は報告されていません。

累積更新プログラム 2 の既知の問題

- PowerShell SDK を使用して XenDesktop 5.6、7.1、7.5、または XenApp 7.5 の環境を手動更新しようすると、1 つまたは複数の DBSchema をアップグレードできないことがあります。回避策としては、サイトの DBSchema を、PowerShell SDK ではなく Citrix Studio の自動または手動のサイトアップグレード方法でアップグレードします。[LCM-903]
- Citrix Receiver for Linux の使用時に HDX の Flash リダイレクトでサーバー側のレンダリングにフォールバックすることがあり、Web サイトが動的ブラックリストに追加されます。この問題を避けるには、エミュレーションモードを使用します。[LCM-944]
- Citrix Studio が起動時に予期せず終了することがあります。この問題は、Microsoft の KB3163251 および KB3135996v2 の各記事で更新済みである単一の Windows 2008 R2 SP1 システムに、Studio と Storefront をインストールしている場合に発生します。イベントビューアには以下のエラーメッセージが記録されます。

「.NET ランタイム version2.0.50727.5485 - 致命的なエンジンエラーが発生しました。」

回避策としては、コマンドラインから次のプロンプトを実行します。

「C:\windows\microsoft.net\framework64\v2.0.50727\ngen update /force」 [LCM-969]

- VDA for Server OS のインストールが失敗し、一般的なエラーコード 1603 が表示されることがあります。回避策などを含め、詳しくは Knowledge Center の CTX213807 を参照してください。[LCM-1013]
- 注: この問題は、CU4 の LC6934 で解決されました。

特定の Web サイト (Qumu など) は自動的にブラックリストに登録され、サーバー側でのコンテンツのレンダリングにフォールバックします。この問題を避けるには、VDA で次のレジストリキーを設定して、影響を受けるサイトがブラックリストに登録されないようにします:

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Citrix\HdxMediaStreamForFlash\Server\PseudoServer

値の名前: SupportedUrlHeads

種類: REG_MULTI_SZ

データ: 個別の行での値ごと、null 区切り >:

<http://>

<https://>

<file://> [LCM-1605]

- 注: この問題は、CU3 の LC6471 で解決されました。

StoreFront 3.0.1000 または 3.0.2000 のインストール後、管理コンソールを起動できず、次のエラーメッセージが表示されます。「ルート証明書がないため管理コンソールを使用できません。Verisign サイトで証明書 (Verisign class primary CA - G5) をダウンロードしてください」。詳しくは、Knowledge Center の CTX218815 を参照してください。[LC6471]

- 注: この問題は、CU3 の LC6816 で解決されました。

StoreFront をバージョン 2.5 から 3.0.2000 にアップグレードしようとする、エラーコード 1603 で失敗します。詳しくは、Knowledge Center の CTX220411 を参照してください。[LC6816]

累積更新プログラム 1 の既知の問題

- メタインストーラーでなくスタンドアロンの msi を使用してこのリリースのコンポーネントをインストールする場合 (非推奨)、Desktop Studio のライセンスサーバー互換性をチェックするための画面が表示されます。このチェックによって、ライセンスサーバーが必須バージョンであることが確認されます。XenApp/Desktop 7.6 以降のバージョンでリリースされたライセンスサーバーを使用している場合、ライセンスサーバーをアップグレードする必要はありません。[続行] をクリックして DBSchema のアップグレードを続行してください。[575064]
- Active Directory を使用してデプロイされたライセンスサーバー (XenApp/XenDesktop 7.6 RTM リリースに含まれる) のバージョン 11.12.1 のインスタンスをアップグレードする場合、Citrix ライセンスサーバーおよび Citrix Licensing Support Services がともに無効になります。

この問題を回避するには、citrixlicensing.exe を使用して CU1 メディアからライセンスサーバーのバージョン 11.13.1 をインストールしてから、CU1 の残りをインストールします。[630116]

- 注: この問題は、CU2 の #630814 で解決されました。

[既存のライセンスを使用する] を選択すると、Citrix Studio のサイトのセットアップを続行できないことがあります。回避策としては、ライセンスサーバーの「Citrix Web Services for Licensing」サービスを再起動して、構成を完了します。[630814]

- メタインストーラーでなくスタンドアロンの msi を使用してこのリリースのコンポーネントをインストールする場合 (非推奨)、Citrix Scout ではそのコンポーネントのエントリが重複して表示されます。[636862]
- 注: この問題は、CU3 の LC6471 で解決されました。

StoreFront 3.0.1000 または 3.0.2000 のインストール後、管理コンソールを起動できず、次のエラーメッセージが表示されます。「ルート証明書がないため管理コンソールを使用できません。Verisign サイトで証明書 (Verisign class primary CA - G5) をダウンロードしてください」。詳しくは、Knowledge Center の CTX218815 を参照してください。[LC6471]

- 注: この問題は、CU3 の #LC6816 で解決されました。

StoreFront をバージョン 2.5 から 3.0.2000 にアップグレードしようとする、エラーコード 1603 で失敗します。詳しくは、Knowledge Center の CTX220411 を参照してください。[LC6816]

LTSR の既知の問題

- XenApp 6.5 サーバーを更新して VDA for Server OS にできないことがあります。この問題は、コントローラーモードおよびセッションホストモードでインストールした XenApp 6.5 サーバーで発生します。この理

由は、Citrix XML Service では IIS サーバーと共通ポートを共有しているためです。

回避策としては、XenApp 6.5 サーバーをアンインストールしてからサーバーを再起動し、LTSR または最新の Cumulative Update をインストールします。詳しくは、「XenApp 6.5 ワーカーの VDA for Windows Server OS へのアップグレード」を参照してください。[LCM-893]

- 注: この問題は、LTSR CU2 VDA の LC5098 で解決されました。

VDA を 7.6 LTSR (7.6.300) に更新した後、クライアントによる DirectShow ベースのアプリケーション (QUMU、QVOP など) へのコンテンツのリダイレクトが機能せず、ビデオがレンダリングに失敗します。[LC5098-x]

- 次の Citrix クライアントは、VDA メタインストーラーに含まれておらず、更新されません:
 - Citrix Receiver for Windows Enterprise Edition
 - Offline Plug-in

これらのクライアントのライフサイクルは終了しました。Citrix Receiver の最新バージョンは<https://www.citrix.com/downloads/citrix-receiver.html>からダウンロードできます。[XA-1532]

- 仮想デスクトップで選択されたユニバーサルプリントサーバープリンターが Windows コントロールパネルの [デバイスとプリンター] に表示されない場合があります。この問題が発生しても、アプリケーションからこのプリンターを使って正しく印刷できます。この問題は、Windows Server 2012、Windows 10、および Windows 8 プラットフォームでのみ発生します。詳しくは、Knowledge Center の [CTX213540](#) を参照してください。[335153]

システム要件

April 16, 2019

ここで説明するシステム要件は、この製品バージョンがリリースされた時点で確認済みのものです。このトピックで説明されていないシステム要件コンポーネント (StoreFront、ホストシステム、Receiver と Plug-in、Provisioning Services) については、各コンポーネントのドキュメントを参照してください。

重要: インストールの前に、「[インストールの準備](#)」の内容を確認してください。

特に明記されている場合を除き、コンポーネントの必須ソフトウェア (.NET や C++ パッケージなど) がインストールされていないことが検出された場合、インストーラーにより自動的にインストールされます。これらの必須ソフトウェアの一部は、製品のインストールメディアにも収録されています。

インストールメディアには複数のサードパーティ製コンポーネントが収録されています。Citrix ソフトウェアを使用する前に、サードパーティからのセキュリティに関するアップデートを確認して、必要に応じてインストールしてください。

インストールに必要なディスクスペースの値は参考値であり、製品イメージ、オペレーティングシステム、およびその他のソフトウェア用の容量は含まれていません。

すべてのコアコンポーネント (Controller と SQL Server Express、Studio、Director、StoreFront、およびライセンス) を単一のサーバーにインストールする場合、製品評価のため最低 3GB の RAM が必要です。ユーザー用の環境を実行する場合は、より多くの RAM が推奨されます。性能は、ユーザー、アプリケーション、デスクトップ、およびその他の要因の数など、実際の構成により異なります。

重要: Windows Server 2012 R2 システムに XenApp をインストールしたら、Kerberos Enable Tool (XASsonKerb.exe) を使用して Citrix Kerberos 認証が正しく行われるようにしてください。このツールは、インストールメディアの Support > Tools > XASsonKerb フォルダーに収録されています。このツールを使用するには、ローカルの管理者権限が必要です。Kerberos 認証が正しく行われるようにするには、サーバー上のコマンドプロンプトで `xassonkerb.exe -install` を実行します。その後のアップデートなどでレジストリ `HKEY_LOCAL_MACHINE\System\CurrentControlSet\Control\LSA\OSConfig` が変更された場合は、このコマンドを再度実行してください。このコマンドで使用できるオプションについての情報を表示するには、`-help` パラメーターを指定してコマンドを実行します。

Session Recording

Session Recording Administration コンポーネント

Session Recording Administration コンポーネント (Session Recording データベース、Session Recording Server、Session Recording Policy Console) は、同一サーバー上にインストールしたり、個別のサーバー上にインストールしたりできます。

Session Recording データベース

以下のオペレーティングシステムがサポートされています：

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012
- Service Pack 1 を適用した Microsoft Windows Server 2008 R2

要件：

- .NET Framework Version 3.5 Service Pack 1 (Windows Server 2008 R2 のみ)、もしくは .NET Framework Version 4.5.2 または 4.6。

Session Recording サーバー

以下のオペレーティングシステムがサポートされています：

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012、Service Pack 1 を適用した Microsoft Windows Server 2008 R2

要件:

Session Recording のインストールを開始する前に、いくつかの前提条件をインストールする必要があります。サーバーマネージャーを開いて IIS 役割を追加します。次のオプションを選択します。

- アプリケーション開発:
 - [ASP.NET 4.5 on Server 2012 and Server 2012 R2, ASP.NET on Server 2008 R2] (ほかのコンポーネントが自動的に選択されています。[追加] をクリックして必要な役割を指定します)
- [セキュリティ]、[Windows 認証]
- [管理ツール]、[IIS 6 管理互換]
 - IIS 6 メタベース互換
 - IIS 6 WMI 互換
 - IIS 6 スクリプトツール
 - IIS 6 管理コンソール
- .NET Framework Version 3.5 Service Pack 1 (Windows Server 2008 R2 のみ)、もしくは .NET Framework Version 4.5.2 または 4.6。
- Session Recording サーバーで、通信プロトコルとして HTTPS、および有効な証明書を使用する場合。Session Recording では、デフォルトで推奨プロトコルである HTTPS が使用されます。
- Active Directory 統合を無効にし、MSMQ HTTP サポートを有効にした Microsoft Message Queuing (MSMQ)。

Session Recording ポリシーコンソール

以下のオペレーティングシステムがサポートされています:

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012
- Service Pack 1 を適用した Microsoft Windows Server 2008 R2

要件:

- .NET Framework Version 3.5 Service Pack 1 (Windows Server 2008 R2 のみ)、もしくは .NET Framework Version 4.5.2 または 4.6。

Session Recording Agent

Session Recording Agent は、セッションを録画する XenApp および XenDesktop サーバーごとにインストールします。

以下のオペレーティングシステムがサポートされています:

- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012
- Service Pack 1 を適用した Microsoft Windows Server 2008 R2

要件:

- Active Directory 統合を無効にし、MSMQ HTTP サポートを有効にした Microsoft Message Queuing (MSMQ)
- .NET Framework Version 3.5 Service Pack 1 (Windows Server 2008 R2 のみ)、もしくは .NET Framework Version 4.5.2 または 4.6。

Session Recording Player

以下のオペレーティングシステムがサポートされています:

- Microsoft Windows 8.1
- Microsoft Windows 8
- Microsoft Windows 7 Service Pack 1

最適なパフォーマンスを得るには、Session Recording Player を以下の条件のワークステーションにインストールします。

- 1024 X 768 の画面解像度
- 32 ビット以上の色数
- メモリ: 1GB 以上の RAM。グラフィックが多用されている録画を再生する場合、特に録画にアニメーションが多く含まれる場合は、RAM および CPU/GPU リソースを追加すると、パフォーマンスが向上します。

シークの応答速度は、録画のサイズやマシンのハードウェア仕様によって異なります。

要件:

- .NET Framework Version 3.5 Service Pack 1 または .NET Framework Version 4.5.2 または 4.6

Delivery Controller

以下のオペレーティングシステムがサポートされています:

- Windows Server 2012 R2、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2012、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2008 R2 SP 1、Standard、Enterprise、および Datacenter エディション。

要件:

- 100MB の空きディスク容量。さらに、接続リリース (デフォルトで有効) での要件を考慮する必要があります。必要なディスク容量は、ユーザー数、アプリケーション数、およびモード (RDS または VDI) によって異なります。たとえば、最近使用された 100 個のアプリケーションに対する接続リリース機能を 100,000 人の RDS ユーザーに対して有効にする場合は、約 3GB の空きディスク容量が必要です。サポートするアプリケーションが多くなるほど、大きな空き領域が必要になります。専用の VDI デスクトップでは、40,000 台のデスクトップに対して少なくとも 400 ~ 500MB が必要です。いずれの場合も、数 GB の追加領域を指定することを推奨します。

- Microsoft .NET Framework 3.5.1 (Windows Server 2008 R2 のみ)。
- Microsoft .NET Framework 4.5.2、4.6、4.6.1
- Windows PowerShell 2.0 (Windows Server 2008 R2 に付属) または 3.0 (Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 に付属)。
- Visual C++ 2005、2008 SP1、および 2010 再頒布可能パッケージ。

データベース

サイト構成データベース (構成ログデータベースおよび監視データベースを含む) では以下のバージョンの Microsoft SQL Server のバージョンがサポートされています。

- SQL Server 2017 の Express、Standard、および Enterprise Edition。
- SQL Server 2016 の Express、Standard、および Enterprise Edition。
- SQL Server 2014 の SP2、Express、Standard、および Enterprise Edition。
- SQL Server 2012 の SP3、Express、Standard、および Enterprise Edition。CU4 より前のバージョンのデフォルトでは、Controller のインストール時に適切なバージョンの SQL Server が検出されない場合、SQL Server 2012 SP1 Express がインストールされます。CU4 のデフォルトでは、Controller のインストール時に適切なバージョンの SQL Server が検出されない場合、SQL Server 2012 SP3 Express がインストールされます。
- SQL Server 2008 R2 SP2 および SP3 の Express、Standard、Enterprise、および Datacenter Edition。

以下のデータベース機能がサポートされます (スタンドアロンモードのみをサポートする SQL Server Express を除く)。

- SQL Server クラスター化インスタンス
- SQL Server ミラーリング
- SQL Server の AlwaysOn 可用性グループ (基本的な可用性グループを含む)

Controller と SQL Server データベース間の接続には Windows 認証が必要です。

サポートされるバージョンについては、[CTX114501](#)を参照してください。

Studio

以下のオペレーティングシステムがサポートされています：

- Windows 8.1、Professional、および Enterprise エディション。
- Windows 8、Professional、および Enterprise エディション。
- Windows 7 Professional、Enterprise、および Ultimate エディション。
- Windows Server 2012 R2、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2012、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2008 R2 SP 1、Standard、Enterprise、および Datacenter エディション。

要件：

- 75MB の空きディスク容量。
- Microsoft .NET Framework 4.6.1。
- Microsoft .NET Framework 4.5.2、4.6。
- Microsoft 管理コンソール 3.0 (サポートされているすべてのオペレーティングシステムに付属)。
- Windows PowerShell 2.0

Director

以下のオペレーティングシステムがサポートされています：

- Windows Server 2012 R2、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2012、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2008 R2 SP 1、Standard、Enterprise、および Datacenter エディション。

要件：

- 50MB の空きディスク容量。
- Microsoft .NET Framework 4.5.2、4.6。
- Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 (Windows Server 2008 R2 の場合のみ)。
- Microsoft インターネットインフォメーションサービス (IIS) 7.0 および ASP.NET 2.0。IIS と一緒に [静的コンテンツ] の役割サービスがインストールされていることを確認してください。これらがインストールされていない場合は、Windows Server のインストールメディアを指定するためのメッセージが表示され、自動的にインストールされます。
- Director を表示するための以下の Web ブラウザー。
 - Internet Explorer 10 および 11。

Internet Explorer の互換モードはサポートされていません。Director を表示するには、Web ブラウザーの推奨設定を使用する必要があります。Internet Explorer をインストールする時に、セキュリティおよび互換性に関するデフォルトの推奨設定を適用してください。インストール済みの Internet Explorer で推奨設定を使用していない場合は、[ツール] > [インターネットオプション] > [詳細設定] > [リセット] の順に選択し、表示される指示に従います。
 - Firefox ESR (Extended Support Release)。
 - Chrome。

Virtual Delivery Agent (VDA) for Windows Desktop OS

以下のオペレーティングシステムがサポートされています：

Windows 10 の互換性については、[ブログ](#)を参照してください。

- Windows 8.1、Professional、および Enterprise Edition。
- Windows 8、Professional、および Enterprise エディション。
- Windows 7 SP1、Professional、Enterprise、および Ultimate エディション。

サポートされているサーバーオペレーティングシステムでは、コマンドラインインターフェイスを使用して VDA for Windows Desktop OS をインストールしてサーバー VDI 機能を使用できます。手順については、「[サーバー VDI](#)」を参照してください。

- Windows Server 2012 R2、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2012、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2008 R2 SP 1、Standard、Enterprise、および Datacenter エディション。

要件:

- Microsoft .NET Framework 4.5.2、4.6、4.6.1
- Microsoft .NET Framework 3.5.1 (Windows 7 のみ)
- Microsoft Visual C++ 2005、2008、および 2010 の Runtime (32 ビットおよび 64 ビット)。
- Microsoft Visual C++ 2008、2010、および 2013 の Runtime (32 ビットおよび 64 ビット)。これは、XenApp および XenDesktop VDA Standalone インストールに適用されます。

リモート PC アクセスでは、この VDA を社内の物理 PC 上にインストールします。

いくつかのマルチメディアアクセラレーション機能 (HDX MediaStream Windows Media リダイレクトなど) では、VDA のインストール先マシンに Microsoft Media Foundation をインストールする必要があります。マシンに Media Foundation がインストールされていない場合は、マルチメディアアクセラレーション機能がインストールされません。Citrix ソフトウェアのインストール後にマシンから Media Foundation を削除しないでください。これを削除すると、ユーザーがマシンにログオンできなくなります。Windows 8.1、Windows 8、および Windows 7 のほとんどのエディションには Media Foundation がインストールされており、削除することはできません。ただし、N エディションには一部のメディア関連機能が付属しません。これらのソフトウェアは、Microsoft 社またはサードパーティから入手できます。

VDA をインストールする時に、VDA for Windows Desktop OS の HDX 3D Pro バージョンのインストールを選択できます。このバージョンは、DirectX や OpenGL 指向のアプリケーション、およびビデオなどのリッチメディアに特に適しています。

Virtual Delivery Agent (VDA) for Windows Server OS

以下のオペレーティングシステムがサポートされています:

- Windows Server 2012 R2、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2012、Standard、および Datacenter エディション。
- Windows Server 2008 R2 SP 1、Standard、Enterprise、および Datacenter エディション。

以下の必須ソフトウェアは、インストーラーにより自動的にインストールされます。これらのソフトウェアは、Citrix インストールメディアの Support フォルダーにも収録されています:

- Microsoft .NET Framework 4.5.2、4.6、4.6.1
- Microsoft .NET Framework 3.5.1 (Windows Server 2008 R2 のみ)
- Microsoft Visual C++ 2005、2008、および 2010 の Runtime (32 ビットおよび 64 ビット)。

- Microsoft Visual C++ 2008、2010、および 2013 の Runtime (32 ビットおよび 64 ビット)。これは、XenApp および XenDesktop VDA Standalone インストールに適用されます。

リモートデスクトップサービスの役割サービスが自動的にインストールされて有効になります。

いくつかのマルチメディアアクセラレーション機能 (HDX MediaStream Windows Media リダイレクトなど) では、VDA のインストール先マシンに Microsoft Media Foundation をインストールする必要があります。マシンに Media Foundation がインストールされていない場合は、マルチメディアアクセラレーション機能がインストールされません。Citrix ソフトウェアのインストール後にマシンから Media Foundation を削除しないでください。これを削除すると、ユーザーがマシンにログオンできなくなります。Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、および Windows Server 2008 R2 のほとんどのエディションでは、サーバーマネージャーにより Media Foundation 機能がインストールされます (Windows Server 2012 R2 および Windows Server 2012 の場合は ServerMediaFoundation、Windows Server 2008 R2 の場合は DesktopExperience)。ただし、N エディションには一部のメディア関連機能が付属しません。これらのソフトウェアは、Microsoft 社またはサードパーティから入手できます。

ホスト/仮想化リソース

サポートされるプラットフォーム

重要: 以下の *major.minor* バージョン (およびこれらのバージョンの更新プログラム) がサポートされます。最新のハイパーバイザーのバージョン情報と既知の問題へのリンクは、[CTX131239](#)に記載されています。

XenServer。

- XenServer 7.2
- XenServer 7.1
- XenServer 7.0
- XenServer 6.5 SP1
- XenServer 6.5
- XenServer 6.2 SP1 に Hotfix を適用したもの (Hotfix を適用できるようにするには、SP1 を適用しておく必要があります)
- XenServer 6.1

VMware vSphere (vCenter + ESXi)。vSphere vCenter のリンクモードはサポートされません。

- VMware vSphere 6.5
- VMware vSphere 6.0
- VMware vSphere 5.5
- VMware vSphere 5.1
- VMware vSphere 5.0
- VMware vCenter 5.5 / 6 アプライアンス

System Center Virtual Machine Manager - これらの System Center Virtual Machine Manager をサポートする Hyper-V のバージョンを含みます。

- System Center Virtual Machine Manager 2012 R2
- System Center Virtual Machine Manager 2012 SP1
- System Center Virtual Machine Manager 2012

Nutanix Acropolis 4.5 - このプラットフォームを使用している場合は、複数の XenApp および XenDesktop 機能を実行できません。詳しくは、[CTX202032](#)を参照してください。Acropolis がある製品の使用について詳しくは、<https://portal.nutanix.com/#/page/docs>を参照してください。

Amazon Web Services (AWS)

- サポートされる Windows サーバー OS で、アプリケーションやデスクトップをプロビジョニングできます。
- Amazon Relational Database Service (RDS) はサポートされません。
- 詳しくは、「[Citrix XenDesktop on AWS](#)」を参照してください。

Citrix CloudPlatform

- Hotfix 4.2.1 ~ 4 を適用した Version 4.2.1 以降がサポートされます。
- ハイパーバイザーとして、XenServer 6.2 (Service Pack 1 と XS62ESP1003 適用済み) および vSphere 5.1 での動作がテストされています。
- CloudPlatform では、Hyper-V ハイパーバイザーはサポートされません。
- CloudPlatform 4.3.0.1 では、VMware vSphere 5.5 がサポートされます。
- そのほかのサポート情報および Linux システムの要件について詳しくは、CloudPlatform のドキュメント (使用するバージョンの CloudPlatform のリリースノートを含む) および「XenApp and XenDesktop concepts and deployment on CloudPlatform」を参照してください。

Machine Creation Services、および仮想マシンへの Active Directory アカウント設定機能は、以下の仮想化リソースおよびストレージ技術の組み合わせでサポートされます。推奨される組み合わせはアスタリスク (*) で示します。

仮想化リソース	ローカルディスク	NFS	ブロックストレージ	
			ジ	StorageLink
XenServer	はい	はい *	はい	いいえ
VMware	はい (vMotion または動的な移行はサポートされません)	はい *	はい	いいえ
Hyper-V	はい	いいえ	はい * (クラスター共有ボリュームが必要)	いいえ

リモート PC アクセスの Wake on LAN 機能を使用するには、Microsoft System Center Configuration Manager

が必要です。詳しくは、[Configuration Manager](#) と [リモート PC アクセスの Wake on LAN](#) を参照してください。

Active Directory の機能レベルのサポート

Active Directory フォレストとドメインの以下の機能レベルがサポートされています。

- Windows 2000 ネイティブ (ドメインコントローラーでサポートされない)
- Windows Server 2003
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2012 R2

HDX - デスクトップコンポジションリダイレクト

Windows ベースのユーザーデバイスまたはシンクライアントでの要件は以下のとおりです。

- DirectX 9
- Pixel Shader 2.0 (ハードウェアでのサポート)
- 32 ビット/ピクセル
- 1.5GHz、32 ビットまたは 64 ビットプロセッサ
- 1GB の RAM
- IGP (Integrated Graphics Processor) またはグラフィックカード上の 128MB のビデオメモリ。

HDX により、必要な GPU 機能が使用可能かどうか Windows デバイスに照会され、使用できない場合は自動的にサーバー側のデスクトップコンポジションが使用されます。GPU 機能が使用可能であってもプロセッサ速度や RAM の要件が満たされないデバイスは、デスクトップコンポジションリダイレクトの除外デバイスとして GPO グループに追加してください。

最小使用可能帯域幅は 1.5Mbps です。推奨帯域幅は 5Mbps ですこれらの値では、エンドツーエンドの遅延が考慮されています。

HDX - Windows Media 配信

Windows Media のクライアント側でのコンテンツ取得、Windows Media リダイレクト、およびリアルタイム Windows Media マルチメディアトランスコードでは、Receiver for Windows、Receiver for iOS、Receiver for Linux の各クライアントがサポートされています。

Windows Media コンテンツを Windows 8 デバイス側で取得するには、デフォルトプログラムとして Citrix Multimedia Redirector を設定します：これを行うには、[コントロールパネル]、[プログラム]、[既定のプログラ

ム]、[既定のプログラムの設定] の順に選択し、[Citrix Multimedia Redirector] を選択して [すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する] または [既定でこのプログラムで開く項目を選択する] のいずれかをクリックします。

GPU トランスコードでは、NVIDIA CUDA が有効な GPU (Compute Capability 1.1 以上) が必要です。詳しくは、<http://developer.nvidia.com/cuda/cuda-gpus>を参照してください。

HDX - Flash リダイレクト

次のクライアントと Adobe Flash Player がサポートされています：

- Receiver for Windows (第 2 世代の Flash リダイレクト機能用) - 第 2 世代 Flash リダイレクト機能では Adobe Flash Player for Other Browser (「NPAPI (Netscape Plugin Application Programming Interface) Flash Player」と呼ばれることもあります)。
- Receiver for Linux (第 2 世代の Flash リダイレクト機能用) - 第 2 世代 Flash リダイレクト機能では Adobe Flash Player for other Linux または Adobe Flash Player for Ubuntu。
- Citrix Online Plug-in 12.1 (従来の Flash リダイレクト機能) - 従来の Flash リダイレクト機能では Adobe Flash Player for Windows Internet Explorer (「ActiveX プレーヤー」と呼ばれることもあります)。

エンドポイント上の Flash Player のバージョン (メジャーバージョン番号) は、サーバー上のものと同じまたはそれ以降である必要があります。エンドポイントに以前のバージョンの Flash Player がインストールされている、またはエンドポイントに Flash Player がインストールされていない場合、Flash コンテンツは VDA 上で処理されます。

VDA を実行するマシンでの要件は以下のとおりです。

- Adobe Flash Player for Windows Internet Explorer (ActiveX プレーヤー)
- Internet Explorer 11 (非 Modern UI モード) - Flash のリダイレクトは、VDA からエンドポイント上の Flash Player に ActiveX プロトコルをリダイレクトすることによって機能します。Internet Explorer が ActiveX プロトコルをサポートする唯一のブラウザであるため、この機能は、VDA 上に Internet Explorer がインストールされていない場合は動作しません。Internet Explorer がインストールされていない場合、Flash コンテンツは VDA 側でレンダリングされます。
- Internet Explorer の保護モードの無効化：([ツール] > [インターネットオプション] > [セキュリティ] タブ > [保護モードを有効にする] チェックボックスをオフ)。変更を反映させるため、Internet Explorer を再起動します。

HDX 3D Pro

VDA for Windows Desktop OS をインストールする時に、HDX 3D Pro バージョンのインストールを選択できます。

アプリケーションをホストする物理マシンまたは仮想マシンでは、GPU パススルーまたは仮想 GPU (vGPU) を使用できます。

- GPU パススルー機能は、Citrix XenServer で使用できます。また、VMware vSphere および VMware ESX でも、同様の仮想 Direct Graphics Acceleration (vDGA) 機能を使用できます。
- vGPU 機能は、Citrix XenServer で使用できます。www.citrix.com/go/vGPUを参照してください (Citrix の My Account 資格情報が必要です)。

ホストコンピューターとして、4GB 以上の RAM と 2.3GHz 以上の 4 つの仮想 CPU を推奨します。

GPU (Graphical Processing Unit):

- 無損失圧縮を含む CPU ベース圧縮では、ホストコンピューター上のあらゆるディスプレイアダプター (配信するアプリケーションと互換性があるもの) がサポートされます。
- NVIDIA GRID API を使用した GPU フレームバッファアクセスを最適化するには、HDX 3D Pro で NVIDIA Quadro カードおよび最新の NVIDIA ドライバーが必要です。NVIDIA GRID では高いフレームレートが配信されるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。
- HDX 3D Pro で XenServer の vGPU 機能を使用するための要件には、NVIDIA GRID K1 および K2 カードが含まれています。

ユーザーデバイス:

- HDX 3D Pro では、ホストコンピューター上の GPU でサポートされるすべてのモニターの解像度がサポートされます。ただし、推奨されている最低限のユーザーデバイスおよび GPU 仕様でのパフォーマンスを最適化するには、最大モニター解像度を 1920×1200 ピクセル (LAN 接続の場合) または 1280×1024 ピクセル (WAN 接続の場合) にすることをお勧めします。
- ユーザーデバイスでは、1GB 以上の RAM と 1.6GHz 以上の CPU を推奨します。低帯域幅接続で必要とされるデフォルトの深圧縮コーデックを使用する場合は、より強力な CPU が必要です (ハードウェアでデコードしない場合)。パフォーマンスを最適化するには、ユーザーデバイスに 2GB 以上の RAM および 3GHz 以上のデュアルコア CPU を推奨します。
- マルチモニター環境の場合は、クアッドコア CPU を推奨します。
- HDX 3D Pro で配信されたデスクトップやアプリケーションにアクセスする場合、ユーザーのデバイスに専用の GPU は必要ありません。
- Citrix Receiver のインストールが必要です。

HDX - Web カメラビデオ圧縮でのビデオ会議の要件

サポートされるクライアント: Citrix Receiver for Windows、Receiver for Mac、Receiver for Linux

サポートされるビデオ会議アプリケーションは以下のとおりです:

- Citrix GoToMeeting HDFaces
- Adobe Connect
- Cisco WebEx
- IBM Sametime
- Microsoft Lync 2010 および 2013
- Microsoft Office Communicator

- Google+ ハングアウト
- Windows 8.x、Windows Server 2012、および Windows Server 2012 R2 上で動作する Media Foundation 形式のビデオアプリケーション
- Skype 6.7。Windows クライアントで Skype を使用するには、クライアント側およびサーバー側のレジストリを編集する必要があります：
 - クライアントのレジストリキー: HKEY_CURRENT_USER\Software\Citrix\HdxRealTime
値の名前: DefaultHeight、種類: REG_DWORD、値のデータ: 240
値の名前: DefaultWidth、種類: REG_DWORD、値のデータ: 320
 - サーバーのレジストリキー: HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Citrix\Vd3d\Compatibility
値の名前: skype.exe、種類: REG_DWORD、値のデータ: 0

そのほかのユーザーデバイス要件:

- サウンド再生のためのハードウェア
- DirectShow 対応の Web カメラ (Web カメラのデフォルト設定を使用してください)。Web カメラ側のハードウェアエンコーディング機能を使用すると、クライアント側の CPU 使用率が軽減されます。
- Web カメラの製造元から入手したドライバー (入手できる場合)

HDX - そのほか

Receiver for Windows および Receiver for Linux 13 では、マルチストリーム ICA での UDP オーディオがサポートされています。

Citrix Receiver for Windows では、エコーキャンセルがサポートされています。

ユニバーサルプリントサーバーの要件

- ユニバーサルプリントサーバー - ユニバーサルプリントサーバーは、クライアント側およびサーバー側のコンポーネントで構成されています。UPClient コンポーネントは、VDA と一緒にインストールされます。UPServer コンポーネントは Citrix ユニバーサルプリンタードライバーを使用する共有プリンターの各プリントサーバー上にインストールし、以下のオペレーティングシステムをサポートします。
 - Windows Server 2008 R2 SP1
 - Windows Server 2012 R2 および 2012。
- プリントサーバーに UPServer コンポーネントをインストールするには、次の前提条件が必要です。
 - Microsoft Visual Studio 2013 Runtime (32 ビットおよび 64 ビット)
 - Microsoft .NET Framework 4.5.2
 - CDF_x64.msi
 - UpsServer_x64.msi

印刷操作間にユーザー認証を実行するには、ユニバーサルプリントサーバーが Remote Desktop Services VDA と同じドメインに参加する必要があります。

そのほか

- すべてのコンポーネントをこの製品リリースのインストールメディアに収録されているバージョンにアップグレードすることをお勧めします。
 - StoreFront には 2GB のメモリが必要です。システム要件については、StoreFront のドキュメントを参照してください。この製品では、StoreFront 2.6 以降がサポートされます。
 - Provisioning Services を併用する場合、Provisioning Services 7.0 以降がサポートされます。
 - Citrix ライセンスサーバーには 40MB のディスク領域が必要です。システム要件については、ライセンスサーバーのドキュメントを参照してください。Citrix License Server for Windows のみサポートされます。サポートされる最小バージョンは 11.13.1 です。
 - Citrix ポリシー情報をサイト構成データベースではなく Active Directory に格納する場合、Microsoft グループポリシー管理コンソール (GPMC) が必要です。詳しくは、Microsoft 社のドキュメントを参照してください。
 - VDA をインストールすると、デフォルトで Receiver for Windows もインストールされます。そのほかのプラットフォームのシステム要件情報については、Receiver for Windows のドキュメントを参照してください。
 - Receiver for Linux および Receiver for Mac は、この製品のインストールメディアに収録されています。システム要件については、各製品のドキュメントを参照してください。
 - Version 10.0 よりも前のバージョンの Access Gateway をこのリリースの XenDesktop/XenApp 環境で使用する場合は、Windows 8.1 および Windows 8 のクライアントはサポートされません。
 - Desktop Lock - サポートされるオペレーティングシステム：
 - Windows 7 (Embedded Edition を含む)
 - Windows XP Embedded
 - Windows Vista
- ユーザーデバイスがローカルエリアネットワーク (LAN) に接続されている必要があります。
- サポートされる Receiver: Citrix Receiver for Windows Enterprise 3.4 パッケージ以降。
- クライアントフォルダーのリダイレクト - サポートされるオペレーティングシステム：
 - サーバー: Windows Server 2008 R2 SP1、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2
 - クライアント (最新の Citrix Receiver for Windows を使用する場合): Windows 7、Windows 8、Windows 8.1
 - 複数のネットワークインターフェイスカードがサポートされます。
 - サポートされているバージョンについては、「[App-V](#)」を参照してください。
 - CU4 では、メディアで提供されていたソフトウェアバージョンが Microsoft Visual C++ 2008 SP1 (9.0.30729.4148) から Microsoft Visual C++ 2008 SP1 (9.0.30729.5677) にアップデートされました。

スタンドアロンパッケージによる **VDA** のインストール

April 16, 2019

Virtual Delivery Agent (VDA) は、XenApp または XenDesktop 製品の ISO からインストールしたり、スタントアロンの VDA インストールパッケージを使用してインストールしたりできます。スタントアロンパッケージはサイズが小さいため、電子ソフトウェア配信 (ESD) ツールを使用して VDA をローカルにステージングまたはコピーしたり、物理マシンやリモートオフィスに展開したりする場合に便利です。

VDA のスタントアロンパッケージは主にコマンドラインでのサイレント (無人) インストールで使用し、XenApp または XenDesktop 製品の ISO に付属の XenDesktopVdaSetup.exe コマンドと同じコマンドラインパラメーターを指定できます。このパッケージには、製品 ISO の VDA インストーラーに似たグラフィカルインターフェイスも用意されています。

VDA の自己展開型スタントアロンパッケージには、サーバー OS マシン用とワークステーション (デスクトップ) OS マシン用の 2 つがあります。

要件と考慮事項

VDA でサポートされるオペレーティングシステムおよびそのほかのインストール要件については、「[システム要件](#)」を参照してください。また、VDA のインストール時に指定する情報については、「[インストールの準備](#)」を参照してください。

Visual C++ 2008、2010、および 2013 の Runtime (32 ビットおよび 64 ビット) や .NET Framework 4.5.1 など、必要なサードパーティ製ソフトウェアがインストールされていない場合は、VDA パッケージにより自動的にインストールされます。

サーバー OS マシンでのインストールでは、VDA のインストール前にリモートデスクトップサービス (RDS) の役割サービスがインストールされて有効になります。これらの必須条件を手作業でインストールしてから VDA をインストールすることもできます。

例外: Windows Server 2008 R2 および Windows 7 では、.NET 3.5.1 またはそれ以降がインストールされていることを確認してから VDA をインストールしてください。

再起動について

- VDA のインストールプロセスの最後にマシンを再起動する必要があります。
- インストール時の再起動数を最小化するには、.NET Framework 4.5.1 または 4.5.2 がインストールされていることを確認してから VDA をインストールしてください。Windows サーバー OS マシンでは、RDS の役割サービスをインストールして有効にしてから VDA をインストールしてください。通常、ほかの必須条件のインストールでは再起動が不要なため、インストーラーでこれらのソフトウェアを自動的にインストールできます。

- VDA をインストールする前に必須条件をインストールせず、コマンドラインで/noreboot オプションを指定してインストールする場合は、必要に応じてマシンを再起動してください。たとえば、必須条件を自動的にインストールする場合は、RDS のインストール後にインストーラーがいったん停止して再起動を確認するメッセージが表示されます。VDA のインストールを続行するには、マシンを再起動した後でインストールコマンドを再実行してください。

インストーラーのグラフィカルインターフェイスを使用したりパッケージを実行するコマンドラインインターフェイスを使用したりする場合、パッケージに含まれているファイルは Temp フォルダーに抽出されます。Temp フォルダーのドライブには、製品 ISO の VDA インストーラーを使用する場合よりも多くの空き領域が必要です。Temp フォルダーに抽出されたファイルは自動的に削除されません。インストールが完了したら、これらのファイルを C:\Windows\Temp\Ctx-\$ (ここで「\$」はランダムなグローバル意識別子) から手作業で削除することができます。

また、サードパーティ製のキャビネットアーカイブ抽出ツール (7-Zip など) を使用して、EXE ファイルから任意のフォルダーにファイルを抽出して、それらに含まれている XenDesktopVdaSetup.exe コマンドを実行することもできます。/extract コマンドと絶対パスを使用できます。詳しくは、後述の使い方についての説明を参照してください。

Microsoft System Center Configuration Manager を使用する環境では、VDA のインストールに成功しても終了コード 3 により失敗したというメッセージが表示されることがあります。この不正なメッセージが表示されなくなるようにするには、インストールコマンドを CMD スクリプト内に記述するか、Configuration Manager パッケージの成功コードを変更してください。詳しくは、[こちらから](#) サポートフォーラムを参照してください。

Citrix Display Only Driver

Citrix Display Only Driver (DOD) は、Windows 10 上の XenDesktop Standard VDA にインストールされてサポートされる唯一のディスプレイドライバーです。

GPU または vGPU がある場合でも、Citrix DOD には GPU アシストがありません。すべてのレンダリングは、CPU を使用するソフトウェアの MS Basic Renderer で実行されます。Citrix DOD は Desktop Composition Redirection (DCR) をサポートしていません。Citrix DOD は XenApp にはインストールされず、サポートされません。

使用方法

重要: インストールは、管理者権限 (または [管理者として実行]) で実行する必要があります。

1. 使用する VDA インストーラーパッケージを決定します。サポート対象のサーバー OS マシンにインストールする場合、VDAServerSetup.exe を使用します。サポート対象のデスクトップ OS マシンにインストールする場合、VDAWorkstationSetup.exe を使用します。単一ユーザー、単一サーバー OS マシン展開 (たとえば Windows Server 2012 マシンを Web サイト開発者などの単一ユーザーに配信する場合など) では、VDAWorkstationSetup.exe パッケージを使用します。詳しくは、[サーバー VDI](#) を参照してください。

2. グラフィカルインターフェイスまたはコマンドラインインターフェイスを使用して、VDA をインストールします。

注意: インストールの前に管理者権限を設定するか、または [管理者として実行] を使用する必要があります。

グラフィカルインターフェイスの使用:

ユーザーアカウントコントロール (UAC) を無効にし、次にダウンロードしたパッケージを右クリックして、[管理者として実行] を選択します。インストールウィザードの指示に従って操作します。ウィザードの最後でマシンを再起動すると、VDA が使用可能になります。このウィザードでは、製品 ISO の VDA インストーラーと同じ画面が開きます。

コマンドラインインターフェイスの使用:

パッケージの内容を抽出して XenDesktopVdaSetup.exe を実行する。

インストール前にファイルを抽出するには、絶対パスと /extract を使います。例:

```
.\VDAWorkstationSetup.exe /extract %temp%\CitrixVDAInstallMedia
```

次に、新しいコマンドプロンプトを開いて、抽出先フォルダーから XenDesktopVdaSetup.exe を実行します。パラメータの詳細については、「[コマンドラインを使ったインストール](#)」と [CTX140972](#) を参照してください。

適切な VDA インストーラーパッケージを、XenDesktopVdaSetup.exe コマンドと同じ方法で実行します (同じパラメータを使用できますが、コマンド名のみ異なります)。パラメータの詳細については、「[コマンドラインを使ったインストール](#)」と [CTX140972](#) を参照してください。

たとえば一般的なリモート PC アクセス用のインストールでは、オフィスにある物理 PC 上に VDA のみをインストールして、Citrix Receiver や Citrix Profile Manager はインストールしません。以下の例でインストール後にマシンは再起動されませんが、VDA を使用するには再起動が必要です。VDA は「Contr-East」という名前の Controller に登録されます。インストール時に Windows ファイアウォールサービスが検出された場合は、適切なポートが開放されます。

```
1 VDAWorkstationSetup.exe /quiet /components vda /exclude "Citrix User Profile Manager" ,"Citrix User Profile Manager WMI Plugin" / controllers "Contr-East.domain.com" /enable_hdx_ports /noreboot
```

注

インストールから Citrix Profile Management を除くと (X:> XenDesktopVDASetup.exe /EXCLUDE "Personal vDisk"、"Citrix User Profile Manager"、"Citrix User Profile Manager WMI Plugin" オプションを使用)、Citrix Director を使った VDA の監視やトラブルシューティングに影響があります。[ユーザーの詳細] ページの [個人設定] パネル、および [EndPoint] ページの [ログオン処理時間] パネルに不具合が発生します。[ダッシュボード] ページと [傾向] ページでは、Profile management がインストールされているマシンについてのデータしか [平均ログオン処理時間] パネルに表示されません。

サードパーティのユーザープロファイル管理ソリューションを使用している場合でも、Citrix Director で監視およびトラブルシューティングのエラーを回避するために、Citrix Profile Management サービスをインスト

ールして実行することをお勧めします (Citrix Profile Management サービスの有効化は、必須ではありません)。

環境のアップグレード

April 16, 2019

新しいバージョンのマシンやサイトをセットアップする前に、一部の環境をアップグレードすることができます。これをインプレースアップグレードと呼びます。次のアップグレードが可能です。

- XenDesktop Version 5.6 (以降) から最新バージョンの 7.6 LTSR へのアップグレード
- XenApp Version 7.5 から最新バージョンの 7.6 LTSR へのアップグレード

最新の XenApp 7.6 LTSR のインストーラーでは、XenApp 6.5 ワーカーのサーバーを、最新の XenApp 7.6 LTSR の VDA for Windows Server OS にアップグレードすることもできます。これは、XenApp 6.5 からの移行時に補足的に行います。詳しくは、「[XenApp 6.5 ワーカーの VDA for Windows Server OS へのアップグレード](#)」を参照してください。

アップグレードを開始するには、新しいバージョンのインストーラーを実行して、既存のコアコンポーネント (Delivery Controller、Citrix Studio、Citrix Director、Citrix ライセンスサーバー) と VDA をアップグレードします。アップグレードが必要なコンポーネントが自動的に特定され、それらがアップグレードされます。各コンポーネントをアップグレードしたら、アップグレードした Studio を使ってサイトデータベースとサイトをアップグレードします。

アップグレードを開始する前に、この記事の情報をすべて確認するようにしてください。

アップグレードの順序

次の図に、アップグレードの順序の概要を示します。詳細については、下記「アップグレード手順」で説明します。サーバーに複数のコアコンポーネントがインストールされている場合、このサーバーマシンでインストーラーを実行すると、新しいバージョンが存在するすべてのコンポーネントがアップグレードされます。マスターイメージで使用されている VDA をアップグレードしてから、このマスターイメージを更新することもできます。その後、このマスターイメージを使用するカタログと、このカタログを使用するデリバリーグループを更新します。手順の詳細では、サイトデータベースとサイトを自動または手動でアップグレードする方法についても説明します。

アップグレードできる製品コンポーネントのバージョン

製品のインストーラーと Studio を使って、以下のコンポーネントをアップグレードできます。

- Citrix ライセンスサーバー、Studio、StoreFront
- Delivery Controller 5.6 以降

- VDA 5.6 以降
 - 以前の VDA リリースとは異なり、VDA をアップグレードするには製品のインストーラーを使用する必要があります。MSI は使用できません。
 - マシンで Receiver for Windows (Receiver.exe) が検出された場合は、製品のインストールメディアに含まれているバージョンにアップグレードされます。
- Director 1.0 以降
- データベース: スキーマがアップグレードされ、サイトデータベースのデータが移行されます (Version 7.x からのアップグレードでは、構成ログデータベースと監視データベースのデータも移行されます)

適切なドキュメントの指示に従って、次の機能または製品を必要に応じてアップグレードします。

- Provisioning Services (XenApp 7.x および XenDesktop 7.x では最新リリースのバージョンを使用することをお勧めします。Provisioning Services 7.0 以降がサポートされます)。
 - ローリングアップグレードを使用して Provisioning Services サーバーをアップグレードし、vDisk のバージョン管理機能を使用してクライアントをアップグレードします。
 - Provisioning Services 7.x は XenDesktop 5 でのデスクトップの作成をサポートしていません。既存のデスクトップは引き続き使用できますが、XenDesktop をアップグレードするまでは Provisioning Services 7.x で新しいデスクトップを作成することはできません。このため、XenDesktop 7.x と XenDesktop 5.6 のサイトを同時に運用する場合は、Provisioning Services 7 にアップグレードしないでください。
- Microsoft System Center Virtual Machine Manager (SCVMM)。現在の製品は SCVMM 2012 および SCVMM 2012 SP1 をサポートします。XenDesktop 5.x はそれより前のバージョンをサポートします。ダウンタイムの発生を避けるには、次の順序でアップグレードします。
 1. XenDesktop 5.6 FP1 より前のバージョンを実行している Controller がある場合は、それらを XenDesktop 5.6 FP1 にアップグレードします (そのバージョンの XenDesktop のドキュメントを参照してください)。
 2. SCVMM サーバーを SCVMM 2012 にアップグレードします。手順については、Microsoft 社のドキュメントを参照してください。
 3. XenDesktop コンポーネントを最新バージョンにアップグレードします。
 4. 必要に応じて、SCVMM サーバーを SCVMM 2012 SP1 にアップグレードします。
- StoreFront。

制限

アップグレードには以下の制限があります。

選択的なコンポーネントインストール

新しいバージョンのコンポーネントをインストールしたりアップグレードしたりする場合、別のマシン上のほかのコンポーネントをアップグレードしないと、Studio にメッセージが表示されます。たとえば、アップグレードに

Controller と Studio の新しいバージョンが含まれるとします。Controller をアップグレードしますが、Studio がインストールされているマシン上でインストーラーを実行しません。Studio をアップグレードするまではサイトを管理できません。

VDA をアップグレードする必要はありませんが、利用できる機能をすべて使用できるようにするために、すべての VDA をアップグレードすることをお勧めします。一部の VDA を最新バージョンにアップグレードしない場合は、「VDA の混在環境のサポート」を確認してください。

7.5 よりも前のバージョンの XenApp

7.5 より前のバージョンの XenApp からアップグレードすることはできません。XenApp 6.x の環境から移行することはできます。「[XenApp 6.x からの移行](#)」を参照してください。

XenApp 6.5 ファームはアップグレードできませんが、Windows Server 2008 R2 マシン上の XenApp 6.5 ソフトウェアを、最新の VDA for Server OS に交換できます。[XenApp 6.5 ワーカーから新しい VDA へのアップグレード](#)を参照してください。

5.6 よりも前のバージョンの XenDesktop

5.6 より前のバージョンの XenDesktop からアップグレードすることはできません。

XenDesktop Express Edition

XenDesktop Express Edition をアップグレードすることはできません。現在サポートされているエディションのライセンスを入手してインストールしてからアップグレードしてください。

Early Release 版または Technology Preview 版

XenApp または XenDesktop の Early Release 版や Technology Preview 版からアップグレードすることはできません。

Windows XP または Windows Vista

VDA が Windows XP または Windows Vista のマシンにインストールされている場合は、「[Windows XP または Windows Vista 上の VDA](#)」を参照してください。

製品の選択

7.x 以前のバージョンからアップグレードする場合は、製品 (XenApp または XenDesktop) の選択も指定もありません (初回インストール時に設定されています)。

混在環境/サイト

以前のバージョンのサイトと現行バージョンのサイトの実行を継続する必要がある場合は、「[混在環境に関する考慮事項](#)」を参照してください。

準備

アップグレードを始める前に:

使用するインターフェイスを決定する

インストーラーのグラフィカルインターフェイスまたはコマンドラインインターフェイスを使用して、コアコンポーネントと VDA をアップグレードします。以前のバージョンからデータをインポートまたは移行することはできません。

サイトのヘルスをチェックする

アップグレードを開始する前に、サイトが安定して機能している状態であることを確認してください。サイトに問題がある場合、アップグレードでは解決されず、サイトが複雑で修復が困難な状態になる可能性があります。サイトをテストするには、Studio のナビゲーションペインの [サイト] エントリをクリックします。中央ペインのサイト構成の部分で、[サイトのテスト] をクリックします。

サイトデータベース、監視データベース、構成ログデータベースのバックアップ

[CTX135207](#)の手順に従ってください。アップグレード後に問題を検出した場合は、バックアップを回復できます。

必要な場合は、テンプレートをバックアップしてハイパーバイザーをアップグレードします。

他の準備タスクが事業継続計画に記載されていれば、それも完了します。

高可用性環境では、サイトデータベース、監視データベース、構成ログデータベースがプライマリデータベースサーバーで実行中であることを確認してから、アップグレードを開始してください。

Citrix ライセンスが最新であることを確認する

Citrix ライセンスサーバーをアップグレードする前に、Subscription Advantage 日が新しい製品バージョンに対して有効であることを確認してください。製品の Version 7.x からのアップグレードでは、この日付が 2016.0420 以降である必要があります。

アプリケーションとコンソールを閉じる

アップグレードを開始する前に、管理コンソールや PowerShell セッションなど、ファイルのロックの原因になりうるすべてのプログラムを終了してください。(マシンを再起動すると、ロックされているファイルや保留中の Windows 更新プログラムがない状態になります。)

重要: アップグレードの開始前に、サードパーティの監視エージェントサービスを停止し、無効にしてください。

適切な権限があることを確認する

製品コンポーネントをアップグレードするには、ドメインユーザーであることに加えて、そのマシンのローカル管理者である必要があります。

サイトデータベースとサイトは、自動でも手動でもアップグレードできます。データベースの自動アップグレードでは、SQL Server データベーススキーマを更新できる権限 (db_securityadmin または db_owner データベースロールなど) が Studio ユーザーに必要です。Studio ユーザーにこれらの権限がない場合は、データベースの手動アップグレードで生成されるスクリプトを使用します。生成されるスクリプトの一部を Studio ユーザーが Studio から実行して、ほかスクリプトをデータベース管理者が SQL Server Management Studio などのツールを使って実行します。

StoreFront を使用する

Web Interface を使用していた環境では、StoreFront を使用することをお勧めします。

混在環境に関する考慮事項

環境内に異なる製品バージョンの Sites/farms がある場合 (混在環境)、StoreFront を使って異なる製品バージョンのアプリケーションやデスクトップ (XenDesktop 7.1 サイトと XenDesktop 7.5 サイトがある場合など) を集約することをお勧めします。詳しくは、StoreFront のドキュメントを参照してください。

- 混在環境では、異なるバージョンの Studio や Director を同一マシン上にインストールすることはできません。
- Provisioning Services を使用する XenDesktop 7.x および XenDesktop 5.6 のサイトを同時に運用する場合は、XenDesktop 7.x サイト用に新しい Provisioning Services を展開するか、Provisioning Services を最新バージョンにアップグレードし、XenDesktop 5.6 サイトでのワークロードのプロビジョニングを無効にしてください。

各サイト内ですべてのコンポーネントをアップグレードすることをお勧めします。コンポーネントによっては以前のバージョンを使用できますが、最新バージョンの機能を一部使用できない場合があります。たとえば、以前のバージョンの Controller を含む環境で最新の VDA を使用できますが、最新リリースの新機能を使用できない場合があります。最新でないバージョンを使用すると、VDA 登録で問題が発生する可能性もあります。

- Version 5.x の Controller と Version 7.x の VDA との混在環境は、アップグレードに伴う一時的な構成としてのみ運用してください。可能な限り、環境内のすべてのコンポーネントのアップグレードを早急に完了してください。
- スタンドアロンの Studio は、新しいバージョンを使用する準備ができるまでアップグレードしないでください。

Windows XP または Windows Vista 上の VDA

Windows XP または Windows Vista が動作するマシンにインストールされている VDA を Version 7.x にアップグレードすることはできません。特定の Hotfix が適用された VDA 5.6 FP1 を使用する必要があります。手順については、[CTX140941](#)を参照してください。以前のバージョンの VDA を Version 7.x のサイトで実行することは可能ですが、次のような多くの機能を使用できません。

- 新しいバージョンの VDA を必要とする Studio の機能。
- Studio を使った App-V アプリケーションの構成。
- Studio を使った Receiver StoreFront のアドレスの構成。
- Machine Creation Services を使用する場合の Microsoft Windows KMS ライセンスの自動サポート。[CTX128580](#)を参照してください。
- Director での情報の表示：
 - [ダッシュボード]、[傾向]、および [ユーザーの詳細] ビューでログオン処理時間を算出するためのログオン時間およびログオン終了イベント。
 - HDX 接続時間および認証時間のログオン処理時間ブレイクダウンの詳細と、プロファイルロード、GPO ロード、ログオンスクリプト、および対話型セッション確立の期間の詳細。
 - マシンおよび接続の障害率のいくつかのカテゴリ。
 - [ヘルプデスク] ビューおよび [ユーザーの詳細] ビューのアクティビティマネージャー。

Windows XP と Windows Vista のマシンは、サポートされているオペレーティングシステムで再イメージ化して最新の VDA をインストールすることをお勧めします。

Windows 8.x および Windows 7 上の VDA

Windows 8.x または Windows 7 を実行しているマシン上にインストールされた VDA を Windows 10 にアップグレードするには、XenApp および XenDesktop 7.6 FP3 と共に配信されたスタンドアロン VDA インストールパッケージを使って、Windows 7 および Windows 8.x マシンを Windows 10 に再イメージ化して、Windows 10 用にサポートされている VDA をインストールすることを推奨します。再イメージ化がオプションではない場合は、オペレーティングシステムをアップグレードする前に VDA をアンインストールします。これを実行しない場合、VDA は未サポート状態となります。

VDA の混在環境のサポート

製品バージョンをアップグレードするときには、すべてのコアコンポーネントおよび VDA をアップグレードすることをお勧めします。これにより、そのエディションで追加されたり強化されたりした機能をすべて使用できるようになります。

環境のすべての VDA を同時にアップグレードできない場合は、マシンカタログを作成するときに、マシンにインストールされている VDA のバージョンを指定できます。デフォルトでは、この設定は推奨される最新の VDA バージョンを指定します。マシンカタログに以前の VDA があるマシンが含まれる場合のみ、この設定を変更してください。マシンカタログで複数のバージョンの VDA を混在させることは推奨されていません。

マシンカタログを作成するときに VDA のバージョンとして推奨バージョンを指定する場合、そのカタログに以前のバージョンの VDA が含まれていると、それらのマシンは Controller に登録されず、機能しなくなります。

たとえば、VDA のバージョンとしてデフォルトの [7.6 (推奨。最新機能を使用できます)] を指定してマシンカタログを作成し、VDA 7.6 の 2 つのマシンと VDA 7.1 の 1 つのマシンを追加したとします。この場合、VDA 7.1 のマシンは Controller に登録されません。その VDA をアップグレードできない場合は、VDA のバージョンとして [7.0 (またはそれ以降)] を指定した別のマシンカタログを作成してそのマシンを追加します。これにより、Version 7.6 の新機能は使用できませんが、そのマシンを Controller に登録できるようになります。

アップグレード手順

製品インストーラーのグラフィカルインターフェイスを実行するには、マシンにログオンし、インストールメディアまたは ISO ファイルの **AutoSelect** をダブルクリックします。コマンドラインインターフェイスを使用する場合は、「コマンドラインを使ったインストール」を参照してください。

手順 **1**. アップグレード可能な複数のコアコンポーネント (Controller、Studio、ライセンスサーバーなど) が同じサーバーにインストールされている場合、インストーラーによりそれらがすべてアップグレードされます。

コアコンポーネントが Controller 以外のマシンにインストールされている場合は、各マシン上でインストーラーを実行します。推奨される順番は次のとおりです。License Server、StoreFront、Director。

手順 **2**. Provisioning Services を使用する場合、Provisioning Services のドキュメントの手順に従って、PVS サーバーとクライアントをアップグレードします。

手順 **3**. アップグレードする VDA のマシン上で製品インストーラーを実行します。(マスターイメージおよび Machine Creation Services を使用する場合は、手順 12 を参照してください)。

物理マシン (リモート PC アクセス用のマシンも含まれます) 上にインストールされている VDA 7.x からアップグレードする場合、コマンドラインインターフェイスでオプション「/exclude "Personal vDisk";"Machine Identity Service"」を使用します。次に例を示します:

```
C:\x64\XenDesktop Setup\XenDesktopVdaSetup.exe /exclude "Personal vDisk";"Machine Identity Service"
```

手順 **4.** 半数の Controller 上で製品のインストーラーを実行します（これにより、これらのサーバー上にインストールされたほかのコアコンポーネントもアップグレードされます）。たとえば、サイトに Controller が 4 つある場合は 2 つの Controller を先にアップグレードします。

- 半分の Controller をそのまま残すことで、ユーザーはそのサイトを引き続き使用できます。VDA はこれらの残りの Controller に登録されます。動作する Controller の数が減少するため、サイトの処理能力が低下する場合があります。データベースのアップグレードの最終段階で新しいクライアント接続を確立するときに、ほんの短い間だけサイトの動作が中断されます。サイト全体がアップグレードされるまでは、アップグレード済みの Controller では要求を処理できません。
- サイトに Controller が 1 つしかない場合、アップグレード中はサイトが動作しなくなります。

手順 **5.** 既にアップグレードした Controller とは別のマシンに Studio がインストールされている場合は、そのマシン上でインストーラーを実行します。

手順 **6.** アップグレードした Studio を使ってサイトデータベースをアップグレードします。詳しくは、後述の「データベースとサイトのアップグレード」を参照してください。

手順 **7.** アップグレードした Studio のナビゲーションペインで、**[Citrix Studio (サイト名)]** を選択し、**[よく使用するタスク]** タブの**[残りの Delivery Controller のアップグレード]** を選択します。

手順 **8.** アップグレードが完了したら、Studio をいったん閉じてから再度開きます。

手順 **9.** **[よく使用するタスク]** ページの**[サイト構成]** セクションで、**[登録の実行]** を選択します。Controller を登録すると、サイトで使用できるようになります。

手順 **10.** アップグレードの完了時に**[完了]** を選択すると、Citrix の利用統計情報プログラムに登録するかどうかを選択できるページが表示されます。このプログラムでは、使用環境に関する情報が収集されます。収集された情報は、弊社製品の品質、信頼性、およびパフォーマンスの向上のために使用させていただきます。

手順 **11.** コンポーネント、データベース、およびサイトのアップグレードが完了したら、新しくアップグレードされたサイトをテストします。Studio のナビゲーションペインで、**[Citrix Studio (サイト名)]** を選択し、**[よく使用するタスク]** タブの**[サイトのテスト]** を選択します。これらのテストはデータベースのアップグレード後に自動的に実行されますが、必要に応じて再実行できます。

手順 **12.** Machine Creation Services を使用しておりアップグレード後の VDA を使用する必要がある場合：アップグレードと環境のテスト後に、マスターイメージで使用する VDA を更新します（まだ更新していない場合）。これらの VDA を使用するマスターイメージを更新します。次に、これらのマスターイメージを使用するマシンカタログを更新し、さらにこれらのカタログを使用するデリバリーグループをアップグレードします。

注：

手順 7～9 は、Dbschema のアップグレードを求めるメッセージが表示されない限り、アップグレード時は任意です。

データベースとサイトのアップグレード

コアコンポーネントと VDA をアップグレードしたら、アップグレードした Studio を使ってデータベースとサイトの自動または手動アップグレードを開始します。

- データベースの自動アップグレードでは、SQL Server データベーススキーマを更新できる権限 (db_securityadmin または db_owner データベースロールなど) が Studio ユーザーに必要です。
- Studio ユーザーにこれらの権限がない場合は、データベースの手動アップグレードによってスクリプトが生成され、Studio ユーザーは Studio が生成したスクリプトをいくつか実行します。データベース管理者は、SQL Server Management Studio などのツールを使ってその他のスクリプトを実行します。SQL スクリプトを手動で実行する場合は、SQLCMD ユーティリティあるいは SQLCMD モードの SQL Management Studio のいずれかを使って実行する必要があります。これ以外の場合は不正なエラーが生じることとなります。

重要: データベースをアップグレードする前にバックアップすることを強くお勧めします。手順については、[CTX135207](#)を参照してください。

データベースのアップグレード中は製品サービスが無効になります。その間は Controller でサイトへの接続要求を仲介できなくなるため、慎重な計画が必要です。

データベースのアップグレードが完了し、製品サービスが有効になると、Studio により環境と構成がテストされて HTML レポートが生成されます。問題が見つかった場合は、データベースのバックアップを復元できます。問題を解決した後で、データベースのアップグレードを再試行します。

データベースとサイトの自動アップグレード

アップグレードした Studio を起動します。[サイトの自動アップグレードを開始する] を選択して準備内容を確認すると、データベースとサイトのアップグレードが開始されます。

データベースとサイトの手動アップグレード

この方法ではスクリプトを生成して実行します。

手順 1. アップグレードした Studio を起動します。手動によるサイトのアップグレードを選択した後、データベースのバックアップを作成したことを確認するようプロンプトが表示されます。次に、スクリプトとアップグレード手順のチェックリストが生成され、表示されます。

手順 2. 以下のスクリプトを順番に実行します。

- **DisableServices.ps1:** 製品サービスを無効にするために、Controller 上の Studio ユーザーが実行する PowerShell スクリプト。
- **UpgradeSiteDatabase.sql:** サイトデータベースがあるサーバー上でデータベース管理者が実行する SQL スクリプト。

- **UpgradeMonitorDatabase.sql**: 監視データベースがあるサーバー上でデータベース管理者が実行する SQL スクリプト。
- **UpgradeLoggingDatabase.sql**: 構成ログデータベースがあるサーバー上でデータベース管理者が実行する SQL スクリプト。このスクリプトは、このデータベースが変更された場合にのみ実行します (Hotfix の適用後など)。
- **EnableServices.ps1**: 製品サービスを有効にするために、Controller 上の Studio ユーザーが実行する PowerShell スクリプト。

手順 3. チェックリストのタスクを完了したら、[アップグレードを完了する] を選択します。

Dbschema のアップグレード

環境を新しい CU に更新すると、一部のデータベーススキーマがアップグレードされます。このプロセスでアップグレードされるデータベーススキーマについては、次の表を参照してください:

To / From	7.6 FP1	7.6 FP2	7.6 FP3	7.6 CU1	7.6 CU2	7.6 CU3	7.6 CU4	7.6 CU5	7.6 CU6	7.6 CU7
7.6	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 FP1		Site	Site	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 FP2			Site	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 FP3				Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 CU1					Site; Config	Site; Config	Site; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 CU2						Site; Config	Site; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 CU3							Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 CU4								Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config	Site; Monitor; Config
7.6 CU5									Config	Config
7.6 CU6										Config

用語の定義:

- サイト=サイトデータストア。サイトデータストアに対して Dbschema の更新が行われます。
- モニター=モニターデータストア。モニターデータストアに対して Dbschema の更新が行われます。
- 構成=構成テーブル。Desktop Studio のバージョン、ライセンスサーバーのバージョン、またはその両方が構成テーブルで更新されます。

SSL

April 16, 2019

XenApp または XenDesktop のサイトの Secure Sockets Layer (SSL) セキュリティプロトコルを構成するには、以下の手順が必要です。

- サーバー証明書を手入して、すべての Delivery Controller 上にインストールして登録します。さらに、SSL 証明書のポート構成を行います。詳しくは、「[SSL サーバー証明書の Controller へのインストール](#)」を参照してください。

必要な場合は、Controller で HTTP および HTTPS トラフィック用に使用されるポートを変更することもできます。

- ユーザーと Virtual Delivery Agent (VDA) 間の SSL 接続を有効にします。これを行うには、以下のタスクが必要です：
 - VDA がインストールされたマシン上で SSL を構成します（便宜上、VDA がインストールされたマシンをここでは「VDA」と呼びます）。提供されている PowerShell スクリプトを使用したり、手作業で構成したりすることができます。概要については、「[VDA 上の SSL 設定について](#)」を参照してください。詳しくは、「[VDA 上の SSL 構成: PowerShell スクリプトの使用](#)」および「[VDA 上の SSL 構成: 手作業による構成](#)」を参照してください。
 - VDA が追加されているデリバリーグループで SSL を構成します。これを行うには、Studio でいくつかの PowerShell コマンドレットを実行します。詳しくは、「[デリバリーグループの SSL の構成](#)」を参照してください。

以下の要件および考慮事項があります。

- ユーザーと VDA 間の SSL 接続を有効にするのは、XenApp 7.6 サイト、XenDesktop 7.6 サイト、およびこれ以降のリリースでのみ必要です。
- デリバリーグループおよび VDA 上の SSL は、コンポーネントのインストール、サイトの作成、およびマシンカタログとデリバリーグループの作成を行った後で構成します。
- デリバリーグループで SSL を構成するには、Controller のアクセス規則を変更するための権限が必要です。すべての管理権限を実行できる管理者には必要な権限が付与されています。
- VDA 上の SSL を構成するには、そのマシン上の Windows 管理者権限が必要です。
- VDA を以前のバージョンからアップグレードして SSL を構成する場合は、アップグレード前にすべての SSL リレーソフトウェアをアンインストールしておく必要があります。
- PowerShell スクリプトでは、静的に割り当てられる VDA 上の SSL を構成できます。Machine Creation Services または Provisioning Services でプロビジョニングされてプールされる VDA は再起動時にマシンイメージがリセットされるため、PowerShell スクリプトで SSL を構成することはできません。

Windows レジストリの編集が必要なタスクを行う場合の注意事項。

注意: レジストリエディターの使用を誤ると、深刻な問題が発生する可能性があり、Windows の再インストールが必要になる場合もあります。レジストリエディターの誤用による障害に対して、シトリックスでは一切責任を負いません。レジストリエディターは、お客様の責任と判断の範囲でご使用ください。また、レジストリファイルのバックアップを作成してから、レジストリを編集してください。

サイトデータベース接続の SSL を有効にする方法については、[CTX137556](#)を参照してください。

SSL サーバー証明書の Controller へのインストール

HTTPS 接続を使用する場合、XML Service はサーバー証明書を使用した SSL 機能をサポートしますが、クライアント証明書はサポートしません。サーバー証明書入手して Controller 上にインストールおよび登録し、SSL 証明書のポート構成を行うには、以下のタスクが必要です。

- Controller に IIS がインストールされている場合は、<https://technet.microsoft.com/en-us/library/cc771438%28v=ws.10%29.aspx>の手順に従ってください。
- Controller に IIS がインストールされていない場合は、以下の方法で証明書を構成します。
 1. <http://blogs.technet.com/b/pki/archive/2009/08/05/how-to-create-a-web-server-ssl-certificate-manually.aspx>の手順に従って、SSL サーバー証明書入手し Controller にインストールします。certreq ツールについて詳しくは、[http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc736326\(W.S.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc736326(W.S.10).aspx)を参照してください。
PowerShell スクリプトを使用して VDA 上の SSL を構成するときに SSL 証明書の拇印を指定しない場合は、証明書ストアの [ローカルコンピューター] > [個人] > [証明書] に適切な証明書が配置されていることを確認してください。この場所に複数の証明書が配置されている場合、最初に検出されたものが使用されます。
 2. ポートで証明書を構成します。<http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms733791%28v=vs.110%29.aspx>を参照してください。

HTTP または HTTPS ポートの変更

デフォルトでは、XML Service は HTTP トラフィックにはポート 80 を、HTTPS トラフィックにはポート 443 を使用します。これらのポート番号を変更することもできますが、信頼されないネットワークに Controller を露出させる場合のセキュリティ上のリスクについて考慮してください。デフォルト構成を変更する場合は、スタンドアロンの StoreFront サーバーを使用することをお勧めします。

Controller で使用されるデフォルトの HTTP または HTTPS ポートを変更するには、Studio で BrokerService.exe -WIPORT <http-port> -WISSLPORIT <https-port> を実行します。

ここで、<http-port> は HTTP トラフィックのポート番号で、<https-port> は HTTPS トラフィックのポート番号です。

注：ポートが変更されると、ライセンスの互換性およびアップグレードに関するメッセージが Studio に表示されます。この問題を解決するには、以下の PowerShell コマンドレットを順に実行してサービスインスタンスを再登録してください。

```
1 Get-ConfigRegisteredServiceInstance -ServiceType Broker -Binding
2 XML_HTTPS | Unregister-ConfigRegisteredServiceInstance
3 Get-BrokerServiceInstance | where Binding -eq "XML_HTTPS" |
4 Register-ConfigServiceInstance
```

HTTPS トラフィックのみに制限する

HTTP トラフィックが XML Service で無視されるように構成するには、Controller 上のレジストリ HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix\DesktopServer\ で以下の値を設定してから Broker Service を再起動します。

HTTP トラフィックを無視するには、XmlServicesEnableNonSsl を 0 にします。

同様に、HTTPS トラフィックを無視するレジストリ値である XmlServicesEnableSsl も存在します。これは 0 に設定しないでください。

VDA 上の SSL 設定について

VDA 上の SSL を構成すると、インストールされている SSL 証明書のアクセス権が変更され、その証明書の秘密キーに対する読み取り権限が ICA Service に付与されます。ICA Service には、以下の情報が提供されます。

- **SSL** で使用される証明書ストア内の証明書。
- **SSL** 接続で使用される **TCP** ポート。

Windows ファイアウォールを使用する環境では、この TCP での着信接続が許可されている必要があります。PowerShell スクリプトを使用する場合は、このファイアウォール規則が自動的に構成されます。

- 許可される **SSL** プロトコルのバージョン。

サポートされる SSL プロトコルのバージョンは、低いものから SSL 3.0、TLS 1.0、TLS 1.1、および TLS 1.2 です。サポートされる SSL プロトコルを指定するときは、許可する最低バージョンを指定します。

たとえば、最低バージョンとして TLS 1.1 を指定すると、TLS 1.1 および TLS 1.2 のプロトコルを使用した接続が許可されます。最低バージョンとして SSL 3.0 を指定すると、サポートされる SSL プロトコルのすべてのバージョンが許可されます。最低バージョンとして TLS 1.2 を指定すると、TLS 1.2 の接続のみが許可されます。

- 許可される **SSL** 暗号。

暗号の組み合わせ (Cipher Suite) とは、一般的な SSL 暗号の一覧のことです。クライアントが VDA に接続するときは、そのクライアントがサポートする SSL 暗号の一覧を VDA に送信します。VDA 側では、構成済みの暗号の組み合わせ内にクライアントのいずれかの SSL 暗号と一致するものがあるかどうかをチェックされ、あった場合にのみ接続が確立されます。一致する SSL 暗号がない場合、その接続は VDA により拒否されます。

サポートされている暗号の組み合わせは GOV (ernment)、COM (ercial)、および ALL の 3 つです。暗号の組み合わせは、Windows の FIPS モードによっても異なります。Windows の FIPS モードについては、<http://support.microsoft.com/kb/811833>を参照してください。次の表は、各暗号の組み合わせに含まれる暗号を示しています。

SSL 暗号の組み合わせ	GOV	COM	ALL	GOV	COM	ALL
FIPS モード	オフ	オフ	オフ	オン	オン	オン
RSA_KEYX	X	X	X	X	X	X
RSA_SIGN	X	X	X	X	X	X
3DES	X		X	X		X
RC4		X	X			
MD5	X	X	X			
SHA	X	X	X	X	X	X
SHA_256	X	X	X	X	X	X
SHA_384	X	X	X	X	X	X
SHA_512	X	X	X	X	X	X
AES	X	X	X	X	X	X

SSL を構成した VDA と構成していない VDA を同一デリバリーグループ内で混在させることはできません。デリバリーグループの SSL を構成する前に、そのグループに属しているすべての VDA 上で SSL 構成を完了しておく必要があります。

VDA 上の SSL 構成: PowerShell スクリプトの使用

VDA 上で Enable-VdaSSL.ps1 スクリプトを実行すると、その VDA での SSL リスナーを有効または無効にできます。このスクリプトは、インストールメディアの Support > Tools > SslSupport フォルダーに収録されています。

スクリプトで SSL を有効にする場合、指定した SSL TCP ポートについての既存の Windows ファイアウォール規則がすべて無効になります。その後で、ICA Service がそのポートで着信接続を受け入れるための新しい規則が追加されます。また、スクリプトにより以下の Windows ファイアウォール規則が無効になります。

- Citrix ICA (デフォルトで 1494)
- Citrix CGP (デフォルトで 2598)
- Citrix WebSocket (デフォルトで 8008)

この結果、ユーザーは SSL でのみ接続できるようになり、Raw ICA、CGP、または WebSocket で接続することはできなくなります。

このスクリプト内には、以下の構文および使用例が記載されています。Notepad++ などのツールを使用してこれらを参照できます。

-Enable または -Disable パラメーターの指定は必須です。その他のパラメーターはオプションです。

構文:

```
Enable-VdaSSL {-Enable -Disable} [-SSLPort <port>] [-SSLMinVersion
"<min-ssl-version>"] [-SSLCipherSuite
"<suite>"] [-CertificateThumbPrint
"<thumbprint>"]
```

パラメーター	説明
-Enable	SSL リスナーを VDA 上にインストールして有効にします。このパラメーターまたは -Disable パラメーターのいずれかを指定する必要があります。
-Disable	VDA 上の SSL リスナーを無効にします。このパラメーターまたは -Enable パラメーターのいずれかを指定する必要があります。このパラメーターを指定した場合、ほかのパラメーターは無視されます。
-SSLPort <port>	SSL ポート。デフォルトは以下のとおりです。443
-SSLMinVersion "<min-ssl-version>"	許可される SSL プロトコルの最低バージョンを二重引用符で囲んで指定します。有効な値: "SSL_3.0"、"TLS_1.0"、"TLS_1.1"、および "TLS_1.2"。デフォルト: "TLS_1.0"
-SSLCipherSuite "<suite>"	SSL 暗号スイートを二重引用符で囲んで指定します。有効な値: "GOV"、"COM"、および "ALL"。デフォルト: "ALL"
-CertificateThumbPrint "<thumbprint>"	証明書ストア内の SSL 証明書の拇印を二重引用符で囲んで指定します。通常、証明書ストア内に複数の証明書が配置されている場合にこのパラメーターを使用します。この拇印により、スクリプトで適切な証明書が選択されます。デフォルト: 証明書ストアの [ローカルコンピューター] > [個人] > [証明書] で最初に検出された証明書

例:

次のスクリプトでは、SSL リスナーをインストールして有効にします。すべてのオプションパラメーターのデフォルト値が適用されます。

```
1 Enable-VdaSSL - Enable
```

次のスクリプトでは、SSL リスナーをインストールして有効にして、SSL ポートとして 400、暗号スイート GOV、および SSL プロトコルの最低バージョンとして TLS 1.2 を設定します。

```
1 Enable-VdaSSL - Enable - SSLPort 400 'SSLMinVersion "TLS_1.2"  
2 - SSLCipherSuite "GOV"
```

次のスクリプトでは、VDA 上の SSL リスナーを無効にします。

```
1 Enable-VdaSSL - Disable
```

VDA 上の SSL 構成: 手作業による構成

VDA 上の SSL を手作業で構成するには、SSL 証明書の秘密キーに対する読み取り権限を VDA 上の NT SERVICE\PorticaService (VDA for Windows Desktop OS の場合) または NT SERVICE\TermService (VDA for Windows Server OS の場合) に付与します。VDA がインストールされたマシン上で、以下の手順を行います。

1. Microsoft 管理コンソール (MMC) を起動します: [スタート] > [ファイル名を指定して実行] > mmc.exe。
2. MMC に証明書スナップインを追加します。
 - a) [ファイル] > [スナップインの追加と削除] の順に選択します。
 - b) [証明書] を選択して [追加] をクリックします。
 - c) [このスナップインで管理する証明書] で [コンピューターアカウント] をクリックし、[次へ] をクリックします。
 - d) [このスナップインで管理するコンピューター] で [ローカルコンピューター] をクリックし、[完了] をクリックします。
3. コンソールツリーの [証明書 (ローカルコンピューター)] > [個人] > [証明書] で証明書を右クリックして、[すべてのタスク] > [秘密キーの管理] の順に選択します。
4. [<FriendlyName> private keys のアクセス許可] ダイアログボックス (<FriendlyName> は SSL 証明書の名前) が開きます。以下のいずれかのサービスを追加して、[読み取り] アクセスを許可します。
 - VDA for Windows Desktop OS では「PORTICASERVICE」
 - VDA for Windows Server OS では「TERMSERVICE」
5. SSL 証明書をダブルクリックします。[証明書] ダイアログボックスの [詳細] タブをクリックして、一番下までスクロールします。[拇印] をクリックします。
6. regedit を実行して、HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Control\Terminal Server\Wds\icawd を開きます。
 - a) SSL Thumbprint キーを編集して、SSL 証明書の拇印の値をバイナリ値にコピーします。[バイナリ値の編集] ダイアログボックスでは、不明な項目 («0000» や特殊文字など) は無視して構いません。
 - b) SSLEnabled キーを編集して、DWORD 値を 1 に変更します (この DWORD 値を 0 にすると SSL が無効になります)。

- c) このレジストリパスでは、必要に応じて以下のデフォルト値を変更できます。
- SSLPort の DWORD 値 – SSL ポート番号。デフォルト: 443。
 - SSLMinVersion の DWORD 値 – 1 = SSL 3.0、2 = TLS 1.0、3 = TLS 1.1、4 = TLS 1.2。デフォルト: 2 (TLS 1.0)。
 - SSLCipherSuite の DWORD 値 – 1 = GOV、2 = COM、3 = ALL。デフォルト: 3 (ALL)。
7. デフォルトの 443 以外の SSL TCP ポートを使用する場合は、そのポートが Windows ファイアウォールで開放されていることを確認します (Windows ファイアウォールで受信規則を作成するときは、[接続を許可する] および [有効] が選択されていることを確認してください)。
 8. ほかのアプリケーションやサービスなど (IIS など) がその SSL TCP ポートを使用していないことを確認します。
 9. VDAs for Windows Server OS の場合は、変更を適用するためのマシンを再起動します。VDA for Windows Desktop OS のマシンを再起動する必要はありません。

デリバリーグループの **SSL** の構成

SSL 接続を構成した VDA を含んでいるすべてのデリバリーグループで、以下の手順を行います。

1. Studio から PowerShell コンソールを開きます。
2. `asnp Citrix.*` を実行して Citrix 製品のコマンドレットをロードします。
3. `Get-BrokerAccessPolicyRule -DesktopGroupName '<delivery-group-name>' | Set-BrokerAccessPolicyRule -HdxSslEnabled $true` を実行します。

ここで、<delivery-group-name> は SSL を構成するデリバリーグループの名前です。
4. `Set-BrokerSite -DnsResolutionEnabled $true` を実行します。

トラブルシューティング

接続エラーが発生した場合は、VDA のシステムイベントログを確認してください。

Receiver for Windows で SSL 関連の接続エラー (1030 など) が発生した場合は、Desktop Viewer を無効にしてから再試行してください。接続エラーは解決されませんが、SSL の問題についての情報 (証明機関に証明書を要求したときに正しくないテンプレートを使用したなど) が表示される場合があります。

ライセンス

April 16, 2019

注

Studio と Director で Citrix ライセンスサーバー VPX がサポートされません。Citrix ライセンスサーバー VPX について詳しくは、Citrix ライセンスのドキュメントを参照してください。

管理者は、Studio を使用してライセンスを管理したり監視したりできます (ライセンスサーバーが Studio と同じドメインまたは信頼されたドメインで動作する場合)。そのほかのライセンス関連のタスクについては、Citrix eDocs の「製品ライセンスの有効化」を参照してください。

以下で説明するタスクを実行するには、すべての管理作業を実行できるライセンス管理者である必要があります。Studio でライセンス情報を表示するには、[ライセンスの表示] 以上の管理者権限が必要です。組み込みのすべての管理権限を実行できる管理者と読み取り専用管理者の役割には、この権限が含まれています。

以下の表に、サポートされるエディションとライセンスモデルを示します。

製品	エディション	ライセンスモデル
XenApp	Platinum、Enterprise、Advanced	同時使用
XenDesktop	Platinum、Enterprise、App、VDI	ユーザー/デバイス、同時使用

重要:

Citrix License Server for Windows のサポートおよび推奨される最新のバージョンは、11.15.0.0 ビルド 26000 (MSI インストーラーバージョン 15.6.0.26000) です。

バージョン 11.14.0.1 ビルド 22103 (MSI インストーラーバージョン 14.2.0.22103) より古い License Server for Windows はサポートされなくなりました。

以下の表に、XenApp および XenDesktop でサポートされる最小ライセンスバージョンを示します。

長期サービスリリース	サポートされる最小 License Server のバージョン	MSI インストーラーのバージョン
7.6 LTSR	11.14.0.1 ビルド 22103	14.2.0.22103

ライセンス情報を表示するには:

Studio のナビゲーションペインで [構成]、[ライセンス] の順に選択し、指定したライセンスサーバーにインストールされているすべてのライセンスの一覧と、それらのライセンスの使用状況およびサイトのライセンス設定の概要が表示されます。

ライセンスを管理するには:

Studio のナビゲーションペインで

[構成]、

[ライセンス] の順に選択し、以下の操作を行います。

- Citrix からライセンスをダウンロードするには、次の手順に従います。
 1. [操作] ペインの [ライセンスの割り当て] を選択します。
 2. ライセンスアクセスコードを入力します。このコードは、Citrix からメールで送信されます。
 3. 製品を選択して、[ライセンスの割り当て] をクリックします。その製品について使用できるすべてのライセンスが割り当てられダウンロードされます。ライセンスアクセスコードを入力してすべてのライセンスを割り当ておよびダウンロードすると、そのライセンスアクセスコードは使用できなくなります。そのコードで追加のライセンス処理が必要な場合は、My Account にログオンしてください。
- ローカルコンピューターまたはネットワークに保存されているライセンスファイルを追加するには、次の手順に従います。
 1. [操作] ペインの [ライセンスの追加] を選択します。
 2. ライセンスファイルを参照して、ライセンスサーバーに追加します。
- ライセンスサーバーを変更するには、次の手順に従います。
 1. [操作] ペインの [ライセンスサーバーの変更] を選択します。
 2. ライセンスサーバーのアドレスを「name:port」形式で入力します。name はライセンスサーバーの DNS、NetBIOS、または IP アドレスです。ポート番号 (<port>) を指定しない場合、デフォルトのポート (27000) が使用されます。
- 使用するライセンスの種類を選択するには、次の手順に従います。
 - サイトを構成するときに、ライセンスサーバーを指定した後で、使用するライセンスの種類を選択します。サーバーにライセンスがない場合は、30 日間製品を試用できるオプションが自動的に選択されます。
 - サーバーに複数のライセンスがある場合はその詳細が表示されます。いずれかのライセンスを選択します。または、サーバーにライセンスファイルを追加してそれを選択します。
- 製品エディションおよびライセンスモデルを変更するには、次の手順に従います。
 1. [操作] ペインの [製品エディションの変更] を選択します。
 2. 適切なオプションを更新します。
- ライセンス管理コンソールにアクセスするには、[操作] ペインで [ライセンス管理コンソール] を選択します。ライセンス管理コンソールが自動的に開くか、パスワードによる保護が構成済みの場合は資格情報を入力するための画面が開きます。この管理コンソールの使用方法については、「製品ライセンスの有効化」を参照してください。
- ライセンス管理者を追加するには、次の手順に従います。
 1. 中央ペインで、[ライセンス管理者] タブを選択します。
 2. [操作] ペインの [ライセンス管理者の追加] を選択します。
 3. 管理者として追加するユーザーを参照して、権限を選択します。
- ライセンス管理者を編集または削除するには、管理者を選択して [操作] ペインの [ライセンス管理者の編集] または [ライセンス管理者の削除] を選択します。
 1. 中央ペインで [ライセンス管理者] タブを選択し、編集または削除する管理者を選択します。
 2. [操作] ペインの [ライセンス管理者の編集] または [ライセンス管理者の削除] を選択します。
- ライセンス管理者グループを追加するには、次の手順に従います。

1. 中央ペインで、[ライセンス管理者] タブを選択します。
 2. [操作] ペインの [ライセンス管理者グループの追加] を選択します。
 3. ライセンス管理者として追加するグループを参照して、権限を選択します。Active Directory グループを追加すると、ライセンス管理者権限がそのグループのすべてのユーザーに設定されます。
- ライセンス管理者グループを編集または削除するには、次の手順に従います。
 1. 中央ペインで [ライセンス管理者] タブを選択し、削除または編集する管理者グループを選択します。ライセンス管理者グループを選択すると、[操作] ペインに [ライセンス管理者グループの編集] および [ライセンス管理者グループの削除] が表示されます。
 2. [操作] ペインの [ライセンス管理者グループの編集] または [ライセンス管理者グループの削除] を選択します。

**Locations**

Corporate Headquarters | 851 Cypress Creek Road Fort Lauderdale, FL 33309, United States

Silicon Valley | 4988 Great America Parkway Santa Clara, CA 95054, United States

© 2019 Citrix Systems, Inc. All rights reserved. Citrix, the Citrix logo, and other marks appearing herein are property of Citrix Systems, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).